

昭和五十一年三月

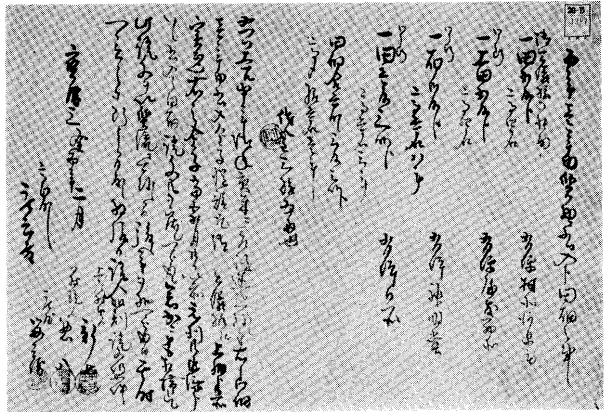
史料館所藏史料目錄

第二十五集

史料館

史料館所藏史料目錄

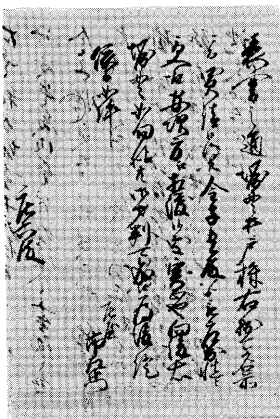
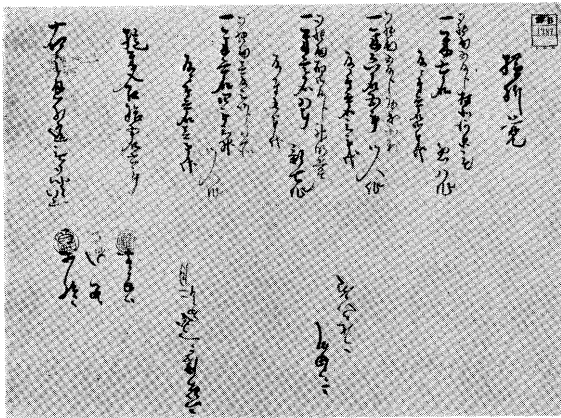
第二十五集



田畑質物年季書入証文

横折之覺共

宝曆3年2月



堀貫井戸株譲渡証文 庄屋市左衛門裏書 天保4年正月

凡 例

- 一 本目録は『史料館所蔵史料目録』第二十五集として、美濃国多芸郡島田村千秋家文書を収めた。
- 一 史料は利用上の便宜を考慮して、その内容・体裁等に応じ、大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は一〇ポイント・ゴチック活字、中項目は九ポイント・ゴチック活字、小項目は九ポイント活字で示した。また必要に応じて〇印で細項目を示した。但し内容が多岐にわたり、他の項目中にも掲げることを妥当と考えたものは*印を付して重出し、項目の下に印は、関連項目を参照しやすくなるために示したものである。
- 一 史料目録の記載欄は、原則として(一)表題 (二)作成者 (三)宛名 (四)作成年月 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。
- 一 表題は原則として原表題を採ったが、適宜改変したものもある。原表題の無いものおよび原表題を改変したものは仮りに命名して掲げ、(一)を付して前者と区別した。なお、変体・異体・略字などは原則として正字に改めた。
- 一 作成年代は年月を採り、また同一内容の史料で三年以上にわたるものは始年月と終年月とを明らかにし、中間は〳によって継続を示した。また無年代のものうち、推定年代には(一)を付し、干支の判明するものは干支年月を付した。
- 一 史料の形態は、簿冊類は半(半紙判)、美(美濃判)、美大(美濃大判)、横長半(半紙横長判)、横長美(美濃横長判)、横長美大(美濃大判横長判)、横半半(半紙横長半載判)、横美半(美濃横長半載判)などの略称によって原書の大きさの大概を示したが、絵図類及び規格外のサイズのもの、縦横の寸法をセンチメートルで示した。また一紙書付類は通をもって數量を示し、紙形の大小寸法は省略した。
- 一 巻末に簡単な解題を付した。

目次

口 絵

凡 例

頁

美濃国多芸郡島田村千秋家文書目録

一

目 次

三

目 録

五

解 題

一一五

千秋家文書関係略図

一三二

美濃国
島田村
多芸郡
千秋家文書目録

美濃国多芸郡島田村千秋家文書目錄目次

千秋家	五頁	取帳	七	頼母子講	七
家	五	他村控地	五	頼母子講	七
由緒	五	押越 鷺巢	五	家計	七
家訓	五	飯ノ木 橋爪	五	家計	七
相統	五	勢至 加	五	金錢出入帳	七
役職	五	稻・寅新田	五	買物帳	七
私日記	五	石畑 桜井	五	奉公人	七
旅行	五	栗原 江月	五		
住宅	八	江州控地 諸村	五	吉凶	七
間取図	八	農業	五	慶事	七
普請	八	油店	五	出産 婚礼 節句	七
贈答	九	質店	五	仏事	七
儀理帳	九	貸家・貸地	五	葬礼・年忌	七
贈答記	九	貸家 貸地	五	信仰	七
諸家來狀	九	貢租	五	妙見堂	七
土地	一〇	名寄	五	諸入用 普請入用 瑞雲洞	七
所持地	一〇	名寄帳	五	菩提寺	七
持地書上	一〇	年貢勘定 未進 諸税金	五	本願寺	七
保存登記	一〇	貸借	五	納金	七
買得地	二	貸付	五	諸芸	七
永代買	二	借用手形 年賦貸 田畑書入 屋敷書	五	茶道	七
屋敷買	二	入 返金	五	茶道手前 茶席・茶会	七
年季買	二	借入	五	香道	七
質流地	二	借用手形 田畑書入 返金 百廿九国	五	薰香	七
本村分	二	立銀行 七十六国立銀行 濃陽会社	五	花道	七
他村分	二	講	五		
賣得地	三				
田畑・屋敷 替地・替家 墓地 印鑑	三				
帳 売買地券書換	三				
土地經營	三				
本村控地	三				
掟地改 検見帳 請作証券 掟帳 請	三				

免許状	九	村入用	九
歌道	六	村入用割	二
歌合 競点 詩吟	六	納入用割	二
箏曲	六	戸籍入用	二
免許状	六	勘定 村借	二
礼法	六	祭 礼	二
小笠流 伊勢流	六	氏 神	二
その他	六	愛宕神社 地蔵堂 神明宮	二
島田村 (高田町)	九	治 水	二
村	九	出 水	二
村 政	九	砂入地改 起返 洪水	二
村 政 戸口 屯所 新道工事	九	水 防	二
藍田学校	九	除堤 普請 金草川堤防 水番	二
学務 校費	九	用 水	二
貢 租	九	川堀 掛樋 井戸	二
名 寄	九	江料代	二
検 見	九	納米・金 渡方 請取 差引勘定 出	二
検 見	九	入	二
割 付	九	中島家	二
年貢納入	九	家	二
諸 役	九	家記	二
国役 夫役	九	土地	二
所得金高書上	九	質流地 小作	二
村・民費	九	諸家略系譜	二
村入用	九		

美濃国 多芸郡 島田村 千秋家文書目録

(文書記号 29B)

千秋家

家

家

由緒

由跡記録書付 京都星野たみゝ来ル 安政五年四月

諸雜記 下高田又六方続キ覚 (文久四年三月)

横長美

年始御札并御参府御帰城之節御目見被仰付ニ付差紙 石川勘助・井道茂十郎・酒井小源太庄六 天保元年二月

(御目見御請書差出方ニ付急御用状) 三田村藏六 庄六 (天保元年二月二十八日)

御目見被仰付ニ付御札并御請書之覚 庄六 大垣御預御役所 寅(天保元年)二月二十九日

○宗門一本証文

当寅宗門人別御改帳下書 嶋田村千秋庄六郎 慶応二年三月

当卯宗門人別御改帳下 嶋田村千秋庄六郎 慶応三年三月

美

千秋家文書

当巳宗門人別御改帳下 嶋田村庄六郎 明治二年三月

美

宗門寺送一札 服部庄六妻 大念寺 天保一三年三月

(宗門請判御改病氣不参ニ付代人願) 千秋庄六郎 亥(文久三年カ)八月

千秋いそ送籍受込証 戸長 伊勢西野尻村戸長 明治八年三月

家訓

家訓 (正徳力)

服部庄六々竹治宛家訓遺状 宝曆四年閏二月

横長平

千秋棟載誓詞 上妙見大士御霊前 明治二二年七月

附言(近江土地売却ノ失態ニ付) 千秋十三郎 明治四〇年九月

相統

宗具様々讓田地并金子受納おほへ 七太夫母・重太郎 元文二年七月

前方預金請取覚 七太夫 重次郎 元文四年二月

円融院々讓受候金子取扱方ニ付覚并勘定書上服部庄六 服部十太郎・同竹治 寅(延享三年カ)正月

周蔵子息惣太郎引渡一札 安八郡今村かね親市右衛門 高田町周蔵 寛政元年四月

一通 三三〇

二通 二四九

一通 二六四

一通 二七三

一通 二五七

一通 二五六

一通 二六二

一通 三三二

一通 一五〇

一通 五

一通 二六五

一通 四

遺狀之事 智英 文化二年	一通 三三三	地所讓渡証券 押越村之内 千秋庄六郎 らく 美 飯一冊 二六二
譲り渡申覚書 書そへ并扣書共 智英 御親類 衆中 文化四年八月	四通 三三三	亡夫千秋元次郎相続ニ付千秋あい戸籍抄録 明治三〇年十一月 一通 九六六
田地讓証文之事(母遺狀ニより分家取立ニ付) くま 元次郎 文化一三年九月	一通 九六〇	二男十三郎嗣子許可証書 多芸郡・石津郡長高木真正 千秋庄六郎 明治二六年四月 一通 三三四
屋敷畑讓証文之事 くま 元次郎 文化一三年九月	一通 九六一	家督相続届書控(千秋庄六郎次男十三郎) 千秋庄六郎 明治二九年一〇月 一通 三三三
(大坪村分田地)讓証文之事 くま 元次郎 文化一三年九月	一通 九六三	遺産相続権抛棄書(千秋庄六郎所有名義) 千秋康夫・ふみ 明治四〇年二月 一通 二五八
永当引讓渡証文之事 くま 元次郎 文化一三年九月	一通 九六三	旧公債証書明治十三年期分賦金受取誌 千秋庄六郎 明治一三年一二月 一通 二六七
讓渡申畑地証文之事(押越村地内引得畑地) くま 元次郎 文化一三年九月	一通 九六四	先代之印鑑 文治・信光・桑 明和二年 一通 二五九
讓渡申田畑証文之事(押越村地内引得田畑) くま 元次郎 文化一三年九月	一通 九六五	先代之印鑑 信敏・恵 文化一三年 一通 二六〇
讓証文(分家取立ニ付) くま・庄六 元次郎 文化一三年九月	一冊 一〇	役職 屯所
*元次郎分家附ニ付地方帳面訳御世話被下御礼ノ為質地戻証文 元次郎 七郎治 文化一三年一二月	一通 二六七	生糸製造取締役申付状 岐阜県庁 千秋元次郎 明治六年五月 一通 二五九
○		依頼郵便御用取扱差免状 駒通頭前島密 千秋元次郎 明治七年五月 一通 二八三
地所讓渡証書 千秋元次郎 千秋あい 明治一八年二月	飯一冊 二六〇	学区取締申付状 岐阜県 千秋元次郎 明治一二年三月 一通 二五八
(財産分与方依頼証) 千秋庄六郎 千秋楽 明治一八年一〇月	一通 二六〇	多芸・上石津両郡内受持申付状 岐阜県 学区取締千秋元次郎 明治二二年三月 一通 二五九
家徳讓渡証 千秋庄六郎 千秋楽 明治一八年一〇月	一通 二六五	岐阜県多芸・上石津郡書記十七等相当任命辭令 岐阜県大書記官 千秋元次郎 明治一三年三月 一通 二六三
地所讓渡証書 千秋庄六郎 千秋庄六郎妻らく 明治一九年一二月	美 飯一冊 二六一	

多芸・上石津郡書記千秋元次郎諸務課勤務辭令 岐阜県 明治一三年三月八日	一通	一六〇九
諸務課書記千秋元次郎學務・衛生事務担任辭令 岐阜県 明治一三年三月三〇日	一通	一六二〇
多芸・上石津郡書記千秋元次郎衛生事務担任解任狀 明治一三年六月	一通	一六六
諸務課書記千秋元次郎會計課勤務辭令 明治一三年八月	一通	一六二一
岐阜県書記被免願 千秋元次郎 岐阜県令 明治一四年五月	一通	一六〇六
岐阜県多芸・上石津郡書記依願免官狀 岐阜県 千秋元次郎 明治一四年五月	一通	一六二四
岐阜県御用係申付狀 准判任給与辭令共 岐阜県 千秋元次郎 明治一四年五月一六日	二通	一六〇七
養老公園在勤申付狀 岐阜県御用係 千秋元次郎 明治一四年五月	一通	一六三
御用係千秋元次郎地理課勤務辭令 明治一四年五月二六日	一通	一六二二
御用係被免願 千秋元次郎 岐阜県令 明治一五年一〇月	一通	一六五
岐阜県御用係差免狀 岐阜県 千秋元次郎 明治一五年一月	一通	一六〇八
戸長賜暇願(許可裏書共) 千秋元次郎 武儀郡々長 明治一九年三月	一通	一六六
所得調査委員選舉立会人選任通知狀 高田稅務署長 千秋十三郎 明治三六年六月	一通	一六七
所得調査委員當選通知狀 高田稅務署長 千秋十三郎 明治三六年六月	一通	一六八

多芸郡島田村學校資金差出ニ付木盃下賜狀 岐阜県 千秋元次郎 明治九年七月	一通	一五七
勸業御用ニ付出果御届 千秋元次郎 岐阜県令 明治一三年七月	一通	一六〇
郡書記賞与通知狀 岐阜県 千秋元次郎 明治一四年五月	一通	一六九
副戸長勤務願狀 山幡清左衛門 千秋 七月 奉職中之印鑑返却方ニ付探索願狀 山幡佳矩 千秋元次郎 一一月一二日	一通	一六〇
小学中等科教員免許狀 京都府 千秋重三郎 明治一五年八月	一通	一四三
小学中等科教員免許狀 大阪府 千秋重三郎 明治一六年七月	一通	一六元
高等科第四年生卒業試驗成績表 千秋すゑ 明治一六年四月	一通	一三〇
學術獎勵會銀牌賞狀 大垣中学校 千秋治一 大正四年六月	三通	一六五
養老郡教育會主催夏期講習會証書 養老郡教育會 千秋治一 大正九年八月	一通	一六七
明治二己巳年四時雜記 明治二年 年々雜記錄 服部笙峰 庚子(天保一一年) 日用雜記 千秋堂 明治三四年二月	一冊 一冊 一冊	三四〇 四九 四五

万端備忘録 安永四年

日記抜摘 棟重 一月二三日

日記一 抜摘棟重 明治二八年一〇月

旅行

身延山参詣土産物扣 文化七年八月

関東行諸入用帳 文化七年八一〇月

伊勢参宮道中諸雜記 服部元次郎 文政一〇年三月

名古屋とりのり日記(大野湯治・伊勢参宮) 庚手(明治三年)五月

旅行留書

(京・大坂道中小遺帳)

養老紀行 千秋棟重誌

療治先々服部庄六書状 母ちゆう宛

飛脚賃割合 天保六年二月

近在脚夫賃錢通 有吞軒藤井鳥助 開運社会計方 午(明治一五年)七月

居宅

○

本宅江移住諸記 千秋庄六郎棟載 明治一二年一〇月

新家居家敷ニ付親類一同融通取替一札 本家くま・庄六 元次郎 文化一三年九月

庄六居宅火災之節御公儀様へ書上ひかへ(本宅・蔵・油店・貸家) 庄六 寛政六年閏一二月

間取図

屋敷間取并方角図

居宅間尺図

居宅間取図

居宅見取図

(家間取図)

(居宅差図)

○

押越分南新道家図 一階・二階

普請

服部普請木割目録扣 文化五年九月

(土蔵新造ニ付為取替一札) 元次郎 春三郎・くま 文化一二年六月

(押越村地面譲受ニ付取極一札) 元次郎 庄六 文化一三年九月

元次郎讓屋敷延地ニ付立会取極絵図 元次郎・庄六 文化一三年九月

土蔵家普請入用留帳 文化一三年

家普請之覚 午年正月

本家修覆諸費取調帳 千秋庄六郎 明治一二年三月

三通 二四五

一鋪 二〇一一

一枚 二〇一二

二枚 二〇一三

二枚 二〇一四

一枚 二〇一九

三枚 二〇七九

二枚 二〇二三

一冊 五五九

一通 一三〇七

一通 一三〇八

一枚 一三〇九

一冊 五五八

一冊 七六

一冊 五五七

(木材精算書) 北村材木店 千秋十三郎 大正五年六月		半	一冊	七五
(建築見積書) 北村材木店 大正五年七月		半	一冊	七五
野田庄次郎并和三郎立合調書 千秋十三郎 大正五年六月		半	一冊	七〇
見積書(建築)		半	一冊	七〇
(居宅取繕普請見取図)		23 x 9.5	一枚	二四九
○				
大工賃錢受取証文 大工甚助 千秋康夫 明治二八年			四通	二六
○ 家財				
諸色取調記 明治六年九月		横長美	一冊	二六
(食器類購入品書上) 明治三四年九月		横長半	一冊	八三
諸道具番附帳 庄六		横長美	一冊	三二
(南京茶碗其他諸道具代金書上) 弘化二年四月			一通	九六
贈答				
儀理帳				
儀理順儀帳 服部重治郎 元文元年七月		横長半	一冊	五五
儀理順儀帳 服部庄六 寛保三年正月		横長半	一冊	五五
儀理順規帳 服部庄六 宝曆六年九月		横長半	一冊	五五
贈答記				
青木千代助贈答諸記 明治三五年八月		横長美	一冊	六三
明治三十四年歳盆贈答記 明治三四年		横長半	一冊	六四
明治三十四年歳暮贈答記 明治三四年				
明治三十四年歳暮贈答記 明治三四年				
明治三十五年旧盆贈答記 千秋家 明治三五年		横長半	一冊	六六
明治三十六年旧盆贈答記 千秋家 明治三六年		横長半	一冊	六六
明治三十七年旧盆贈答記 明治三七年		横長半	一冊	六六
明治三十七年十二月歳暮贈答記 千秋堂 明治三七年		横長半	一冊	六九
贈答帳 申七月		横長半	一冊	七六
○				
西町火事見舞留帳 附 他町・他村見舞遣分留 千秋庄六郎 安政五年四月		横長半	一冊	七七
お泰餞別帳		横長美	一冊	六三
(寺方役目中廻り他江扇子・直紙・鳥目渡方書上) 九月			一通	九七
諸家来状				
栗笠村佐藤与三郎書状 服部笙峰宛 天保七・一〇年			七通	二六七
林兵太夫書状 服部元次郎宛 天保一二年三月・一二月			三通	二九三
林雅之進書状 服部元治郎・同金五郎宛 天保一二年二月			一通	二九四
大須太兵衛書状 服部金五郎宛 (天保一二年四月二二日)			一通	二九五
近沢浅右衛門書状 服部笙峰宛 嘉永元年二月二八日			一通	二六七
江月村組頭書状 千秋庄六郎宛 明治四年二月			四通	二九六

千秋家所有地書上 明治一八年改 明治二十五年限千秋家方金地価書上 五年 千秋あい所有地掟米願并借地人書上 広田・栗田より分買入田地反別地価取調書上 (明治)	半 飯一冊 九六 一通 三五〇 一通 二六七 一通 二七七	一筆限耕地絵図 元次郎・左衛門分 癸卯(天保一四年)霜月 耕地絵図 元治二年四月改 耕地絵図 蓮寺手作苗場絵図 服部元次郎 三月 田井野取不分所書抜吟味之事 新入別高田畑元帳之内野取無之分書出し	28 x 42 35 x 30 41 x 35 28 x 40 横長美 横長美 横長美	五枚 二六七 一枚 一九七 一枚 一九六 一枚 三三六 一冊 四 一冊 三六八	土地所保権保存登記申請書 委任状共 千秋あい 大垣裁判所高田出張所 明治三四年三月 建物所有権保存登記申請書 高木兵八 大垣区裁判所高田出張所 明治三四年三月 建物証明書 高木兵八 明治三四年三月 地所登記済之証下附願 押越村分千秋庄六郎 半 飯一冊 二八三 二通 一四三	土地所有権保存登記申請書 高田町千秋あい 大垣区裁判所高田出張所 明治四一年五月 共有土地所有権移転登記申請書 島田千秋十三郎 区裁判所 大正七年一〇月 土地台帳謄本交附申請 千秋あい 高田税務署 明治三四年三月	半 飯一冊 三〇五 一通 三〇六 一通 三三七	永代ニ売渡し申畑之事 作右衛門 庄六 貞享丑(二年)三月 永代売渡し申畑之事 下高田村七右衛門 高田町十太郎 宝永三年三月 永代売渡し申畑之事 嶋田九郎右衛門 町庄六(宝永三年九) 永々売渡し申畑之事 高田町伊左衛門 高田町十太郎 宝永六年一二月 永代売渡し申畑之事 下高田兵右衛門 高田町十太郎 宝永八年二月 永代売渡し申畑之事 曾左衛門 十太郎 宝永八年五月	一通 一〇六九 一通 二四〇 一通 二四二 一通 二四三 一通 二四三 一通 二四六
--	---	---	---	--	--	---	---	---	---

壳渡申候畑之事 六右衛門 重太郎 正徳三年三月	一通 一〇九〇
永々壳渡申川原之事 高田川原町孫惣 十太郎 正徳三年極月	一通 一〇九六
永代ニ壳渡し申田地之事 飯木村甚藏 高田町重太郎 正徳六年二月	一通 一〇〇〇
壳渡申田地之事 飯木村七兵衛 高田町重太郎 正徳六年一二月	一通 一〇〇二
永代に壳渡し申田地之事 惣四郎 高田町重太郎 享保元年一二月	一通 一〇〇三
壳渡申田地之事 九太郎 重太郎 享保二年二月	一通 一〇〇三
永代ニ壳渡申畑之事 与平次 十太郎 享保三年一二月	一通 一〇〇三
永代壳渡申シ加原畑之事 吉右衛門 十太郎 享保三年一二月	一通 一〇〇二
壳渡申田地之事 飯木村六兵衛 高田町十太郎 享保六年一二月	一通 一〇〇四
壳渡し申御神領田地之事 鷺巢村出作白石村九郎八 高田町重太郎 享保七年一二月	一通 一〇六二
壳渡申畑之事 飯木村六兵衛 高田町重太郎 享保七年一二月	一通 一〇三三
壳渡し申田地之事 飯木村彦四郎 高田町重太郎 享保七年一二月	一通 一〇五五
当辰之替切ニ壳渡し申畑之事 押越村甚兵衛 高田町重太郎 享保九年二月	一通 一〇六六
壳渡申畑之事 飯木村分伊左衛門名寄 押越村新七郎 高田町十太郎 享保九年一二月	一通 一〇五四
飯木村田畑伊左衛門名寄帳 押越村新七 高田町十太郎 享保九年一二月	一冊 一〇三六

横長半

新七金請取覚 八左衛門 重太 辰(享保九年)一二月	一冊 一〇三五
永代壳渡し申田地之事 大墳村仁右衛門 庄六 享保一四年四月	一通 一〇六三
壳渡申田地之事 飯木村七兵衛 高田町庄六 享保一八年二月	一通 一〇六六
壳渡し申田地之事 鷺巢村直八 高田町庄六 元文四年一二月	一通 一〇六二
壳渡し申田地之事 飯木村分 大跡村六左衛門 高田町庄六 元文五年三月	一通 一〇六九
壳申畑之事 定右衛門 庄六 元文五年一二月	一通 一〇六三
永代壳渡し申田地之事 鷺巢半十郎 庄六 寛保二年一二月	一通 一〇六六
讓渡田畑御帳面証文 多右衛門他 庄六 天明三年五月	一冊 一〇九
(讓渡田畑証判帳) 多右衛門・東左衛門 (天明三年九)	一冊 一〇八
次郎左衛門田地代金請取覚 東左衛門口演共 太右衛門 庄六 天明三年一〇一三月	六通 一〇六六
讓渡申屋敷畑并古家証文之事 祝金請取証文 佐久内 庄六 寛政二年一二月	一通 一〇六六
壳券証文之事 九右衛門 庄六 寛政一〇年七月	一通 一〇六六
永当引米讓渡証文之事 道察後家 庄六 文化一〇年正月	一通 一〇六六
譲り請申田地証文之事 七太夫 庄六文化一三年一二月	一通 一〇六六
壳渡申畑地証文之事 横折之寛共 押越村權九郎 庄六 天保二年五月	二通 一〇六六

横長美

横長美大

横長半

假買券帳 服部庄六郎 天保一一、嘉永五年	一冊	三四	横長半
譲渡申畑地証文之事 押越村内 高田町源兵衛 高田町庄六郎 弘化四年二月	一通	二九五〇	
譲渡申畑地証文之事 高田文治 笹峰 嘉永三年八月	一通	二三八	
壳渡申田地証文之事 橋爪村治平 高田笹峰 安政五年二月	一通	一八九	
譲り渡申畑地証文之事 忠三郎 庄六郎 安政六年八月	一通	一三三	
譲渡申屋敷畑証文之事 平太夫 笹峰 安政六年八月	一通	一三七	
譲渡申田畑証文之事 横折之覺帳共 元次郎 庄六郎 明治二年二月	二通	一四六	
田地壳渡証券 土屋貞五郎・土屋礼四郎 千秋庄六郎 明治一年三月	一通	二四四	
田畑林屋敷壳渡証文之事 押越村樋口信七 千秋庄六郎 明治一年二月	一冊	二四三	美
田畑林屋敷并堤新敷林共壳渡代増金請取添証 押越村樋口信七 千秋庄六郎 明治一年二月	一通	九〇三	
地所壳渡証書 日比惣五郎 千秋庄六郎 明治二年二月	一通	二四六	
地所代金請取証扣 不破郡十六村地所 原儀右衛門 千秋庄六郎・樋口信七 明治二年二月	一通	八九五	
地所譲渡約定証 原儀右衛門 千秋庄六郎・樋口信七 明治二年二月	一通	八九六	
地所壳渡金子受取証 日比惣五郎 千秋庄六郎 明治二年二月	一通	二四七	
地所壳渡証書 伊藤八百吉 千秋庄六郎 明治一三年五月	二通	二四七	
諸記録(田地買得諸記) 千秋庄六郎 明治一三年一月	一冊	三五三	横長美
室村地所買得ニ付諸入費附立之記 (明治一三年九)	一通	二六九	
室村地代金御預り書状 樋口信七 千秋庄六 (明治一三年七月)	一通	二六三	
永世壳渡約定証 土屋松五郎 千秋庄六郎 明治一四年三月	一通	八七五	
年切金員請取証書 土屋松五郎 千秋庄六郎 明治一四年三月	一通	八七六	
地所壳渡証書 土屋松五郎 千秋庄六郎 明治一四年三月	一通	二四九	
田畑壳渡代金受済添証書 押越村樋口信七 千秋庄六郎 明治一四年七月	一通	二三四	
地所壳渡証書 土屋礼四郎 千秋庄六郎 明治一四・一五年	三通	二四〇	
地所壳渡証書 安八郡室村分 樋口信七 千秋庄六郎 明治一五年三月	一冊	二二九	美
地所壳渡証書 柏刈東 千秋庄六郎 明治一五年三月	二通	二四二	
石岡清蔵(地所買得約定書 樋口信七へ相渡候書類覚 明治一六年五月)	半	二七〇	
地所壳渡証書 樋口信七 千秋庄六郎 明治一六年六月	一綴	二四四	美
約定証(宅地買得証文) 松山恵林 千秋庄六郎 明治一六年一〇月	一通	二九九	
地所壳却諸雜記 附り買得地雜記 明治一六年	一通	三四三	横長半

地所売却約定証并請取書留 一八年	千秋扣	明治一六	半	一通	二四
地所売渡証書 押越村渋谷保之助 あい 明治一七年一月	島田村千秋	一通	二六二		
樋口信七地所売渡一件書類 明治一七年五月	千秋庄六郎宛	明治	一通	三三〇	
地所譲渡証書 島田村千秋元次郎 明治一七年八月	千秋あい	美	一通	二六二	
地所売渡代金請取証文 宇田和吉・嘉市 庄六郎 明治一七年八月	千秋	一通	三四六		
地所売渡証書 安田伊右衛門 明治一七年九月	千秋庄六郎	明治	一通	二四三	
地所譲渡証書 押越村樋口子孝 明治一八年三月	千秋庄六郎	美	一通	二四〇	
地所売渡証書 島田村安田みつ 柏瀬東作 明治一八年五月	千秋庄六郎	一通	二四五		
地所売渡証書 第百二十九国立銀行 明治一八年一二月	千秋十三	美	一通	二六三	
地所売渡証書 千秋康夫 明治一九	千秋うめ	美	一通	九五	
(地所買受証書) 島田村佐竹嘉七妻しお 庄六郎 明治一九年八月	千秋	一通	二四七		
(買受代金先利五ヶ年分請取証文) 佐竹嘉七妻しお 千秋庄六郎 明治一九年八月	佐竹嘉七	一通	二六三		
地所売渡証書 押越分 千秋庄六郎 明治一九年九月	千秋十三	美	一通	二六四	
(絶家千秋宗内地所買受証書) 佐竹嘉七妻しお 千秋庄六郎 明治二〇年三月	佐竹嘉七妻し	一通	二四九		
地所売渡証書 島田村中島文兵衛 ・千秋十三郎 明治二〇年四月	千秋庄六郎	美	一通	二六六	
地所売渡証書 島田村柏瀬まさ 明治二〇年八月	千秋庄六郎	一通	二四六		
地所売渡証書 島田村柏瀬友次 明治二〇年一二月	千秋庄六郎	半	一通	二五二	
地所譲渡証書 千秋庄六郎 明治二一年二月	千秋庄六郎妻らく	美	一通	二六八	
地所売渡証書 多芸郡大跡村戸倉啓七 三郎 明治二三年五月	千秋十	一通	二五四		
大跡村戸倉啓七ヨリ千秋十三郎へ買得地旧地 価反別記 明治二三年五月	千秋庄六郎	半	一通	二五五	
地所売渡証書 高田町水谷喜兵衛 明治二七年二月	千秋庄六郎	一通	二五〇		
地所売渡証書 高田町中島文江 明治三一年五月	千秋十三郎	一通	二五三		
地所売渡証書 中島むめ 一年六月	千秋十三郎	明治三	一通	三五三	
請取金証 (地所売渡代金) 中島文兵衛・むめ 千秋十三郎 明治三二年六月	千秋十三郎	一通	三五六		
地所売渡証書扣共 高田町近藤治吉 明治三二年四月	千秋庄六郎	一通	二六七		
譲渡田畑之覚		美	一通	二六	
売渡申松塚之事扣共 橋爪村喜太次 享三年三月	庄六	延	一通	二七九	

○佐藤七郎次宛

地所売渡証券 不破郡栗原村栗田忠兵衛 佐藤七郎次 明治一一年二月

一通 二四九

不破郡栗原村之内地所売渡証書 安八郡大垣町広田完策 伊勢国員弁郡佐藤七郎次 明治一一年八月

一通 二四三

地所売渡ニ付念切として金子請取証 広田完策 佐藤七郎次 明治一一年八月

一通 一五五

今須村三輪市郎右衛門・栗原村清水勝助の買請地讓渡代金請取証 栗田忠兵衛 佐藤七郎次 明治一三年二月

二通 二四六

今須村三輪市郎右衛門の買受地讓渡約定証小前帳共 栗田忠兵衛 千秋庄六郎・樋口信七 明治一五年二月

横長半

仮一冊 二四五

地所売渡証書 今須村三輪市郎左衛門 西野尻村佐藤七郎次 明治一三年二月

美

一冊 三

地所売渡証券 清水勝助 佐藤七郎次 明治一三年二月

一通 三

買上地代金増金ニ付増米御請負添証券 栗田忠兵衛 佐藤七郎次 明治一三年九月

一通 六六

○江州分

耕地売渡約定証 近江国蒲生郡日野大窪町石岡清藏 千秋庄六郎代理安田半兵衛 明治一四年三月

半

仮一冊 二七三

受取証 (土地売却代金内金) 石岡清藏 千秋庄六郎 明治一四年二月

一通 二七四

請取証(小作米代金) 石岡清藏 安田半兵衛 明治一五年三月

一通 二七五

○その他

譲り申証文之事 文五郎 清七 宝暦一一年六月

一通 三四四

譲渡田地代金請取覚 清七 町庄六 宝暦一一年九月

一通 三四五

譲渡申畑地証文之事 政右衛門 半次 嘉永六年三月

一通 三五六

地所売渡約定書 水野常右衛門 栗田忠兵衛 明治一三年一月

一通 二四八

(地所売渡ニ付増金請取証) 押越村樋口信七 中島彦左衛門 明治一六年七月

一通 二七九

地所売渡証書 押越村樋口信七 同村小野甲悦 明治一六年一月

一通 二七六

地所売渡証券 押越村樋口まさ 中島文兵衛 明治二〇年三月

半

仮一冊 二六五

田畑売渡代金書上 土屋礼四郎・河合岩三郎売渡分 明治三二年五月

一通 二七五

屋敷買

永代ニ売渡し屋敷之事 桜井村喜平次 庄六 享保五年二月

一通 二九二

蔵売渡一札 四郎兵衛 庄六 元文四年一月

一通 三三七

永代ニ売渡し申居屋敷之事 わしのす村惣助 市右衛門 宝暦元年二月

一通 二七五

譲渡証文之事 (油屋) 藤藏 忠左衛門 安永八年四月

一通 二四〇

譲渡ス家屋敷添証文之事 忠左衛門 庄六 安永一〇年三月

一通 二四二

譲渡申家敷之事 裕助 庄六 寛政二年二月

一通 二九六

古家壳渡一札 麻屋藤八 庄六 文政四年一一月	一通	一九二	屋敷畑壳代金請取証文 中屋敷組九右衛門 伊八 寛延二年一二月	一通	二四六
古家等壳払代金ニ而年貢差引勘定覚 与兵衛 庄六郎 嘉永四年八月	一通	二六三	家壳証文之事 市作 清七 宝曆六年三月	一通	一八七
古家壳渡シ証文 安田屋幸作 服部庄六郎 嘉永六年一二月	一通	一八三	建物壳渡証券 絵図面共 柏木儀平治 村上真一 明治一六年一月	二通	二三九
市作殿家代金他受取覚 日比野平太夫 千秋笙 峰 安政六年七月	二通	二五〇	建物壳渡証書写 早崎佐七 柏木儀平次 明治一六年一月	一通	二三八
古家引合一札之事 市作 千秋庄六郎 万延元年七月	一通	一三四	年季買		
讓渡申家証文之事 絵図共 市作 藤井勘右衛門 万延元年一月	一通	一三三	亥年ノ卯年迄五年季壳渡申田地之事 高田村儀三郎 高田町重太郎 宝永三年一二月	一通	一六九
家屋敷壳渡シ申引合一札之事 与七 千秋庄六郎 文久元年七月	一通	二四八〇	年季ニ壳渡し申伊勢領之事 鷺巢村平八 重太郎 正徳五年三月	一通	一六四
讓渡申家屋鋪証文之事 讓渡代金受取証文共 大跡村戸倉文之丞 千秋庄六郎 文久三年一二月	二通	一三七	三年切壳渡伊勢領田地証文 鷺巢村次良平 重太郎 享保六年一二月	一通	一四三
千次屋敷代金殘金請取方願書状 日比野廉平 千秋庄六郎 明治一〇年八月	三通	二八〇五	伊勢領畝付之覚 鷺巢村次郎平分 重太郎宛 享保六年一二月	一通	一四二
家屋敷代請取証 土屋松五郎 千秋庄六郎 明治一三年三月	一通	一八五	年賦ニ壳渡申御神領田地之事 鷺巢村次郎平 高田町重太郎 享保九年一〇月	一通	一六七
建物壳渡証書 中野貞次 千秋庄六郎 明治一六年一月	一通	二四〇五	午年ノ申年迄三年季壳渡シ申田地之事 六兵衛 庄六 享保一一年一二月	一通	三四七
定治居宅讓受覚 文助 千秋庄六郎 六月	一通	八六七	申ノ年ノ戌年迄三年切壳渡シ申田地之事 鷺巢村新助 庄六 享保一三年正月	一通	一四九
壳渡申屋敷畑之事 飯木村三弥 高田町庄六 宝曆五年一二月	一通	三六	申ノ年ノ戌年迄三年切ニ壳渡シ申田地之事 上方村七郎右衛門 庄六 享保一三年三月	一通	一六八
永代壳渡ス家屋敷之事 小右衛門 清七 延宝五年一〇月	一通	一六三	五年季壳渡シ田地証文 鷺巢村門右衛門 高田町庄六 享保一三年三月	一通	一四〇
			申年ノ子年迄五年切ニ壳渡シ申田地之事 鷹巢村市右衛門 庄六 享保一三年三月	一通	一〇〇

申年、子年迄五年切ニ売渡シ申田地之事 鶯巢村甚吉 庄六 享保一三年四月	一通	一〇五九
戌年、子年迄三年切売渡申田地之事 橋爪村六郎兵衛 高田町庄六 享保一五年正月	一通	一七九四
田地預り一札之事 橋爪村六郎兵衛 庄六 享保一五年正月	一通	一七九七
当子年老年切ニ売渡シ申田地之事 橋爪村六右衛門 庄六・彦七 享保一七年五月	一通	一七九七
橋爪村之内田所名寄字付帳 六右衛門 庄六・彦七 享保一七年五月	一通	一七九八
巳年、未年迄三年季ニ売渡候田地之事 添一札共 下高田名主市右衛門 庄六 元文元年一二	二通	一六六七
五年季売渡申田畑之事 横折之覚共 嶋田村次兵衛 庄六 宝曆六年一二月	二通	一三三六
丑年、巳年迄五年季ニ相渡シ申田畑之事 中組三十郎 庄六 宝曆七年一二月	一通	一三九五
(合力金受取一札) 三十郎 庄六 宝曆一二年一二月	一通	一三九六
三年季ニ相渡シ申田畑証文之事 飯木村与助 庄六 明和七年二月	一通	一三九三
当寅年、未年限五年賦相渡申質畑地之事 横折之覚共 次郎太夫 庄六 明和七年七月	二通	一三三七
○		
年季ニ売渡シ申家屋敷之事 作平 十太郎 宝永元年一二月	一通	一三九六
貳年、子年迄三年季ニ相渡シ申田地之内七日市藤兵衛 重太郎 享保九年一〇月	一通	一七六六

来卯年、申年迄六年之内売渡申畑地之事 勘右衛門 高田町源兵衛 享保七年一二月	一通	一三九四
午年、申年迄三年季ニ売渡シ申証文之事 高田町権之助 藤七 元文三年正月	一通	一三九四
○		
田金出入記 服部庄六 文政六年五月	一冊	四四六
別金覚 千秋笙峰 安政五年	一冊	四二〇
○		
三反割渡シ不足此度相談之上升ニ而相渡一札 鶯巢村門右衛門 高田町庄六 元文三年一〇月	一通	一四四四
口上(清右衛門田地売渡ニ付請人札状) 佐久内・十右衛門 服部庄六 (宝曆二年)一二月	一通	一三三四
田添・堤添等添地渡証文 忠六 庄六 享保元年三月	一通	一三六六
横折之覚 忠六 庄六 享保元年三月	一冊	一三六七
譲渡田畑作人書上	一冊	八六九
御帳面掟横折帳 忠兵衛 庄六 元文五年一二月	一冊	一四四四
質流地		
○田畑流地		
質相流シ申田地之事 藤次 庄六 享保一一年一二月	一通	一四四七

質流相渡シ申田地之事 一年一二月	五郎吉 庄六 享保一	一通 三六九	質流相渡申田地之事 中屋敷組九右衛門 庄六 元文元年一二月	一通 二五
質流ニ相渡申田畑之事 一五年一二月	権左衛門 庄六 享保	一通 三〇六	質流ニ相渡申田地之事 下高田文四郎 庄六 元文二年二月	一通 二九六
質流ニ相渡シ申田之事 保一五年一二月	下高田左平 庄六 享	一通 一七三	質流ニ相渡申田地之事 善九郎 庄六 元文二 年三月	一通 一八六
質流ニ相渡シ申田地之事 享保一五年一二月	井口組甚蔵 庄六	一通 二〇六	質流ニ相渡シ申田畑証文之事 横折之覚共 東 町茂十郎 庄六 元文三年一二月	一通 三三九
質流ニ相渡シ申田畑之事 享保一五年一二月	下高田又助 庄六	一通 一八六	質流ニ相渡シ申田地之事 小作掟米之覚共 中 屋敷九右衛門 庄六 元文四年一二月	一通 二九七
質流相渡申田畑之事 保一五年一二月	元屋鋪 彦助 庄六 享	一通 二九三	質流ニ相渡シ申田地之事 九右衛門 庄六 元 文五年一二月	一通 一八七
質流ニ相渡シ申畑之事 享保一六年一二月	下高田源左衛門 庄六	一通 二〇七	質流ニ相渡シ申田地之事 九右衛門 庄六 元 文五年一二月	一通 一八六
質流ニ相渡シ申田畑之事 一八年一二月	七太夫 庄六 享保	一通 三三三	質流ニ相渡申畑之事 権左衛門 庄六 寛保元 年一二月	一通 三三〇
質流相渡シ申田畑之事 一八年一二月	権左衛門 庄六 享保	一通 一七二	質流ニ相渡シ申田畑之事 請取証文共 権左衛 門 庄六 寛保元年一二月	三通 三三三
質流ニ相渡申押越村引得高田地之事 庄六 享保一九年二月	清次郎	一通 二二三	質流相渡申田地之事 九右衛門 庄六 寛保二 年二月	一通 一九三
質流ニ相渡シ申田畑之事 享保一九年二月	源左衛門 庄六郎	一通 二九三	質流ニ相渡シ申田畑之事 掟之覚共 忠兵衛 庄六 寛保二年三月	二通 二三
質流相渡申田畑之事 年三月	又兵衛 庄六 享保二〇	一通 一八六	質流相渡申田畑之事 彦六 庄六 寛保二年一 二月	一通 三四九
質流相渡申田畑之事 享保二二年正月	中屋敷組九右衛門 庄六	一通 一〇七	質流ニ相渡申田畑之事 彦七 庄六 寛保三年 三月	一通 三四六
質流相渡申田畑之事 庄六 享保二二年三月	田畑御帳面共 七太夫	二通 一九三	質流相渡田畑之事 市左衛門・重右衛門 庄六 延享元年三月	一通 二九三

質流相渡シ申田畑之事 延享元年十二月	小前帳共 忠兵衛 庄六	二通 二三四
質流ニ相渡シ申田畑之事 元年十二月	庄次郎 庄六 延享	一通 二二七
質流ニ相渡申田畑之事 二月	文七 庄六 延享元年	一通 二九四
質流ニ相渡シ申田畑之事 二年三月	忠兵衛 庄六 延享	一通 一六八
質流ニ相渡申南河原畑之事 延享二年十二月	孫右衛門 庄六	一通 一〇五
質流相渡申田地之事 新助 庄六 延享三年八月	横折之寛共 市左衛門・	二通 二九元
質流ニ相渡申屋敷畑之事 寛延元年二月	井口組仙九郎 庄六	一通 一二六
質流ニ相渡申屋敷畑之事 元年十二月	惣次 庄六 寛延元	一通 一七一
質流相渡申田地之事 庄六 寛延元年十二月	井口組仙九郎・円治郎	一通 二三七
質流ニ相渡申屋敷畑之事 延元年六月	惣次 下川林蔵 寛	一通 一三七
質流ニ相渡申田地之事 寛延二年二月	井口組武兵衛 庄六	一通 一二五
質流相渡申田畑之事 二月	源兵衛 庄六 寛延三年	一通 一三七
質流相渡申田地之事 庄六 寛延三年十二月	横折之寛共 中町源兵衛	二通 一九三
質流相渡申畑之事 月	要八 庄六 宝曆元年十二月	一通 一八五
質流ニ相渡申田地之事 下高田宇八 庄六 宝		一通 二四六
質流ニ相渡申田地之事 庄六 宝曆二年十二月	横折之寛共 佐久内	二通 三六九
質流ニ相渡申田地之事 六 宝曆二年十二月	掟米寛共 平太郎 庄	二通 一六三
質流ニ相渡申田畑之事 衛門 庄六 宝曆二年十二月	掟米横折之寛共 清左	一通 一六三
質流相渡申田地之事 庄六 宝曆二年十二月	掟横折之寛共 井組領助	二通 三七九
質流ニ相渡申田地之事 宝曆三年正月	井組甚右衛門 庄六	一通 一六五
質流ニ相渡申田畑之事 年二月	武兵衛 庄六 宝曆三	一通 一六八
質流ニ相渡申田地之事 六 宝曆三年十二月	掟米寛共 平兵衛 庄	二通 一六六
質流ニ相渡申田地之事 蔵 庄六 宝曆三年十二月	市左衛門添状共 傳	二通 二四七
質流ニ相渡申田地之事 四年十二月	勝右衛門 庄六 宝曆	二通 一三〇
質流ニ相渡申田畑之事 六 宝曆五年六月	横折帳面寛 忠治 庄	三通 三九〇
質流ニ相渡申畑之事 二月	長太郎 庄六 宝曆五年	一通 一六九
質流ニ相渡申田地之事 平太 庄六 宝曆五年十二月	横折之寛共 井口組喜	二通 一八九
質流代金増金請取証文 宝曆五年十二月	井口組喜平次 庄六	一通 一八五

質流ニ相渡申田畑之事 米覚共 市左衛門 庄六 寶曆六年正月	七反田并城前屋敷分掟 寶曆六年正月	二通 三七三
質流ニ相渡田畑之事 曆六年正月	横折共 武八 庄六 寶	一通 一二三
質流ニ相渡申田畑之事 作 庄六 寶曆六年二月	横折之覚共 嶋田村平	三通 二四六
質流ニ讓渡申田畑之事 庄六 寶曆六年九月	屋敷田畑覚共 治兵衛	二通 二五二
質流相渡申畑之事 一月 孫太郎 庄六 寶曆六年一		一通 二九七
質流ニ相渡申田地之事 庄六 寶曆六年一二月	横折之覚共 甚右衛門	二通 二三三
質流ニ相渡申畑之事 年二月 市左衛門 庄六 寶曆七		一通 一八五四
質流ニ相渡申畑之事 一二月 佐之七 庄六 寶曆七年		一通 二九八
質流相渡申田地之事 月 忠治 庄六 寶曆八年七		一通 一八五三
質流ニ相渡申田畑之事 兵衛 庄六 寶曆一〇年三月	横折覚并絵図面共 平	二通 一八〇一
質流ニ相渡申田畑之事 庄六 寶曆一一年四月	横折覚共 市左衛門	一通 一八二
質流ニ相渡申畑之事 一年一二月 市左衛門 庄六 寶曆一		一通 一〇六
質流ニ相渡申田地之事 一二年一二月 勝右衛門 庄六 寶曆		一通 一八五
質流ニ相渡申田地之事 六 寶曆一三年二月	横折之覚共 寿延 庄	二通 二四六
質流ニ相渡申田地之事 六 寶曆一三年三月	掟米覚共 佐久内 庄	一通 一四六
質流ニ相渡申引高之事 寶曆一三年一〇月	清左衛門・仙藏 庄六	一通 三四一
質流ニ相渡シ申田畑家屋敷之事 多びすや仙十郎 庄六 寶曆一三年一二月	横折之覚共	二通 二三三
質流相渡申余歩高之覚 庄六 寶曆一四年四月	中屋敷組庄屋源十郎	一通 二四三
質流相渡申田地之事 年極月 忠左衛門 庄六 延享元		一通 二七三
質流証文田地有坪掟小前帳 延享元年極月 忠左衛門 庄六		一冊 三七四
質流ニ相渡申田地之事 享五年三月 下高田文七 庄六 延		一通 二六一
質流ニ相渡申田畑之事 年一二月 忠兵衛 庄六 明和元		一通 二二六
掟方覚 忠兵衛 庄六 明和元年閏一二月		一通 二二七
質流ニ相渡申田地之事 平十郎 庄六 明和元年一二月	添書并横折覚共 横町	三通 一四七
質流相渡シ申田地之事 組領助 庄六 明和元年一二月	横折帳并改絵図共 井	二通 一四九
質流ニ相渡申田地之事 左衛門 庄六 明和元年一二月	横折之覚共 下高田市	二通 三七四
質流ニ相渡申畑之事 庄六 明和元年一二月	掟方覚・添状共 喜平次	三通 二四二
質流一件証文 明和二年四月		一通 二二三
1 質流相渡申田地之事	金十郎 庄六	一通

25 x 34
横長美大

横長半

横長美大

半

2 覚(図面六尺式寸竿之所六尺ニ出し検竿候
算出書)

3 検地図面

25×34.5

4 横折帳 金十郎 庄六

質流相渡申畑之事 横折共 庄屋(井口) 仙九郎 市左衛門 明和四年二月

讓渡証文之事(井口仙九郎入分) 市左衛門 庄六 明和四年二月

質流ニ相渡申田地之事 横折之覚共 藤治 庄六 明和二年二月

質流ニ相渡申田地之事 横折之覚共 平太郎・仙治 庄六 明和二年二月

五年季返シ証文 庄六 横丁仙治 明和二年二月

差金并利金請取田畑讓渡証文 添証文共 仙治 庄六 明和四年三月

質流ニ相渡申田地之事 掟横折之覚共(重右衛門後家)すわ 庄六 明和二年二月

質流ニ相渡申証文之事 横折共 八太夫 町市左衛門 明和三年二月

質流相渡申田地証文之事 掟米覚共 源七後家 智繁・忠治 庄六 明和三年二月

(利足米不足ニ付五ヶ年賦払覚書) 智繁・忠治 庄六 明和三年二月

質流相渡申畑地証文之事 横折帳共 五平次 庄六 明和三年二月

質流相渡申田地証文之事 中町民弥 庄六 明和四年四月

横折之覚 丹宮 庄六 明和四年四月

質流相渡申田地証文之事 横折共 次助 庄六 明和四年二月

質流相渡申畑之事 横折覚共 惣次郎 庄六 明和四年二月

質流ニ相渡申田地之事 横折之覚共 横町仙治・平太郎 庄六 明和四年二月

質物ニ書入申田地之事 平十郎 庄六 明和四年二月

質流ニ相渡申田地之事 横折之覚共 横川平十郎 庄六 明和四年二月

五ヶ年切返証文 庄六 平十郎 明和四年二月

質流指金請取証文 平十郎 庄六 明和六年二月

質流ニ相渡申畑之事(御所馬場畑) 中組庄屋源十郎 庄六 明和七年七月

質流ニ相渡申畑地証文之事 下高田組分横折之覚 高田源兵衛 庄六 明和七年二月

質流ニ相渡申上畑之事 市左衛門 庄六 明和七年二月

質流相渡申田地証文之事 掟方之覚共 横町平太郎 庄六 明和八年七月

質流ニ相渡申田畑証文之事 掟方之覚共 仙治 庄六 明和八年九月

質流ニ相渡申田畑証文之事 平十郎 庄六 明和八年二月

横折帳覚 平十郎 庄六 明和八年二月

横長美大

質流ニ相渡申田地証文之事 三昧越源六林境改 繪図共 横町善藏 庄六 明和九年二月	二通 三三五
質流相渡申田地之事 横折共 源兵衛 庄六 安永元年二月	二通 一八六
質流ニ相渡申外畑之事 井組仙右衛門 庄六 安永元年二月	一通 一四七
質流ニ相渡申田畑証文之事 横折之覚 平十郎 庄六 安永年二月	二通 二九一
質流ニ相渡申田畑証文之事 掟方算用覚共 東 町佐久内 庄六 安永三年二月	二通 一四〇
質流相渡申田地証文之事 掟方之覚共 忠兵衛 庄六 安永七年二月	二通 一四三
質流相渡申田地之事 彦市 庄六 安永八年一 二月	一通 二二六
覚(掟方) 彦市 庄六 安永八年二月	一通 二二六
金七拾八両質流証文一件 安永七〇年	一通 二二六
1 横折帳 理左衛門 庄六 安永七年一二 月	一通 二二六
2 質流ニ相渡申田畑証文之事 理左衛門 庄六 安永一〇年三月	一通 二二六
3 横折帳 理左衛門 庄六 安永一〇年三 月	一通 二二六
4 理左衛門田地積	一通 二二六
質流相渡申田地証文之事 横折共 忠五郎 庄 六 天明二年二月	二通 二四四
田畑質流ニ相渡シ申引合究之事(次郎左衛門引 得之分) 多右衛門・東左衛門・久次郎・吉兵衛 庄六 天明三年一〇月	一通 二四七

讓渡証文之事 多右衛門・藤左衛門・久次郎・ 甚四郎・吉兵衛 庄六 天明三年五月	一通 二四九
質流相渡申田畑証文 横折帳・代金積金并野尻 帳共写 井組六左衛門 庄六 天明三年二月	四通 三六八
質流相渡申畑地証文之事 横折之覚共 中組与 平次 庄六 天明四年二月	二通 一八七
質流相渡申畑地証文之事 五日市村分 横折之 覚共 権九郎 庄六 天明五年八月	二通 一八七
金十郎田地一件 天明六年二月	一通 二五〇
1 質流ニ相渡シ申田地証文之事 金十郎 庄六 天明六年二月	一通 二五〇
2 覚(横折帳) 金十郎 庄六	一通 二五〇
3 (金十郎田地一件金子渡方願) 庄次・ 和七 服部庄六 天明六年二月	一通 二五〇
質流ニ相渡申田畑之事 添証文共 平助後家 と 政助 寛政四年三月	三通 二五九
横折之覚 平助後家りと 政助 寛政四年三月	一通 二五九
質流ニ相渡シ申田地証文之事 藤五郎後家 政助 寛政四年五月	一通 二六三
質流ニ相渡申畑地証文之事 林右衛門 庄六 寛政一二年二月	一通 二六〇
掟米覚 林右衛門 庄六 寛政一二年二月	一通 二六〇
質流相渡申田畑証文之事 下町忠六 庄六 享 和元年三月	一通 二六五
質流相渡申畑之事 庄蔵 庄六 享和二年正月	一通 二六七
質流ニ相渡申田地証文之事 下高田小七 庄六 享和二年三月	一通 二六三

質流ニ相渡申畑証文之事 六 享和二年四月	掟米覚共 文蔵 庄	二通 二六四
質流相渡申畑地証文之事 六 享和二年十一月	横折帳共 忠六 庄	二通 二六六
質流相渡申田地証文之事 二年二月	七郎治 庄六 享和	一通 二六三
質流証文之事 横折共 (渋谷)繁次 化九年一〇月	庄六 文	二通 二六九
質流ニ相渡申証文之事扣 市三郎 藤左衛門 文化一〇年閏十一月		一通 二六八
(七太夫百七拾両借用一件証文) 一二月	文化一四年	一六三
1 質流ニ相渡申田畑証文之事 庄六 文化一四年一二月	七太夫	一通
2 掟米覚 七太夫 庄六		一通
3 質流ニ相渡申田畑証文之事 庄六	七太夫	一通
4 掟米覚 七太夫 庄六		一通
5 (年貢諸役引合一札) 七太夫一庄六		一通
質流ニ相渡申田畑証文之事 隆平 庄六 文政 元年一〇月		一通 二七〇
(十ヶ年内返金差戻引合証文扣) 庄六 隆平 文政元年		二通 二七二
質流ニ相渡申畑地証文之事 横折共 高田町与 三右衛門 庄六 文政五年七月		二通 二七三
質流相渡申外畑証文之事 押越村伊与八 高田 町喜七 文政五年九月		一通 二七三

横折之覚 押越村伊与八 高田町喜七 文政五年 九月		一通 二七四
横折之覚 喜七 八十郎 文政七年一二月		一通 二七五
質流相渡申田地証文之事 横折之覚 下高田又 左衛門 庄六 文政八年三月		二通 二八四
質流ニ相渡申永当引高証文之事 林右衛門 庄六 文政八年一〇月		一通 二七六
質流相渡申下畑証文之事 勝次 庄六 文政九 年七月		一通 二七八
質流相渡申畑証文之事 横折之覚共 島田村林 七 服部庄六 文政一三年七月		二通 二七七
質流相渡申証文之事 市郎左衛門 忠五郎 天 保二年三月		一通 二九五
質流相渡申証文之事 忠八 庄六 天保三年二 月		一通 二九六
質流ニ相渡申畑地証文之事 高田町市左衛門 庄六 天保四年三月		一通 二九四七
質物書入申畑地証文之事 横折之覚共 押越分 高田町善左衛門 庄六 文政五年五月		二通 二九四六
質流ニ相渡申田畑証文之事 栗笠村佐藤与三郎 庄六郎 天保一四年一〇月		一通 二八四
田畑掟反別横折帳 栗笠村佐藤与三郎 庄六郎 天保一四年一〇月	横長美大	一冊 二八五
質流相渡申田畑証文之事 押越村分横折之覚共 佐藤与三郎 庄六郎 弘化二年八月		二通 二八六
質流相渡申畑地証文之事 権九郎 庄六 天保 七年二月		一通 二九〇
質流相渡申証文之事 横折之覚共 庄六 庄七 天保七年五月		一通 二九二

質流相渡申田畑証文之事 保七年二月	彦右衛門 庄六 天	一通 三〇六	質流相渡申田畑之事 久二年二月	九兵衛 千秋庄六郎 文	一通 二四七
質流相渡申田地之事 天保九年一月	横折之覺共 三七郎 庄	二通 二〇六	質流相渡申田地証文之事 文久三年二月	横折之覺共 新七	二通 一五五
質流相渡申田地証文之事 天保九年十一月	横折之覺 三七郎	二通 一〇七	質流二相渡申田畑証文 横折之覺共 土屋篤四郎 甚助 文久三年二月	横折之覺共 土屋篤四郎 甚助	二通 二四五
質流証文之事 八十郎 景陽寺 天保一〇年	半	飯一綴 二〇九	質流二相渡申田地証文之事 土屋篤四郎 関助	取次 慶応四年七月	一通 一五一
質流相渡申田畑証文之事 庄六郎 天保一一年七月	横折之覺共 弥兵衛	二通 二二〇	質流二相渡田地証文之事 益次郎 丈平・多助 慶応元年十一月	益次郎 丈平・多助	一通 一三七
質流相渡申田地証文之事 庄六郎 天保一三年二月	横折之覺共 安兵衛	二通 二二一	質流相渡申田畑証文之事 元次郎 甚助 慶応二年三月	元次郎 甚助 慶応	一通 二六七
質流二相渡申田畑証文之事 夫・庄六郎 弘化二年二月	元次郎 七太	一通 二二三	横折之覺 元次郎 甚助 慶応二年三月	横長半	一冊 二六六
質流二相渡申上畑証文之事 弘化二年一月	吉兵衛 本立院	一通 二二四	質流二相渡田畑証文之事 金子請取添狀証文共 篤四郎 甚助 慶応二年八月	金子請取添狀証文共 篤四郎 甚助	二通 二六九
質流二相渡中田畑証文之事 ・庄六郎 弘化二年二月	元次郎 七太夫	一通 二二三	質流二相渡申永当引証文之事 甚七 千秋庄六郎 明治元年二月	甚七 千秋庄六郎	一通 一四〇
質流二相渡申証文之事 新七郎 弘化三年三月	嶋田村益次郎 傍島	一通 二四七	質流二相渡申地所証文之事 益次郎 伝右衛門 取次 明治三年六月	益次郎 伝右衛門 取次	一通 一四四
質流相渡申田畑証文之事 秋庄六郎 嘉永元年三月	とせ 柏瀬友次・千	一通 一二七	質流二相渡申田地証文之事 横折之覺共 茂太 夫 庄六郎 明治三年二月	横折之覺共 茂太 夫 庄六郎	二通 二三四
質流相渡申地所証文之事 五年七月	益次郎 新七 嘉永	一通 一九六	質流二相渡申田畑証文之事 市作 友治・庄六郎 明治四年二月	市作 友治・庄六郎	一通 二三六
質流二相渡申田地証文之事 永五年一〇月	市作 庄六郎 嘉	一通 二二〇	質流二相渡申田地証文之事 市作 佐吉 嘉永七年二月	市作 佐吉	一通 二三四
質流二相渡候田地証文之事 下書 市作 佐吉 嘉永七年二月	市作 佐吉	一通 二三四	質流二相渡申田地証文之事 清次 千秋庄六郎 安政七年三月	清次 千秋庄六郎 安	一通 二三六

質流ニ相渡申地所并永当引証文之事 四郎 甚助取次 明治四年二月	土屋篤	一通	二三三
質流ニ相渡申田地之事 千秋庄六郎 明治四年二月	横折之覚共 市左衛門	二通	二三三
質流ニ相渡申畑地証文之事 茂太夫 千秋庄六郎 明治四年二月	横折之覚共 土屋	二通	二五六
質流相渡申地所証文之事 千秋庄六郎 明治五年三月	横折之覚共 権太夫	二通	二五七
質流相渡申地所証文之事 千秋庄六郎 明治五年三月	横折之覚共 権太夫	二通	二五六
質流申地所証文之事 太郎 千秋庄六郎 明治七年八月	津田甚兵衛・政	一枚	一五三
質流相渡申証文之事 八年八月	藤五郎 糸右衛門 明治	一通	一七六

○屋敷

質流ニ相渡シ申家屋敷之事 六 享保一七年二月	添状共 左助 庄	二通	一三二
質流ニ相渡申家屋敷并蔵之事 清左衛門 庄六 元文二年三月	扣共 高田町	二通	三三六
質流相渡シ申家屋敷之事 元文四年二月	町四郎兵衛 庄六	一通	三六〇
質流ニ相渡申家屋敷雜蔵之事 庄六 元文五年十一月	高田町清七	一通	一六四
質流相渡申家屋敷事 彦八 惣助 延享二年三月	延享二年三月	一通	一三五
質流相渡申家屋敷事 町彦八 庄六 延享二年三月	延享二年三月	一通	三〇九
質流ニ相渡シ申家屋敷之事 六 延享二年二月	高田町丑之助 庄	一通	一三三

質流ニ相渡申家屋敷之事 延享四年二月	高田町伊兵衛 庄六	一通	一六九
質流ニ相渡シ申屋敷畑之事 寛延元年二月	中ノ与三郎 庄六	一通	一六五
質流ニ相渡申家屋鋪之事 年二月	玄明 庄六 寛延二	一通	三三五
質流ニ相渡申家屋敷之事 四年七月	町武八 庄六 寛延	一通	二二六
質流ニ相渡申屋敷畑之事 年二月	林蔵 庄六 宝曆二	一通	二六六
質流相渡申家屋敷之事 正月	彦八 庄六 宝曆四年	一通	二四六
質流ニ相渡申屋敷畑之事 宝曆八年二月	下高田弥助 庄六	一通	一四〇
質流ニ相渡申家屋敷之事 明和元年二月	中町次兵衛 庄六	一通	一四〇
質流ニ相渡申屋敷畑之事 六 明和二年二月	横折共 半次郎 庄	二通	一八四
質流ニ相渡申田地并屋敷之事 庄六 明和三年二月	横折覚共 平	二通	三三九
質流相渡申家屋敷証文之事 平次 庄六 明和四年三月	横折覚共 西町五	二通	一八五
五平次家屋敷敷歩証文有之絵図 曆一三年二月	五平次 宝	一枚	一六六
質流ニ相渡申屋敷畑之事 六 明和四年二月	横折覚 八三郎 庄	二通	一六七
質流相渡申家屋証文之事 明和六年二月	甚六 源兵衛取次	一通	一八六
質流ニ相渡シ申家屋敷証文之事 五郎 庄六 天明六年正月	喜十郎倅安	一通	一八〇

質流ニ相渡申屋敷畑之事 下町孫七 庄六 明和六年四月	一通 一八四	一札証文之事(質流ニ相渡申候芦田余歩ニ付金子請取証文) 平作 庄六 午(宝曆二年)三月	一通 二一九
質流ニ相渡申家屋敷証文之事 中町紋次郎 庄六 天明三年二月	一通 二四四	質流ニ相渡申芦田之事 平作 庄六 宝曆二年三月	一通 二一八
質流相渡古家証文之事 仕立屋庄兵衛親類平吉 庄六 天保二年一〇月	一通 一三三	質流ニ相渡申芦田之事 井組庄屋仙九郎 庄六 宝曆一四年三月	一通 一四六
質流ニ相渡申古家証文之事 下用代請取共 宮西新次郎 庄六 天保三年九月	二通 一三四	質流相渡申芦田之事 横折共 新四郎 市左衛門 明和元年二月	二通 二二〇
質流相渡申証文之事(家質流証文) カゴヤ源兵衛 庄六 天保四年九月	一通 一八三	質流ニ相渡シ申芦場之事 中組三十郎 庄六 明和七年二月	一通 一四〇
古家質流相渡申証文 清七 庄六郎 嘉永四年九月	一通 一九六	質流ニ相渡申芦田之事 庄屋仙九郎 市左衛門 安永元年二月	一通 二二四
古家質流相渡申証文之事 柳藏 庄六郎 嘉永六年二月	一通 二九三	質流相渡申田地(芦田)証文之事 銀右衛門 庄六 安永二年二月	一通 二二五
質流ニ相渡申家屋敷証文之事 庄六郎家屋敷本立院寄附届書添 弥兵衛 関蔵取次 安政六年二月	二通 一三五	質流相渡芦田之事 中組源十郎 庄六 安永二年二月	一通 二四九
*(喜作家ちんのこり不足(分書上寛) 弥兵衛・治兵衛・半兵衛 関蔵 安政六年二月	一通 一三六	質流ニ相渡申(芦田)証文之事 市右衛門 市左衛門取次 安永三年正月	一通 一四一
質流ニ相渡申古家証文之事 藤八 千秋庄六良文久元年四月	一通 一三六	質流ニ相渡申田地(芦田)証文之事 衆八 庄六 天明六年二月	一通 二四九
*家賃約定証券 藤八俣本郷良吉 千秋庄六郎 明治一三年二月	一通 一三七	質流ニ相渡申芦田証文之事 兵八 庄六郎 天保二年二月	一通 二五五
○芦 田		質流ニ相渡申田畑永引之分 市左衛門 庄六 宝曆一一年二月	一通 一四三
質流相渡申葭田之事 下高田村又六 庄六 元文五年二月	一通 二二六	質流ニ相渡申永引高之事 下町儀右衛門 庄六 明和二年三月	一通 一四三
質流ニ相渡申芦田之事 平作 庄六 宝曆一〇年二月	一通 二二七	質流相渡申土居敷之事 下川林蔵 庄六 明和四年正月	一通 一七六

質流ニ相渡申敷畑地之事 喜多村善右衛門 庄六 寛政八年十一月

一通 一六六

質流田畑証文并譲渡証文綴 天保七、九年

半

二綴 八七〇

○その他

質流ニ相渡申証文之事写 権九郎 久三郎 天保一三年九月

一通 三三七

元治郎方質流加印扣 服部笙峰内 天保一五年三月

半

一冊 七

質流ニ相渡申証文之事扣(屋敷) 市左衛門 上ノ郷藤太夫 弘化四年十二月

一通 三三九

質流代金之内引入候金子預り覚 服部庄六郎 北方村宇野彦太夫 安政三年正月

一通 二四六

質流ニ相渡申田畑証文之事 高田町市左衛門 小倉村日比三郎右衛門 文久二年十二月

一通 二三〇

質流田畑証文之事 益次郎 高瀬村伝右衛門 文久二年一〇月

一通 二三一

(質流買請人他村ニ付御城米并夫錢諸入用引請一札)友八 今須宿木田藤右衛門・千秋庄六郎 文久二年十二月

一通 二三三

質流ニ相渡申畑地証文之事 横折之覚共 宇助 押越村彦左衛門 文久三年四月

二通 二三三

質流相渡申除堤証文 藤五郎 灸右衛門 明治二年八月

一通 一七七

他村分

○押越村

質流相渡申田地之事 押越村定四郎 庄六 享保一二年二月

一通 二九元

質流ニ相渡申田地之事 押越村中島十之右衛門 服部庄六 享保一六年二月

一通 二二〇

御檢地帳面之覚 十野右衛門 服部庄六 享保一六年二月

一通 一二一

質流ニ相渡シ申田畑之事 掟之覚共 押越村兵左衛門 服部庄六 享保一六年八月

二通 一八六七

質流ニ相渡シ申田地之事 押越村彦兵衛 庄六 享保一七年二月

一通 二九三三

質流ニ相渡シ申田地之事 押越村伊左衛門 庄六 享保一七年二月

一通 二九三四

質流ニ相渡シ申田地之事 押越村新左衛門 庄六 享保一七年二月

一通 二一〇九

質流相渡シ申田地之事 押越村(樋口)次兵衛 服部庄六 享保一九年十二月

一通 二四六二

質流相渡申河原畑之事 押越村定四郎 庄六 元文五年三月

一通 二〇七一

質流ニ相渡申河原畑之事 武八 庄六 寛延四年八月

一通 二〇九四

質流相渡申田地之事 横折之覚共 押越村宇右衛門 庄六 明和元年十二月

二通 二四四四

質流相渡申畑地之事 横折之覚共 押越村八郎 右衛門 庄六 明和二年十二月

二通 二四四〇

質流相渡申田地之事 掟米覚并添状共 押越村傳右衛門 庄六 明和二年十二月

三通 二四九

(傳右衛門売地ニ付口入書状) 渋谷新左衛門 服部庄六 (明和二年)十二月

二通 二四〇

質流相渡申畑地証文之事 掟方之覚共 押越村新左衛門 庄六 明和四年十二月

二通 二四六

質流相渡申畑地之事 掟方之覚共 押越村八郎 右衛門 安永三年十一月

二通 二四三

質流ニ相渡申田畑証文之事 衛門 庄六 明和五年一二月	掟畝之覺共 傳右	二通 一八〇	質流ニ相渡申田畑証文之事 庄六 弘化四年一二月	繪図共 源左衛門	82x66	一枚 一八〇
質流相渡申田地証文之事 郎右衛門 庄六 明和七年一二月	掟方覺共 押越村八	二通 二四〇	押越分南河原紺屋嘉兵衛南繪図 ・押越利介 服部元次郎 天保五年四月	北浦忠五郎	82x66	四枚 一七三
添金請取申証文之事(質流田地差金証文) 衛門 庄六 安永二年二月	傳右	一通 一八七	おしこし地南河原文治入仲間地繪図 弘化五年三月	庄六郎	82x66	一枚 一八〇
質流ニ相渡申畑地証文之事 正平 政助取扱 寛政六年一二月	横折帳共 押越村	二通 二二四	○鷲ノ巢村			
*質物書入申畑地証文之事 高田町善左衛門 庄六 文政五年五月	横折之覺共 押越分	二通 二九六	質流ニ相渡シ申畑之事 保一三年正月	鷲巢村新助 庄六 享		一通 一六六
質流ニ相渡申畑地証文之事 天保四年三月(文政五年書入分)	市左衛門 庄六	一通 二九六	質流相渡シ申屋敷畑之事 一三年三月	万太郎 庄六 享保		一通 二五四
質流ニ相渡申田畑証文之事 太夫・庄六郎 弘化二年一二月	高田町元次郎 七	一通 一七三	質流相渡シ申田畑屋敷之事 保一三年一二月	次郎平 庄六 享		一通 二四五
押越村田畑横折帳 弘化二年一二月	元次郎 七太夫・庄六郎	一冊 一七四	質流ニ相渡申畑之事 三月	文七 庄六 享保一六年		一通 二五五
質流ニ相渡申田畑証文之事 庄六郎 弘化三年一二月	押越分 七太夫	一通 一七五	質流ニ相渡申田地之事 六年三月	七兵衛 庄六 享保一		一通 二四六
質流ニ相渡申田畑証文之事 七太夫 弘化二年一二月	元次郎 庄六郎・	一通 一七六	質流相渡シ申田地之事 三年三月	清内 庄六 享保一六		一通 二五三
横折之覺 元次郎 七太夫・庄六郎 弘化二年一二月	七太夫・庄六郎 弘化二年一二月	一通 一七二	質流相渡シ申田畑之事 一六年三月	久右衛門 庄六 享保		一通 二五三
質流ニ相渡申田畑証文之事 左衛門 笙峰 天保一三年九月	繪図共 押越村源	一通 一八一	質流ニ相渡シ申田畑之事 門 庄六 享保一六年三月	わしのす村次郎右衛		一通 二六五
質流ニ相渡申畑地証文之事 共 源左衛門 庄六郎 天保一三年八月	横折之覺・繪図面	一通 一八七	年賦地畝付之覺 辰(享保九年)一二月	わしのす村次郎平 重太郎		一通 二六六
質流ニ相渡申畑地証文之事 源左衛門 庄六郎 天保一五年八月	横折之覺・繪図共	一通 一八七	質流ニ相渡シ申田地之事 六年五月	十藏 庄六 享保一		一通 二四六

質流ニ相渡シ申畑方之事 名主次郎平 庄六 享保一六年五月	一通 二〇三	質流相渡申田地之事 權内 庄六 宝曆八年一二月	一通 二九九
子年質流ニ相渡シ申田畑之事 門右衛門 庄六 享保一七年三月	一通 二〇五	質流相渡申田地有畝証文之事 權内 庄六 宝曆八年一二月	一通 二四七
質流ニ相渡シ申田畑之事 彦太夫 庄六 享保一八年一二月	一通 二〇七	質流ニ相渡申屋敷畑之事 掟米覺共 甚蔵 庄六 宝曆一一年正月	二通 三六一
質流ニ相渡申候畑之事 彦太夫 庄六 享保二〇年三月	一通 二〇六	質流ニ相渡申田地証文之事 飯木村分 掟方帳 横長半 飯一冊	一通 一四〇三
質流ニ相渡シ申田地之事 兵次郎 庄六 享保二〇年三月	一通 二〇七	質流ニ相渡シ申畑之事 次右衛門 庄六 明和元年一二月	一通 一四二
質流ニ相渡シ申畑之事 彦市後家 庄六 元文四年三月	一通 二〇六	西屋敷掟米之覺 治右衛門 庄六 明和元年閏一二月	二通 一四三
質流ニ相渡シ申屋敷畑之事 乙次 庄六 宝曆四年閏二月	一通 二〇四	質流ニ相渡シ申田畑添証文之事(差金請取質流証文) 新四郎 庄六 明和五年一二月	一通 一四六
戻り証文之事 庄六 乙治 宝曆四年二月	一通 二〇三	三年季ニ壳渡申田畑之事 年季地掟米之覺共 新四郎 庄六 明和元年閏一二月	二通 一四五
添証文之事(古証文宛狀) 扣共 乙次 庄六 宝曆六年三月	二通 二〇三	年季地質流ニ付添証文之事 庄左衛門 庄六 明和八年一二月	一通 一四八
○飯木村		三年季相渡申田地之事 掟米之覺共 庄左衛門 庄六 明和元年閏一二月	二通 一四七
質物田畑流証文之事 六兵衛跡金借り主四郎兵衛 庄六 享保一六年六月	一通 一〇七	質流ニ相渡シ申畑地証文之事 權兵衛 庄六 明和九年三月	一通 一四六
質流相渡申飯木分田地之事 押越村甚左衛門 庄六 享保一八年二月	一通 一〇四	質流ニ相渡シ申田地証文之事 横折之覺共 幸四郎 庄六 安永一〇年三月	二通 三七七
質流相渡申田地之事 押越村甚左衛門 庄六 享保一八年二月	一通 一〇五	質流ニ相渡シ申畑地之事 掟米おほへ共 太蔵 庄六 寛政五年一二月	二通 三五八
質流ニ相渡申田畑之事 彦八 庄六 宝曆六年一二月	一通 二九四	質流相渡田地証文之事 掟横折共 弥十郎 庄六 天保元年一二月	二通 二九四
質流ニ相渡申田畑之事 彦八 庄六 宝曆六年一二月	一通 二九一		

質物流ニ相渡申田地証文之事 横折共 弥十郎 庄六 天保六年三月 二通 二九

○上之郷村

質流ニ相渡申田地証文之事 横折帳之覺 新七 庄六 宝曆六年三月 二通 三九三

質流ニ相渡申田地証文之事 横折之覺 与三郎 庄六 明和八年二月 二通 一六六

質流ニ相渡申田地証文之事 小前帳共 長右衛門 庄六 明和九年四月 二通 一四三

上之郷分質流ニ相渡申田地証文之事 掟小前共 茂太夫 庄六 安永二年一月 二通 一四三

質流相渡申田地証文之事 掟方之覺共 嘉兵衛 庄六 安永八年十二月 二通 一四三

質流ニ相渡申田地証文之事 横折之覺共 惣七 庄六 安永九年正月 二通 一七三

質流ニ相渡申田地証文之事 横折之覺共 庄右衛門 庄六 安永九年四月 二通 一八四

質流相渡申田地証文之事 横折之覺共 留兵衛 庄六 安永九年十二月 二通 一七三

質流相渡申田地証文之事 横折共 宮兵衛 庄六 安永九年十二月 二通 二四二

質流ニ相渡申田地証文之事 小前帳・田地積共 伊兵衛 庄六 天明二年四月 三通 二四五

質流ニ相渡申田地証文之事 横折之覺共 留兵衛 庄六 天明四年閏四月 二通 一七六

○橋爪村

質流ニ相渡申田地之事 七郎右衛門 庄六 享保一七年三月 一通 二四

質流ニ相渡申田地之事 扣共 弥惣七 庄六 延享三年十二月 二通 二〇三

質流ニ相渡申田地証文之事 横折帳共 権内 庄六 安永四年閏十二月 二通 二〇六

質流ニ壳渡申田地之事 武半次 政助 寛政三年二月 一通 二〇〇

○

丑ノ年御年貢米成不申ニ付本物壳渡シ申田地之事 六郎兵衛 重太郎 享保六年二月 一通 二〇七

有畝掟米之覺 六郎兵衛 重太郎 享保六年二月 一通 二〇九

丑年ノ相渡申高之事 名主権内 十太郎 享保七年二月 一通 二〇九

戊歲御年貢米ニ本物ニ壳渡申田地之事 蘭右衛門 庄六 享保一五年十二月 一通 二五二

○勢至村

質流相渡申勢至村分畑地証文之事 掟付覺共 石畑村權三郎 庄六 文政一〇年十二月 二通 二八二

勢至村分質流相渡申畑地証文之事 掟付覺共 石畑村淨誓寺円意 庄六 文政一二年三月 二通 二八二

質流相渡申勢至村分畑地証文之事 石畑村繁右衛門 庄六 文政一一年五月 一通 二八三

質流壳渡勢至村分畑地証文之事 石畑村名主 山幡五郎右衛門 庄六 文政一二年一月 一通 二八六

質流相渡申畑地文之事 兵八 庄六 文政一一年五月 一通 二八四

(兵八請作代金請取証文) 兵八 庄六引得地支 配人勢至村安吉 文政一一年一月 一通 二八五

質流相渡申勢至村分畑地証文之事 喜兵衛
庄六 文政一一年二月

○その他

質流相渡申田畑之事 竿先掟畧之覚共 大墳村
又蔵 庄六 享保二一年三月

質流ニ相渡申田地之事 大塚村小七 庄六 寛
延二年二月

質流ニ相渡申田地之事 下之郷村伝内 庄六
宝曆一〇年二月

質流ニ相渡申田地之事 大墳村莊福寺 庄六
宝曆一一年二月

質流ニ相渡申田地之事 掟方之覚 多芸郡白石
村武十郎 庄六 明和六年二月

質流ニ相渡申田地証文之事 白石村武十郎 庄
六 明和七年四月

質流ニ相渡申田畑之事 横折之覚共 白石村伝
蔵 庄六 明和八年二月

質流相渡申田地証文之事 掟畧覚共 柏尾村要
助 庄六 安永三年二月

沢田村新八質地出入証文 寛政四年一月

1 質流相渡申田地証文之事 石津郡沢田村
新八 庄六

2 当暮御年貢諸勘定迷惑ニ付来霜月切卷
ヶ年季ニ田地質物書入借用申証文之事
新八

3 相渡申田地小前帳 新八 庄六

4 算用書之覚 新八 庄六

5 掟米覚 沢田村日比与右衛門 服部庄六

一通 二八七

二通 三三三

一通 二二三

一通 一八〇

一通 一四〇五

二通 一四元

一通 三三六

二通 三七〇

二通 二九四

一通 二五

一通

一通

一通

一通

6 沢田村与右衛門書状 庄六宛

7 買戻覚(質請証文并掟米作人扣帳面返済
状) 庄六 新八

質流相渡申田地証文之事 多芸郡大坪村郡右衛
門 高田町政助 寛政八年一月

質流ニ壳渡シ申田畑証文之事 彦左衛門六元
次郎宛書状共 五日市村藤兵衛 高田町元治郎
文政七年二月

質流相渡申証文之事 横折之覚共 河原毛利八
庄六 文政一〇年六月

質流相渡申石畑村分畑地証文之事 高田町藤
蔵 庄六 文政一二年二月

質流ニ相渡畑地証文之事 柏尾村忠蔵 庄六
文政一三年二月

質流相渡証文之事 横折之覚 桜井村宇兵衛
庄六 天保二年二月

質流相渡申田畑証文之事 栗笠村佐藤与三郎
庄六 天保一四年一〇月

○質流証文印鑑帳

質流証文印鑑帳 西組兼帶善左衛門・年寄才蔵
文化一、文政一一年

質流証文印鑑帳 服部庄三郎 安政二年一〇月

兼帶庄屋今須村木田藤右衛門役印之分質流証文
印鑑帳 千秋庄六郎 安政六、明治三年

服部庄六書状 三沢金右衛門他宛

一通

一通

一通 二五三

二通 一九六

二通 二八六

一通 二八九

一通 二九三

二通 二八六

一通 一九三

一冊 三

一冊 二

一冊 三

四通 二六三
一六三

売 得 地

田畑・屋敷

譲渡申田地証文之事 内 文政三年十一月	高田町元次郎 押越村右	一通	二九五
譲渡申丹田証文之事 十一月	庄六 関蔵 天保十一年	一通	三三六
譲渡申田畑証文之事 高田茂太夫 安政三年九月	横折之覚共 高田庄六郎	二通	一五七
譲渡申畑地証文之事 屋篤四郎 文久三年八月	高田千秋庄六郎 高田土	一通	一三九
土地代金請取書 屋礼四郎 明治十三年二月	地価書上共 千秋庄六郎 土	二通	一六六
田地譲受ニ付約定書 六郎 明治一六年一〇月	買受人田中ひさ 千秋庄	一冊	二四一
地所売渡証書 七年四月	千秋安太郎 白木治作 明治一	一通	一六〇
地所売渡証書 一七年四月	千秋安太郎 佐藤惣三郎 明治	一通	一三〇
地所売渡証書 垣吉田吾平治・同郡室村高木外吉 明治一七年五	安八郡大	一冊	三三三
地所売渡証書 一七年一〇月	中島文兵衛 明治	一通	二五八
地所売渡証書 明治一八年六月	柏渕梅蔵・三宅融	一通	二四六
地所売渡証書 九年八月	千秋庄六郎 佐竹嘉七 明治一	一綴	二四七

美

半

土地売買約定書 不破郡栗原村之内伊勢佐藤七郎治代人千秋庄六郎 不破郡栗原村水野喜右衛門 明治二〇年六月 一通 三六〇

栗原村地所売買地券書換願 佐藤七郎治 不破郡長 明治二〇年六月 一冊 三六一

地所売渡証書 伊勢国員弁郡野尻村佐藤七郎治 栗原村水野喜左衛門 明治二〇年六月 一冊 三六二

地所売渡証書 千秋庄六郎・元次郎 千秋あい 明治二一年一月 一通 二五九

地所売渡証書 増金請取証共 千秋庄六郎・村上雄三 光山祖珉 明治二六年二月 一冊 九六

敷地売渡約定書 中島彦左衛門跡千秋元次郎 高田町白木茂作 明治二九年二月 一通 二六九

質流ニ相渡申田地之事 横折之覚共 庄六 九兵衛 天保七年一月 二通 二〇三

家屋敷買入世話料請取一札 押越村樋口源左衛門 千秋庄六郎 元治二年二月 一通 三三三

替 地 ・ 替 家

〇 替 地

引替申畑地証文之事 横折帳共 八十郎 庄六 安永九年正月 二通 二六五

取り遣り致ス替地証文之事 橋爪村右衛門 庄六 天明四年正月 一通 二〇五

引替申田地証文之事 横折之覚共 久右衛門 庄六 享和元年一月 二通 二六七

替地証文 橋爪村常右衛門 文化二年二月 一通 二〇三

開地之事(替地掟米請取証文) 橋爪村常右衛門
庄六 文化二年二月

一通 二〇二

替地証文之事 横折之覺共 庄六 元次郎 文
政二年三月

二通 二六八

忠五郎・甚九郎立合替地絵図 五分老間之図
文政一〇年四月

28×41

一枚 一六〇

○屋敷

替合申家屋敷之事 庄六 吉右衛門 宝永四年
八月

一通 二五〇

替合申家屋敷之事 吉右衛門 庄六 宝永四年
八月

一通 一八五

為取替候ニ付相渡申家屋敷証文之事 左仲
庄六 天明六年二月

一通 二六六

墓地

墓地讓渡証書并立木讓渡添証書共 本田藤五
郎 千秋庄六郎 明治五年二月

二通 一六二

埋葬地讓渡約定書 左田惣次郎・小野由右衛門
・本田藤五郎 千秋庄六郎 明治一〇年正月

一通 一五一

墓地讓渡証書 近江国伊香郡木ノ本服部市作
千秋庄六郎 明治三一年三月

一通 一五三

古馬捨場不用地代金請取証文 押越村信七 庄
六郎・七大夫 弘化三年一月

一通 一七五

石砂塚代金請取手形 中源十郎 庄六 西一一
月

一通 二六〇

印鑑帳

印鑑 第一 服部庄六 文政元・天保七年

横美半

一冊 四六

印鑑帳 第二 服部庄六郎 天保七・明治六年

横美半

一冊 四六

押越村田畑讓渡証文印鑑留帳 千秋元次郎親季
明治二年二月

美

一冊 六

印鑑帳 千秋庄六郎 明治八・一五年

横美半

一冊 四七

印鑑帳 千秋庄六郎 明治一七年七月

横美半

一冊 四九

売買地券書換

地券御改御用ニ付人足差出方不都合御詫一札
忠治 御村役御衆中 明治五年一〇月

一通 二五六

近江国浚川村・上屋村地券証書番号 樋口信
七扣ノ写 明治一五・六年

一通 二八四

地券書換ニ付約定書 押越村樋口信七 安田半
兵衛 明治一六年七月

一通 二五九

地所売渡証券并地券書換願書渡方ニ付特約証
千秋安太郎 安八郡大垣吉田吾平治・小林加賀三
郎 明治一七年五月

一通 二六七

賣買ニ付地券証御書替・所有主交換御確認願
書 鳥江村川瀬半兵衛・千秋庄六郎 滋賀県栗太
・野洲郡長 (明治一七年九)

美

一冊 一六四

公証取消御願 川瀬半兵衛 滋賀県栗太郡目川
村外十二カ村戸長 (明治一七年九)

美

一冊 一六五

地所売買ニ付公証御願扣 川瀬半兵衛・十兵衛
大窪町外八ヶ町村戸長 (明治一八年九月)

半

仮一冊 八三

公証取消御願扣 千秋庄六郎 大窪町外八ヶ町
村戸長 (明治一八年九月)

半

仮一冊 八六

地券訂正願書公証願書扣 蒲生郡日野大窪外八ヶ町戸長 (明治一八年九月 カ)	千秋庄六郎 滋賀県 半	仮一冊 八七
地券証御書換所有主改正御確認願書 兵衛 蒲生郡長 明治一八年九月	川瀬半 美	二冊 八〇
近江国所持地之内地券訂正願并地所売渡ノ公 証ニ付委任状 鳥江村川瀬半兵衛 千秋庄六郎 明治一八年一〇月		五通 三九
地券証御書換・所有主改姓御確認願書一件綴 安田半兵衛 明治一八年		一綴 三八
地所登記済証下附願 中島文兵衛 島田登記所 明治二〇年三月		仮一冊 三八
地所合筆地券書換願 傍島新之右衛門 岐阜県 多芸・上石津郡長 明治二〇年	半	一冊 三八三
地所合筆地券書換願 傍島新之右衛門 岐阜県 多芸・上石津郡長 明治二〇年	美	仮一冊 三〇六
地所賣買地券書換願下書 売渡主千秋庄六郎 佐竹嘉七		一通 一九七
堤塘敷地券証印稅納稅通知状 押越村戸長 千秋庄六郎 明治一二年八月		一通 二五三
堤塘敷地々券入費割出金通知状 押越村戸長役 場 千秋庄六郎 明治一二年八月		一通 二五四
地券書換願ニ付本県入費出金通知状 押越村 戸長役場 千秋庄六郎 明治一二年八月		一通 二五三
地券書換出願費割出金通知状 押越村戸長 役場 傍島新之右衛門 明治一二年九月		一通 二五七
買得地券証印稅納稅通知状 押越村戸長役場 千秋庄六郎 明治一二年九月		一通 二五九

地券書換証印稅納稅通知状 押越村戸長役場
千秋庄六郎 明治一八年八月 一通 二五五

出入

兵右衛門境改書付 宇田村大工金六・兵右衛門
・幸右衛門 立会市左衛門・庄六 寛延三年三月 一通 三六七
向明家東境立会覺書 立会人藤藏・常八・茂四
郎 己亥(安永八年)五月 一通 一九二
屋敷境雨落之分借用申一札之事 茂四郎・吉
兵衛・新助 庄六 天明元年八月 一通 一九三
境杭寛絵図 庄六・吉兵衛・藤兵衛 寛政二二
年六月 一通 一九四
境杭寛(新杭打ニ付) 庄六・吉兵衛・藤太夫 寛
政一二年六月 一通 一九五
居屋敷外堤跡境杭取極々金子請取証文 喜右
衛門 庄六 天保六年一二月 一通 二五三
杉江氏田地一件取調中出入寛 一通 二六九

土地経営

本村控地

掟地改

天明元年閏五月迄用置候懷中録之内此分抜取
綴直シ相改申候 横半半 一冊 二〇七
1 万屋田地改之覚 卯(明和八年カ)九月
2 武佐田平太郎分再檢 辰(安永元年カ)
二月

田畑掟帳	町小作 服部庄六郎 嘉永元年	横長美	一冊	四六六	田畑掟帳	村小作之部 服部庄六 天保二年	横長半	一冊	七四
田畑掟帳	町 服部庄六郎 嘉永三年	横長美	一冊	四六七	田畑掟帳	村小作之部 九内・庄蔵立会 天保一三年二月	横長半	一冊	七五四
田畑掟帳	町 服部庄六郎 嘉永四年	横長美	一冊	四六八	田畑掟帳	村小作 服部庄六郎 嘉永元年	横長半	一冊	四六六
田畑掟帳	町 服部庄六郎 嘉永五年	横長美	一冊	四六九	田畑掟帳	村 服部庄六郎 嘉永二年秋	横長美	一冊	四六七
田畑掟帳	町 服部庄六郎 嘉永六年	横長美	一冊	四七〇	田畑掟帳	村 服部庄六郎 嘉永三年秋	横長美	一冊	四六八
田畑掟帳	町 服部庄六郎 嘉永七年秋	横長美	一冊	四七一	田畑掟帳	村 服部庄六郎 嘉永四年秋	横長美	一冊	四六九
田畑掟帳	町 服部庄六郎 安政二年	横長美	一冊	四七二	田畑掟帳	村 服部庄六郎 嘉永五年秋	横長美	一冊	四七〇
田畑掟帳	町 服部庄六郎 安政三年	横長美	一冊	四七三	田畑掟帳	村 服部庄六郎 嘉永六年秋	横長美	一冊	四七一
田畑掟帳	町 服部庄六郎 安政四年秋	横長美	一冊	四七四	田畑掟帳	村 服部庄六郎 安政二年秋	横長美	一冊	四七二
田畑掟帳	町 服部庄六郎 安政五年九月	横長美	一冊	四七五	田畑掟帳	村 服部庄六郎 安政三年秋	横長美	一冊	四七三
田畑掟帳	町 服部庄六郎 安政六年九月	横長美	一冊	四七六	田畑掟帳	村 服部庄六郎 安政四年秋	横長美	一冊	四七四
田畑掟帳	服部庄六郎 万延元年九月	横長美	一冊	四七七	田畑掟帳	村 服部庄六郎 安政五年九月	横長美	一冊	四七五
田畑掟帳	千秋庄六郎 文久元年九月	横長美	一冊	四七八	田畑掟帳	村 服部庄六郎 安政六年九月	横長美	一冊	四七六
田畑掟帳	町 千秋庄六郎 文久三年	横長美	一冊	四七九	田畑掟帳	村 千秋庄六郎 文久元年九月	横長美	一冊	四七七
田畑掟帳	町 千秋庄六郎 元治元年九月	横長美	一冊	四八〇	田畑掟帳	村 千秋庄六郎 文久二年九月	横長美	一冊	四七八
田畑掟帳	町 慶応元年九月	横長美	一冊	四八一	田畑掟帳	村 千秋庄六郎 文久三年	横長美	一冊	四七九
田畑掟帳	町 千秋庄六郎 慶応三年九月	横長美	一冊	四八二	田畑掟帳	村 千秋庄六郎 元治元年九月	横長美	一冊	四八〇
田畑掟帳	町 千秋庄六郎 明治元年九月	横長美	一冊	四八三	田畑掟帳	村 千秋庄六郎 慶応二年九月	横長美	一冊	四八一
田畑掟帳	町 千秋庄六郎 明治三年九月	横長美	一冊	四八四	田畑掟帳	村 千秋元次良 慶応三年正月	横長美	一冊	四八二
田畑掟帳	町 千秋十三郎 大正元々一三年	半	一冊	四八五	田畑掟帳	村 千秋庄六郎 慶応三年九月	横長美	一冊	四八三
田畑掟帳	町 千秋十三郎 大正元々一三年	半	一冊	四八六	田畑掟帳	村 千秋庄六郎 慶応三年九月	横長美	一冊	四八四

田畑掟帳	村	千秋庄六郎	明治元年九月	横長美	一冊	三六五
田畑掟帳	村	千秋庄六郎	明治二年一〇月	横長美	一冊	三六六
田畑掟帳	村	千秋庄六郎	明治三年九月	横長美	一冊	三六八
田畑掟帳	村	明治九年十一月		横長半	一冊	三六九
田畑掟帳	村	千秋庄六郎	明治二年十一月	横長美	一冊	三七〇
田畑掟帳	村	千秋十三郎	大正元一一年	半	一冊	三七五
田畑掟帳	千秋十三郎	大正一〇年一〇月		半	一冊	三七六
○田畑掟米帳						
田畑掟米帳(足原・二間割分)	くま・庄六	元次郎	文化二年九月	横長美	一冊	三四四
田畑掟米帳(芹田分)	くま・庄六	元次郎	文化二年九月	横長美	一冊	三四三
田畑・屋敷・芦田掟元帳	千秋庄六郎棟載	文政二年		横長美	一冊	三六五
新入・別高田畑元帳(御帳面并掟之覚)	服部庄六棟參	文政六年八月		横長半	一冊	三六七
元次郎分田畑掟米帳	弘化二年			横長美	一冊	三四五
田畑之元帳(御帳面掟之享)	千秋庄六郎	文久元年		横長美	一冊	三六六
○						
寅年田畑掟小作方取立米指引之帳	明和七年十二月			横長美	一冊	三七三
○(大垣中印米代カ)分引入帳	乙未(天保五年カ)			横長半	一冊	三〇二
田畑掟米引入帳	服部元次郎	天保一五年一二		横長美	一冊	三四六

子年引入覚	宅藏	庄六（嘉永五年）二月		一通	二六五
掟年貢差引勘定帳	文久二〓慶応四年		横長美	一冊	九三
年貢渚入用差引受取証文	龍三郎	千秋庄六郎子（慶応元年）正月		一通	一八一
明治一九年小作米差引記	明治二〇年			一通	三〇〇
明治二一年分田畑掟米勘定帳	千秋庄六郎	明治二二年一月	横長美	一冊	二〇六
明治二二年分田畑掟米勘定帳	千秋庄六郎	明治二三年一月	横長美	一冊	二〇七
下田之分御帳面并掟			横長美	一冊	八九
明治八年亥分田畑掟帳	元掟帳撰出シ彦次・松四郎	千秋元次郎	横長半	一冊	二六二
掟帳	千秋元次郎	明治二一〓三〇年	横美半	一冊	七三
○					
次郎左衛門分田畑掟米仕訳帳写	天明元年六月		横長美	一冊	二四九
○掟帳読合					
明治九年子掟帳	明治八亥年帳読合記		横長半	一冊	二六八
明治八亥年掟帳	明治一三辰年掟帳読合之覚		横長半	一冊	二六七
明治一三年			横長半	一冊	二〇七
日当記	文助	明治一三年十二月	横長半	一冊	二〇九
明治八亥年掟帳	三関スル諸帳読合記	読合千	横長半	一冊	二〇九
秋庄六郎・藤田文助	明治一四年六月		横長半	一冊	二〇九
地価反別掟元帳	三関スル諸帳読合記	明治一四年七月	横長半	一冊	二〇九

等級別地価并目安掟米書上

大正九年度端米取立帳 洲本村田中宗一 大正一〇年一月

半 飯一冊 六九
横長美 一冊 三六

請取帳

請取帳 千秋庄六郎 文久元年九月

横長美 一冊 四四

請取帳 千秋庄六郎 明治一七年一〇月

横長美 一冊 四五

請取帳 千秋庄六郎 明治二一年一〇月

横長美 一冊 四六

請取帳 千秋庄六郎 明治二二年一〇月

横長美 一冊 四七

請取帳 千秋庄六郎 明治二六年一〇月

横長美 一冊 四八

請取帳 千秋庄六郎 明治二八年一〇月

横長美 一冊 四九

年貢米請取帳 千秋十三郎 明治三一年一〇月

横長美 一冊 五〇

請取帳 千秋十三郎 明治四一年一〇月

横長美 一冊 五一

請取帳 千秋十三郎 明治四二年一〇月

横長美 一冊 五二

請取帳 千秋十三郎 明治四三年一〇月

横長美 一冊 五三

請取帳 千秋十三郎 明治四四年一〇月

横長美 一冊 五四

請取帳 千秋十三郎 明治四五年一〇月

横長美 一冊 五五

高組米差引覚 伊藤 服部庄六 天保一二年他

四通 三三三

小作米取立立会勘定書記 千秋庄六郎宛 明治一八年三月

一通 三六三

(江月・嶋田・押越東屋を米請取証文) 酒や 八十郎 安田屋幸助 午九月

三通 六五

服部氏夫米之内蔵米へ違之米代金請取証文
樋口信七 樋口宮内 未五月

一通 三五九

○その他

村方御扣高入用金之内金子請取証文 安左衛門 庄六 文化一三年七月

一通 三五五

田打飯米貸附帳 千秋庄六郎 慶応二年四月

横長半 一冊 三七

田打飯米貸附帳 千秋庄六郎 慶応三年五月

横長半 一冊 三七

田打飯米貸渡ニ付小前取調帳 千秋庄六郎 慶応二・三年

横長半 一冊 三七

*小作方夫食取替割当帳 西東御百姓衆中宛 天
明四年二月

横長半 一冊 一四

武佐田分他納米書上

横長美 三冊 六三

作廻人不始末ニ付諸帳面御吟味願下書 高田町地主 天保一五年五月

半 一冊 七六

小作・加地子米取立方難洪ニ付東組組立会ニ御差入願扣共 西脇新七・同得右衛門 東組御立会衆中 明治元年一二月

二通 一六〇

中村源十郎支配地無地高仕理仕法取極ニ付差入一札 中村源十郎 中組帳元土屋篤四郎・渋谷市次郎・千秋元次郎 明治四年一二月

一通 二九五

公租村費并二年貢記帳 千秋庄六郎支配人川瀬和三郎 明治二〇年

横長半 一冊 二〇三

服部庄六書状 原田野竹宛

一通 六五三

他村控地

○

出作高引入遺候ニ付極証文之事(井口組出作除高証文) 井口組庄屋仙九郎 庄六 宝曆一一年一月

出作村入用年々覚帳 千秋庄六郎 文久四、明治七年

出作地稅村費帳 千秋庄六郎 明治八年六月

出作地稅村費帳 千秋庄六郎 明治一三年一月

押越村

○掟高調

御檢地帳面覚 押越村中島兵左衛門 服部庄六 享保一六年八月

文治入押越村分田畑詔書 笹峰庵 弘化三年一月

押越村分田畑覚 文治

元次郎押越村分殘田畑調帳 千秋庄六郎 明治二年八月

押越村分田畑元治郎扣調 笹峰

元次郎扣地所押越村高反別不殘写

押越村田畑扣之覚

押越村扣田畑掟写帳 庄六

○

押越村出作地所直支配一件ニ付為取替内済証文写 高田町御次郎・庄六郎 押越村信七・利藏 他 天保一四年一二月

耕地受作証券 押越村之内 千秋庄六郎 明治二四年一月

○檢見帳

押越村分田畑七太夫・庄六郎仲間地檢見帳 小野七左衛門差配(弘化三年)

押越村檢見帳 文治入仲間地 渋谷安左衛門差配分 弘化四年秋

押越村檢見帳 千秋庄六郎 明治一〇年一月

押越村分檢見帳 傍島新之右衛門 明治一二年一月

○御年貢米引入帳

御年貢米引入之覚 押越村庄屋 高田町笹峰 弘化二・三年一二月

御年貢夫米引入之覚 押越村庄屋 庄六郎・七太夫 弘化三、安政元年

御年貢夫米引入之覚 押越村庄屋 高田町庄六郎 弘化元、安政三年

御年貢夫米引入之覚 押越村庄屋 笠毛村(傍島)新之右衛門 明治三年四月

御年貢夫米引入之記 押越村戸長 福田村傍島新之右衛門 明治六・七・八年

○掟米引入帳

田畑掟米引入帳 小野兵助 佐藤与三郎 文政六年一二月

田畑掟米引入帳 小野兵助 佐藤与三郎 天保一三年一二月

田畑小作勘定引入帳 天保一四年一二月

一通 三六

一通 三六

一通 三六

一通 三六

一通 三六

二通 三六

九通 三六

一三通 三六

三通 三六

四通 三六

一通 三六

一通 三六

一通 三六

田畑掟米引入帳 月	服部庄六郎 天保一五年一二	横長美	一冊	一六四	田畑掟米引入帳 嘉永五年一二月	服部庄六郎・早野七太夫宛	横長美	一冊	一六六
田畑掟米引入帳 二年一二月	小野兵助 服部庄六郎 弘化	横長美	一冊	一六五	田畑掟米引入帳 五年一二月	小野兵助 服部庄六郎 嘉永	横長美	一冊	一六五
田畑掟米引入帳 三年一二月	小野兵助 服部庄六郎 弘化	横長美	一冊	一六六	田畑掟米引入帳 六年一二月	小野兵助 服部庄六郎 嘉永	横長美	一冊	一六五
田畑掟米引入帳 六郎・早野七太夫 弘化三年一二月	小野七左衛門支配 服部庄六郎 弘化三年一二月	横長美	一冊	一六〇	田畑掟米引入帳 嘉永六年一二月	服部庄六郎・早野七太夫宛	横長美	一冊	一六七
田畑掟米引入帳 早野七太夫 弘化四年一二月	小野七左衛門差配 服部庄六郎 弘化	横長美	一冊	一六二	田畑掟米引入帳 六郎・早野七太夫 安政元年一二月	押越村小野七左衛門 服部庄六郎 安政	横長美	一冊	一六六
田畑掟米引入帳 四年一二月	小野兵助 服部庄六郎 弘化	横長美	一冊	一六七	田畑掟米引入帳 元年一二月	小野兵助 服部庄六郎 安政	横長美	一冊	一六四
田畑掟米引入帳 元年一二月	小野兵助 服部庄六郎 嘉永	横長美	一冊	一六八	田畑掟米引入帳 二年一二月	小野兵助 服部庄六郎 安政	横長美	一冊	一六五
田畑掟米引入帳 早野七太夫 嘉永元年一二月	小野七左衛門 服部庄六郎 嘉永	横長美	一冊	一六三	田畑掟米引入帳 服部庄六郎・早野七太夫 安政二年一二月	押越村小野七左衛門差配分 服部庄六郎 安政二年一二月	横長美	一冊	一六九
田畑掟米引入帳 永二年一二月	服部庄六郎・早野七太夫 嘉永	横長美	一冊	一六三	田畑掟米引入帳 服部庄六郎・早野七太夫 安政二年一二月	押越村小野七左衛門差配分 服部庄六郎 安政二年一二月	横長美	一冊	一七〇
田畑掟米引入帳 二年一二月	小野兵助 服部庄六郎 嘉永	横長美	一冊	一六九	田畑掟米引入帳 三年一二月	小野兵助 服部庄六郎 安政	横長美	一冊	一六九
田畑掟米引入帳 三年一二月	小野兵助 服部庄六郎 嘉永	横長美	一冊	一七〇	田畑掟米引入帳 服部庄六郎・早野七太夫 安政四年一二月	押越村小野七左衛門差配分 服部庄六郎 安政四年一二月	横長美	一冊	一七二
田畑掟米引入帳 嘉永三年一二月	服部庄六郎・早野七太夫宛	横長美	一冊	一七四	田畑掟米引入帳 服部庄六郎・早野七太夫 安政五年一二月	押越村小野七左衛門差配分 服部庄六郎 安政五年一二月	横長美	一冊	一七三
田畑掟米引入帳 嘉永四年一二月	服部庄六郎・早野七太夫宛	横長美	一冊	一七五	田畑掟米引入帳 服部庄六郎・早野七太夫 安政六年一二月	押越村小野七左衛門差配分 服部庄六郎 安政六年一二月	横長美	一冊	一七五
田畑掟米引入帳 四年一二月	小野兵助 服部庄六郎 嘉永	横長美	一冊	一七二	田畑掟米引入帳 千秋庄六郎 万延元年一二月	押越村小野七左衛門差配分 服部庄六郎 万延元年一二月	横長美	一冊	一六九

田畑掟米引入帳 押越村小野七左衛門差配分
千秋庄六郎 文久元年二月 横長美 一冊 一九

明治三十二年亥冬押越区田畑掟米勘定帳 千秋庄六郎 明治三十三年一月 横長美 一冊 二六〇

明治三十二年亥冬押越区田畑掟米勘定帳 千秋十三郎 明治三十三年一月 横長美 一冊 二六一

押越村年貢米納ニ付米相場他書上 弘化二、安政二年 一〇通 三三〇

屋敷畑年貢米受取帳 明治一三、四四年 横長半 一冊 四七

押越村之内千秋庄六郎・案分明治二二年度小作未進帳 小野差配 明治二二年 横長美 一冊 二〇三

押越村之内千秋庄六郎・所有地明治二二年迄桂三郎差配地之所廿三年ヨリ甲悦(小野)差配ニ成分扣 明治二三年一〇月 横長半 一冊 二〇元

○村入用

押越村村借金さし引覚 押越村庄屋新七 庄六文化一〇年七月 一通 三六

押越村入用免平均 弘化元、嘉永六年十ヶ年平均 文久三年 一通 六九

栗笠佐藤元利差引覚 天保一一年一二月 横長美 一冊 二六七

臨時諸入用割付帳之写 天保一五年一二月 横長半 一冊 八九

押越村臨時入用ニ付渋谷七郎右衛門宛書状 石津嘉平次 一二月一八日 一綴 二六七

栗笠佐藤氏の村入用残金仕法金請取覚 小野兵助 服部笙峰 辰八月 二通 二六六

押越村田地一件ニ付品々差引勘定帳 千秋庄六郎・土屋篤四郎 藤右衛門 未(安政六)一二月 横長美 一冊 二九二

1 庄六郎預り分覚 安政五年 横長美 一冊

2 自普請帳江預ケ金覚 安政元年 横長美 一冊

3 仲間割合可相成分覚 安政二年 横長美 一冊

4 篤四郎の出資金之分 横長美 一冊

5 篤四郎江可請取分 安政六年 横長美 一冊

押越村出作高村入用一件ニ付出作惣代願書 岩道村藤三郎・下宿村嘉平次・島田村益次郎・市右衛門 辰七月 半 一冊 八五

庄六郎・篤四郎江相掛り候押越村田地一件熟談内済証文 千秋庄六郎・土屋篤四郎 今須村藤右衛門 万延元年一二月 一通 一六三

押越村田畑横折帳 元次郎 七太夫・庄六郎 弘化二年一二月 横長美 一冊 九七

押越村地所質流ニ相渡候所右村方御帳面改ニ付、已年一ヶ年村方勘定相立入用米請取方并御帳面入替 千秋元次郎 明治三年正月 横長半 一冊 〇七

(米屋善右衛門証文御捺印願状) 事務取扱所 千秋庄六郎 八月 一通 九四〇

(村費仮割出金通知状) 押越村事務取扱所 千秋庄六郎・樋口信七・傍島新之右衛門・明治一〇年八月 三通 九四一

(地券税出金通知状) 事務取扱所 樋口信七・千秋庄六郎 明治一〇年八月 二通 九四二

地租村費皆済証文 押越村戸長 傍島新之右衛門 明治一〇年一月	一通 六九	田畑小作掟米引入帳 樋口信七 傍島新之右衛門 文久元年十二月	一冊 三四
押越米代金村方普請帳江預り分ニ付來狀 柏淵藤太夫 千秋庄六郎 極月一九日	一通 三七三	田畑小作掟米引入帳 樋口信七 傍島新之右衛門 萬延元年十二月	一冊 三五
病身ニ付野村与一代理人委任狀写 押越村樋口信七 石畑村野村与一 明治一六年二月	一通 三九六	明治六酉年・全七戌年・全八亥年掟差引勘定証文 樋口信七 傍島新之右衛門 明治九年三月	一通 九〇
身代限ニ付收穫米調書 戸長村瀬徐重 明治一七年二月	一冊 三六五	掟差引勘定延引ニ付訖狀 樋口信七 傍島新之右衛門 六月	一通 九一
押越地内土取場并諸色藏敷設置一件ニ付申入狀 繪図共 島田村外一ヶ村戸長役場 千秋庄六郎 明治二二年五月	四通 二九七	傍島氏差引尻勘定大延引ニ付訖狀 樋口信七 千秋庄六郎 四月	一通 九二
○ 鷺巢村		○ 神領分	
田畑名寄帳 鷺巢村門右衛門分 庄六 享保一七年三月	一冊 一〇六	御神領御檢地帳之覺 市右衛門・名主次郎平 庄六 午(享保一一年)三月	一通 一〇六
年寄地畝付之覺 鷺巢村万太郎 重太郎 享保一〇年三月	一通 一〇七	(御神領扣地畝歩高書上并書狀) 名主田中弥一郎 服部庄六郎 安政三年四月	三通 一五八
鷺巢村十七筆扣地地価反別書上帳 明治一〇年	一冊 二〇三	卯年御神領御年貢引入覺 名主 庄六 天保三年一月二月	一通 二九五
○		午年御年貢引入之覺 御神領名主 庄六 未安政六年)四月	一通 一五〇
夏年貢之覺 鷺巢村門右衛門・四郎右衛門・重右衛門 庄六 午七月(享保一一年)九月	一通 一〇六	未年御神領御年貢引入之覺 田中喜平治支配名主 庄六 申(安政七年)三月	一通 九四
預り申御日折米之事 鷺巢村 美屋庄兵衛 栗田五郎治 卯(享保二〇年)閏三月	一通 八〇	午年御神領御年貢引入之覺 名主 庄六 午二月	一通 二六六
戊年引入 名主薰平 庄六 亥三月	一通 二五三	(掟米延引ニ付願書狀) 田中喜平治 服部庄六郎 安政六年五・九月	二通 一五二
田畑小作掟米引入帳 樋口信七 傍島新之右衛門 安政六年十二月	一冊 三三	(御神領御掟米覺) 田中弥一郎 安政六年一月	一通 一五九

御年貢米代金渡方覚 作人弥三郎 千秋庄六郎 午四月	一通 九六	飯木村宅地・畑一筆限絵図 (明治九年カ)	六×三	一枚 二〇九
田中喜平治御神領年貢納方ニ付書状 千秋庄 六郎宛 万延元、慶応元年	六通 九六	○小作米取立		
田中喜平治書状 惠美須屋治兵衛宛	一通 一五二	御年貢米掟小前取立勘定帳 浅右衛門 庄六 文政八年一〇月	横長半	一冊 三三
服部氏御神領支配ニ付田中弥一郎書状 惠比 須屋治兵衛宛 一二月一四日	一通 九六	御年貢米掟小前取立勘定帳 浅右衛門 庄六 文政九年一二月	横長半	一冊 三三
飯ノ木村		御年貢米掟小前取立勘定帳 浅右衛門 庄六 文政一二年一二月	横長半	一冊 三三
○検見帳		御年貢米掟小前取立勘定帳 浅右衛門 庄六 文政二二年一二月	横長半	一冊 三三
飯木扣検見帳 弘化二年一〇月	一冊 二四	御年貢米掟小前取立勘定帳 浅右衛門 庄六 天保二年一二月	横長半	一冊 三五
飯木邸検見帳 千秋庄六郎 明治一〇年一月	一冊 二五	御年貢米取立勘定帳 浅右衛門 庄六 天保二年一二月	横長半	一冊 三六
○		御年貢米掟小前取立勘定帳 天保四年一二月	横長半	一冊 三七
田畑宅地敷林標目簿 第四大区六小区多芸郡飯 木村近藤武策 明治九年	一冊 二〇一	御年貢米掟方取立勘定帳 浅右衛門 庄六 天保五年一二月	横長半	一冊 三八
多芸郡飯木村田畑田宅敷林標目 (明治九年カ)	一冊 二〇二	御年貢米小前掟方取立勘定帳 近沢浅右衛門 服部庄六 天保六年一二月	横長半	一冊 三九
第四大区六小区多芸郡飯木村略絵図 戸長近沢柳 助・副戸長近沢領助 (明治九年カ)	一枚 二〇三	御年貢米掟小前取立勘定帳 (検見年) 浅右衛門 天保七年一二月	横長半	一冊 四〇
飯木村字八中・市道田一筆限絵図 (明治九年 カ)	一枚 二〇四	御年貢米掟小前取立勘定帳 浅右衛門 庄六 天保八年一二月	横長半	一冊 四一
飯木村字高田ガマ田一筆限絵図 (明治九年カ)	一枚 二〇五	御年貢掟小前取立勘定帳 浅右衛門 服部庄六 天保九年一二月	横長半	一冊 四二
飯木村字押附・安久・金屋一筆限絵図 (明 治九年カ)	一枚 二〇六	御年貢米掟小前取立勘定帳 浅右衛門 服部庄 六 天保一〇年一二月	横長半	一冊 四三
飯木村字平木・申田一筆限絵図 (明治九年 カ)	一枚 二〇七	御年貢米掟方勘定取立帳 天保一二年極月	横長半	一冊 四四
飯木村字中川原・三味越一筆限絵図 (明治九 年カ)	一枚 二〇八			

御年貢米小前取立勘定帳 庄六郎 天保一三年一二月	近沢浅右衛門 服部 横長半	一冊	三三	嘉永六・七年份村入用割差上勘定書上覚 浅右衛門 服部庄六郎 嘉永七年七月	近沢 一通	六四七
当卯御年貢米掟方取立勘定帳 庄六 天保一四年一二月	浅右衛門 服部 横長半	一冊	三三	村入用夫錢割賦并受取証文 浅右衛門 庄六郎 嘉永六、安政四年	三通	六四七
御年貢小前掟方勘定取立帳 部庄六郎 弘化元年一二月	近沢浅右衛門 服 横長半	一冊	三七	村入用夫錢差引過上書上覚 本沢七兵衛 近沢 浅右衛門 安政五年正月	一通	六四六
御年貢米掟方勘定取立帳 庄六郎 弘化二年一二月	近沢浅右衛門 服部 横長半	一冊	三三	御検見入用并村入用夫錢割符書 安政五・六 年	三通	六四三
当午御年貢掟方勘定取立帳 部庄六郎 弘化三年	近沢浅右衛門 服 横長半	一冊	三三	已年御検見入用并村入用夫錢書上覚 飯木村 庄屋 庄六郎 午正月	一通	六六二
掟方御年貢取立勘定帳 弘化四年一二月	浅右衛門 服部庄六郎 横長半	一冊	三四	七月・極月割夫錢書上 安政元年・文久二・三 年	三通	六六二
掟方御年貢米取立勘定帳 筆峰 嘉永元年一二月	近沢浅右衛門 服部 横長半	一冊	三四	村割・組割ニ付月割覚 近沢浅右衛門 千秋庄 六郎 慶応三年七月	二通	三九五
当酉御年貢掟方勘定取立帳 六 嘉永二年一二月	朝右衛門 服部庄 横長半	一冊	三四	○助郷人馬 関ヶ原助郷人馬賃割并村入用夫錢割賦書 庄 屋浅右衛門 庄六郎 嘉永六、文久元年	一三通	六四四
辰歳御年貢米掟方勘定帳 郎 明治元年一二月	浅右衛門 千秋庄六 横長美	一冊	二七	関ヶ原宿助郷諸入用日ノ勘定当り金前借請取 証文 庄屋伍兵衛 庄六 丑十一月	一通	三六二
已年貢米勘定帳 一五年二月	近沢武策 千秋庄六郎 明治 横長美	一冊	二六	村入用夫銀并助郷人馬賃割当覚 庄屋 千秋 庄六郎 慶応二・三年	二通	三九五
明治一八年分貢米勘定簿 郎 明治一八年二月	近沢柳助 千秋庄六 横長美	一冊	二六	○村入用 借用申金子手形之事(村入用金借用手形) 庄屋 伍兵衛 庄六 文政二年一二月	一通	三六一
飯木村村入用夫錢覚 午七月	飯木村庄屋 服部庄六 横長半	一通	二六	村借金証文 庄屋伍兵衛 庄六 天保八年一二月	一通	六六五
盆前夫錢差引勘定覚 丑七月	飯木村庄屋伍兵衛 庄六 横長半	一通	二七	村入用金借用覚 庄屋伍兵衛 庄六 戌(天保九 年)一二月	一通	九三

金子村借証文 庄屋伍兵衛 庄六 天保九年一月	一通 一九四〇	蔵米・庭米書上 近沢柳助 千秋 明治二十四年一月	二通 二〇八
村入用借用金証文 庄屋伍兵衛 庄六 (天保)一〇月	一通 二五七〇	小作未進米納方証文 村瀬浅右衛門 千秋庄六郎 子一月	一通 七三
飯木村入用他借用金諸勘定書上 柏淵 服部 亥(天保一〇年)七月	一通 二五〇四	畑方御年貢米石代金上納ニ付弁納証文 近沢 浅右衛門 千秋庄六郎 未二月	一通 三九六
春役定式御普請弁金割賦証文 庄屋 千秋庄六郎 慶応三年四月	一通 三三九四	貯夫喰買入ニ付別勘定仕立金子請取証文 飯 木村東庄屋 庄六 卯二月	一通 二〇二
七月割村入用前借願 近沢浅右衛門 千秋庄六郎 七月	一通 二七九五	地券御印税通知状 飯木村戸長 庄六 酉(明治 六年)十一月	一通 二六四
村入用証用証文 伍兵衛 庄六 子(天保一一年)正月	一通 一六〇〇	諸税金請取通 飯ノ木村戸長 千秋庄六郎 明治九年	一綴 二九六
村入用拝借年賦金証文之事 庄屋伍兵衛 庄六 天保一二年二月	一通 一六〇三	田畑地税并地券税通知状 飯木村戸長 千秋庄 六郎 明治一〇年十一月	四通 三三四
盆前村入用先納金受取証文 庄屋伍兵衛 庄六 未年六月	一通 一五九四	橋爪村 〇扣高調	
借用金返納延引願状 はんのき近沢浅右衛門 服部庄六郎 安政四年四月	一通 二五六六	橋爪村扣高并掟米調帳 高木惣五郎来ル 弘 化四年	一冊 二六一
御城米并未進米納方書状 ハンノキ近沢浅右衛 門 千秋庄六郎 万延元・二年	四通 二五五五	橋爪村扣田地掟米調帳 儀右衛門来ル	一冊 一九四
年貢米金進上并御馳走礼状 はんのき近沢浅右 衛門 服部庄六郎 安政七年閏三月	一通 二五六七	橋爪村久助分他地価反別掟米書上	横長半 一冊 二五二六
御年貢米未進金納方証文 近沢浅右衛門 千秋 庄六郎 文久元・二年	四通 二五八四	〇検見帳	
(近沢柳助差配飯木村未進書上) 明治二二年	一通 二〇二七	橋爪村検見帳 嘉永三年九月	横美半 一冊 二六八
代納金請取通 近沢柳助 千秋庄六郎 明治二 二年九月	一通 二〇六	橋爪村検見帳 千秋庄六郎 明治八年九月	一冊 九五
		〇御年貢米勘定	
		己未年橋爪村御年貢米之事 名主藤次郎 千秋 庄六郎 申(万延元年)三月	一通 二九〇〇

辛酉年橋爪村御年貢米之事 庄六郎 戊(文久二年)三月 名主藤次郎 千秋	一通 二九〇二	○諸役	午年村役米之事 庄六 午年(安政五年)	一通 二九〇〇
壬戌年御年貢米之事 亥(文久三年)三月 名主高木喜一郎 千秋庄六	一通 二九〇三		庚申年家役米之事 辛酉(万延元年)七月 名主高木俊藏 千秋庄六	一通 二九二一
算用状之事 橋爪村名主活三郎 庄六 弘化四 安政四年	五通 二五四四		辛酉年他高役米之事 文久二・三年 名主高木喜一郎 千秋庄六	三通 二九〇九
午年算用状之事 はし爪名主 庄六 午(安政五年) 夫銀割添 名主活三郎 庄六	一通 二九〇四		癸亥年橋爪村御年貢米(高役米)之事 木藤次郎 千秋庄六 文久四年三月 名主高	一通 二九〇六
午年算用状之事 安政六年六月 夫銀割添 名主活三郎 庄六	二通 二九六〇		亥年高役米之事 千秋庄六 亥年(文久四年)	一通 二九四四
庚申年算用状之事 安政六年 名主高木俊藏 千秋庄六	一通 二九〇三		未・申兩度夫銀今須割 延元年 千秋庄六 安政六・万	二通 二九二三
未年算用状之事 延元年四月 名主宗五郎 千秋庄六郎 万	一通 二九六一		夫錢割之事 橋爪村名主 千秋庄六 文久元・二年	五通 二九〇八
酉年算用状之事 二年一月 名主宗五郎 千秋庄六 文久	二通 二九六三		夫錢受取おぼへ 元治元年一二月 名主高木宗五郎 千秋庄六郎	四通 二九九〇
算用状金子受取覚 文久三年七月 名主高木宗五郎 千秋庄六	一通 二九二五		子年夫銀割之事 千秋庄六 (元治元年)	一通 二九六五
算用状之事 惣五郎 庄六 寅年・亥年	九通 二九六三		郷夫割并御場わり覚 庄六 元治二年六月 はし爪村喜市郎組 千秋	一通 二九六六
子年算用状之事 惣五郎 庄六 丑三月	一通 八八三		夫錢飯割之事 はし爪村惣五郎 千秋庄六 元	四通 二九六九
子年算用状之事 丑(慶応元年)一月 名主高木宗五郎 千秋庄六	一通 二九六三		治元・慶応元年	
御年貢米引入之事 久二・三年 名主宗五郎 千秋庄六 文	二通 二九六一		寅年夫銀・郷わり濟方覚 六 慶応二年 高木宗五郎 千秋庄	一通 二九七〇
御年貢金請取証文 名主活三郎 庄六郎 六月	一通 二九二四		御普請丈歩築相銀割 名主活三郎 庄六 未	
御居米納方手形 名主惣五郎 庄六 酉(嘉永二年)四月	一通 二九六六		(安政六年)二月	二通 二九六五

夫錢割之事(樋代金・御仕理金等) 庄六分 安政六年	一通 二六四	申歲仕切(加稲新田作徳半割分) 足立庄治良 服部庄六 文政八年三月	一通 二三四
申年夫錢并宇田樋割御仕理金共 橋爪村 庄六 万延元年	一通 二五三	酉年仕切(加稲新田作徳割分) 足立庄左衛門 服部庄六 文政九年三月	一通 二三五
戌年夫錢割当り并臨時入用共納方覚 文久二年	一通 二五〇六	戌年仕切(寅新田・加稲新田作徳米代金渡方) 足立庄左衛門 服部庄六 亥(文政一〇年)三月	一通 二三三
御上落入用并郷中間夫銀割 高木喜市郎 千秋庄六 文久三年七月	一通 二五〇七	おほへ(寅新田・加稲新田作徳勘定) 足立庄左衛門 服部庄六 子(文化一三年)三月	一通 二一九
御進發浪士ニ付江夫給金入用飯割 はし爪村惣五郎組 千秋庄六 慶応元年六月	一通 二六九三	差引勘定書付 (横枕新田・寅新田分) 足立庄左衛門 服部庄六 丑(文化一四年)四月	一通 二二六
○		覚(とら新田・加稲新田作徳金渡方) 足立庄治良 服部庄六 酉(文政八年)三月	一通 二三三
橋爪村作兵衛入作二ヶ所絵図 安政五年一二月	一枚 二五〇七	覚(とら新田・加稲新田作徳勘定仕切) 戌(文政九年)三月	一通 二三二
村方借用金証文 名主武太夫 庄六 文化一五年正月	一通 二八六	文政九戌年分おほへ (寅新田作徳勘定仕切) 亥(文政一〇年)三月	一通 二三〇
勢至村		辰年作徳勘定おほへ 寅新田・加稲新田分 午五月	一通 八六三
勢至村掟方之覚 寛政八年一一月	一冊 一九五	石畑村	
勢至村掟方善右衛門分入方覚 寛政八年一一月	一冊 一九六	御年貢米引入之覚 五人組頭・名主 庄六 天保二・嘉永三年	六通 二五二
勢至村掟之覚 服部 巳年(寛政九年カ)	一冊 一九三	甲辰年御年貢米引入覚 名主・五人組頭 庄六 巳(弘化元年カ)三月	一通 三〇三
勢至畑掟之覚 巳年(寛政九年)一一月	一冊 一九四	甲午年御年貢米引入覚 五人組頭・名主 庄六 辰(弘化元年)	一通 八六五
加稲・寅新田		辛亥年御年貢米引入之覚 名主・五人組頭 庄六 子(嘉永五年)閏二月	一通 八六六
子年仕切(寅新田・加稲米作徳) 足立庄左衛門 服部庄六 丑(文化一四年)六月	一通 二二七		
丑年作徳勘定(加稲米) 足立庄左衛門 服部庄六 寅(文政元年)六月	一通 二二六		

末年御年貢米引入覚 五人組頭・名主 庄六 辰二月	一通 三〇四	明治十一年々明治十五年迄小作取立請負証券 伊勢國員弁郡西野尻村佐藤七郎治 美濃國不破 郡栗原村栗田忠兵衛 明治一一年八月	一通 一四二
巳年々末年分石畑村御年貢米引入之覚 五人組 頭・名主 庄六	三通 九三	明治一二年ヨリ同一六年迄五ヶ年間請負証券 一 六筆分 栗田忠兵衛 佐藤七郎治 明治一二年四 月	一冊 二〇四
申年御年貢米引入之覚 名主・五人組頭 庄六 酉三月	二通 三〇三	明治一二年ヨリ同一六年迄五ヶ年間小作請負証 券 栗田忠兵衛 佐藤七郎治 明治一三年四月	一冊 二二四
桜井村		明治一三年ヨリ同一六迄五ヶ年間請負証券 二三 筆 栗田忠兵衛 佐藤七郎治 明治一三年四月	二冊 二〇五
寅年引入之覚 新右衛門 庄六 卯(天保二年 カ)七月	一通 二九四	明治一三年ヨリ同一六年迄四ヶ年間小作請負証 券 添証券共 栗田忠兵衛 佐藤七郎治 明治一 三年四月	一冊 二二五
戌年引入之覚 桜井村会所 庄六 亥(文久三 年)七月	一通 二七六	明治一七年ヨリ同一九年迄三ヶ年請負証券 栗 田忠兵衛 佐藤七郎治 明治一七年一〇月	一通 二〇六
癸亥桜井村御年貢引入之覚 桜井村会所三太夫 庄六 甲子(元治元年)七月	一通 二七七	小作米取立方請負証券扣 佐藤七郎治宛 明治 一九年	一通 二四六
卯年御年貢引入之覚 桜井村名主 庄六郎 辰 (明治元年)三月	一通 二七〇元	明治一九年度小作米取立方請負証券扣 栗田忠 兵衛 作藤七郎治 明治一九年	一通 九七
夫錢割之覚 桜井村会所 庄六 戌(文久二年) 二月	一通 二七五	明治十九年小作米取立帳 佐藤七郎治 明治一 九年	一冊 三九
覚(御年貢差引勘定) 庄兵衛 千秋庄六郎 丑 (慶応元年)六月	一通 二七六	印鑑証明願 佐藤七郎治 下野尻村外三ヶ村戸 長 明治二〇年六月	一通 三三〇
栗原村		江月村	
佐藤七郎治買請地所公租村費上納立替証書 千 秋庄六郎 不破郡栗原村戸長 明治一二年八月	一通 二二六	畑掟麦取立帳 江月村之内字高野千秋庄六郎扣 地 明治一八年八月	一冊 二九七
不破郡栗原村買請地高田反地価掟米書上帳 (明治一二年カ)	一冊 二二七	畑掟米取立勘定帳 江月村之内字高野千秋庄六 郎扣地支配人川瀬重兵衛 明治一八年一二月	一冊 二九六
明治十一年々明治年十五年迄小作取立請負証 文 栗原村栗田忠兵衛・押越村樋口信七 佐藤七 郎治 明治一〇年七月	一通 二六一	多芸郡江月村之内字高野外畑掟米取立帳 川瀬 和三郎 明治一九年一二月	一冊 二〇三

横長半

横長美

横長半

横長半

横長半

外畑掟麦取立帳 川瀬和三郎 明治二〇年八月 横長半 一冊 二〇〇四
 外畑掟米取立帳 川瀬和三郎 明治二〇年一二月 横長半 一冊 二〇〇五

江州引得地

地所買受ニ付差入并約定証 千秋庄六郎代安田半兵衛 近江国蒲生郡日野大窪町石岡清蔵 明治一四・一五年 横長半 一綴 八九

千秋庄六郎分日野町地価反別書上帳 (明治一九年九) 横長半 飯二冊 二〇〇〇

(樋口信七分日野町地価反別書上) 半横長 飯一冊 九四七

耕地借用証券 西大路村小作人寺井榮吉 千秋庄六郎代理油浦兵衛 明治一五年三月 一通 二〇〇元

日野町大窪町・村井町之内小作請負証券 油浦直吉 千秋庄六郎 明治一六年二月 半 飯一冊 二〇〇九

請負約定証券 請負人近江国栗田郡洪川村中村善六 高田中町安田半兵衛 明治一七年二月 一通 二〇〇七

○小作納米

小作納米証券 村井村小作人富田伊之助 明治一五年三月 一通 二〇〇〇

小作納米証券 奥村卯兵衛 明治一五年三月 一通 二〇〇一

小作納米証券 大窪町小倉半七 明治一五年三月 一通 二〇〇九

小作納米証券 増田徳治 明治一五年三月 一通 二〇〇〇

小作納米証券 西田清蔵 明治一五年四月 一通 二〇〇一

小作納米証券 西脇柳助 明治一五年四月 一通 二〇〇三

小作納米証券 鈴木平吉 明治一五年四月 一通 二〇六三
 小作納米証券 油浦直吉 明治一五年四月 一通 二〇六六
 小作米証券 川原村小作人深井与三吉 明治一五年四月 一通 二〇三八

小作納米証券 山中勘兵衛 明治一五年四月 一通 二〇四三

小作納米証券 伊豆島新治 明治一五年五月 一通 二〇六四

小作納米証券 赤塚辰治郎 明治一五年五月 一通 二〇六五

小作納米証券 岡七左衛門 明治一五年五月 一通 二〇四三

小作納米証券 山中喜左衛門 明治一五年五月 一通 二〇四四

小作米証券 福永平右衛門 明治一五年五月 一通 二〇四五

小作納米証券 木村伊蔵 千秋庄太郎 明治一五年五月 一通 二〇四六

小作納米証券 島村金兵衛 千秋庄六郎 明治一五年五月 一通 二〇四七

小作納米証券 小西伝助 千秋庄六郎 明治一五年五月 一通 二〇四八

小作納米証券 水野弥太郎 明治一五年五月 一通 二〇四九

小作納米証券 小杉末吉 明治一五年五月 一通 二〇五〇

小作納米証券 岡 作治郎 明治一五年五月 一通 二〇五一

小作納米証 岡 治助 明治一五年 一通 二〇五三

小作納米証券 長尾菊治郎 明治一五年 一通 二〇五三

小作納米証券 村井村小亀伊兵衛 千秋庄六郎 明治一六年五月 一通 二〇五四

小作納米証券 大窪町小西喜左衛門 明治一六年六月 一通 二〇五五

小作納米証券	植田利助	明治一六年	一通	三〇五	
小作米納証券	村井村久村留吉	明治一六年六月	一通	三〇七	
小作米納証券	西大路村小西伝作	明治一六年	一通	三〇六	
江州差引覚	藤太夫・庄六郎	已二二月	一冊	二七五	
明治十八年度諸入費扣	村井村植田利助・村井美吉	千秋庄六郎 明治一九年三月	一冊	二九六	
江州掟米取替分并預り米勘定覚	石岡清蔵	千秋庄六郎・安田半兵衛	明治一五年二月	二通	三六七
明治十七年小作米取立帳	明治一七年	横長美	一冊	二二七	
明治十八年小作米取立惣計表	植田利助・村井寅吉	千秋庄六郎 明治一九年三月	一冊	二〇九	
送書等閑ニ致置候一件御詫一札	本庄村儀蔵	高田町御役前衆中	明治五年四月	半	一冊
小作米代金員不都合ニ付急差送り預り証扣	大窪町油浦直吉	千秋庄六郎	明治一六年二月	一通	六三
掟米并高反別書上覚	上之鄉村新七	(宝曆三年(四月))	二通	二六六	
役米・役錢之儀ニ付相米代として請取申金子証文之事	上ノ鄉村留兵衛	庄六	天明五年四月	一通	一四三
五日市村掟作御年貢并村大錢諸入用請取覚	五日市村庄屋	千秋庄六	嘉永二ノ文久二年	七通	一六五
○諸村					
丁巳年他大墳村御年貢米引入之事 名主三郎次 庄六 午・未・申年三月					
井村南・神明分寅年ノ辛年迄十五年間取米書上					
莊福寺分田地掟方酉年ノ巳年迄九ヶ年平均之覚					
河内屋政右衛門持分調 銘毛帳写 文政一三年					
嶋津屋金七米代金済方覚 服部庄六宛 已五月					
明治年分十四保村仲間地勘定書上并取替金請取 渋谷保之丞 千秋庄六郎 明治一六年五月					
高洲江庄六郎支配分					
大坪村高反別掟米小前帳 古証文付有 大坪村郡右衛門 高田町政助 寛政元年一月					
徳米預ヶ方承知一札証文 大坪村郡右衛門 高田町政助 寛政八年一月					
掟米小作附帳 大坪村郡右衛門 高田町政助 寛政八年二月					
栗原村地所掟米請負証書 栗原村栗田忠兵衛					
明治一三年度 安八郡室村地所ニ関候公稅村費其他諸入費計算之記 樋口信七 千秋庄六郎 明治一四年					
農業					
已年六月迄苗買上覚 服部庄六郎 安政四年七月					
養老公園産物改良營業者授産資金借用証 柏淵郁三郎 千秋庄六郎 明治一八年四月					

起業公債受取証 治一八年九月		千秋庄六郎	川瀬半兵衛 明	一通	三五四
産米改良進歩記		千秋十三郎	大正三年より	一冊	三〇
産米改良賞罰記		千秋十三郎	大正四年	一冊	二七四
*稲虫除御札渡帳		明治一二年九月	横長半	一冊	五五三
營業					
油 店					
金錢出納帳		服部油店	天明元年八月	横長半	一冊 三三九
金銀出納当座帳		沓番	服部庄六喜之扣	天明八年正月	横長美 一冊 三〇三
北・南絞帳預油并借之分書上		子・丑年分	横長半	一冊	八五七
諸有志資本金別法帳		千秋庄六郎	明治一五年四月	横長半	一冊 七六六
質 店					
*服部庄六家訓遺狀		竹治宛	宝曆四年閏一二月	横長半	一冊 八六三
誓詞一札		俵や宇兵衛 庄六	明和四年一二月	横長半	一通 二六七五
*孔方小袋		服部庄六	文政一一・天保二年	横長半	一冊 四三三
俵屋七太夫質店融通金借り入証文		七太夫 庄六郎	天保四年二月	横長半	一通 一九五七
俵屋日家栄 千秋堂主人 天保四・弘化二年					
金融改格諸雜記		千秋庄六郎	明治二二年三月	横長美	一冊 四六六
○					
米之御通		俵屋七太夫	服部庄六 寅歲(天保元年)・同三年	横長半	一冊 四〇〇
錢之御通		俵屋七太夫	服部庄六 寅年(天保元年)	横長半	一冊 三六四
錢之御通		俵屋七太夫	服部庄六 辰年(天保三年)	横長半	一冊 三六五
錢之御通		俵屋七太夫	服部庄六 巳歲(天保四年)	横長半	一冊 三六六
錢之御通		俵屋七太夫	服部庄六 未年(天保六年)	横長半	一冊 三六七
錢之御通		俵屋七太夫	本立院 酉年(天保八年)	横長半	一冊 三六八
せ二代受取覚		俵屋七太夫	服部庄六郎 安政六年六月	横長半	一通 二六七九
俵屋通調(嘉永七寅年一二月迄払済)		文久二年一二月	横長半	一冊	二七九
酉年已後俵屋差引調帳		千秋堂 (文久二年一二月)	横長半	一冊	二八〇
借用金之儀ニ付七太夫書狀		千秋庄六郎宛 慶応二・三年	横長半	二通	一八九二
商用金借用証文添状共		俵屋七太夫	千秋庄六郎 明治二年三月	横長半	三通 二四五五
質物請戻シ覚書(質札紛失ニ付)		丑一二月	横長半	一冊	七九五

貸家・地

貸家

居屋敷借請狀之事 高田町平七 庄六 享保四年三月	一通	二四七三
借り請申家屋敷一札之事 借請主七兵衛 庄六 明和元年一二月	一通	二四二一
屋敷借受証文 島田祐次郎 庄六 寛政二年正月	一通	二四〇一
家屋敷借受証文之事 東町松屋与吉 庄六 寛政一〇年八月	一通	二三〇三
七ヶ年限屋鋪借請申証文之事 中町中野屋長治 庄六 文化一二年二月	一通	二三〇三
屋敷借り受証文之事 橋爪村市五郎悖忠吉 庄六 文政二年四月	一通	二三〇〇
忠告一件覚書(門家取立二付) 文政二年一〇月 (年賦引合分受取覚) 世話人庄六・忠吉 伊八 癸未(文政六年)七月	一通	二三一一
屋敷借り受証文之事 宮西兼八 庄六 文政八年一二月	一通	二三〇四
家屋鋪十ヶ年借請証文之事 笹峰 与七 嘉永六年四月	一通	二二四四
家屋敷借受証文之事 桑原貞造 太々溝御連中 柏淵俊七郎・服部庄六郎 安政五年一二月	一通	二三三五
家屋敷借受証文 七五郎 服部庄六郎 安政六年七月	一通	二三六六

市作屋鋪借り請ニ付取極一札 (高淵)喜兵衛 庄六郎・卯三郎 安政六年八月	一通	二四六四
(借家壁兼用ニ付地賃支払取極一札) 長左衛門 千秋庄六郎 文久二年三月	一通	二三九
屋敷借請証文 卯兵衛 千秋庄六郎 明治二年四月	一通	二八六八
家屋敷借請申一札之事 源助 千秋庄六郎 明治二年四月	一通	二九三
屋敷借り請証文之事 案紙 服部氏	一通	二九七
屋敷借受証文 東町ひしや伊右衛門 庄六	一通	二三〇〇
屋敷借請証文之事(後欠)	一通	二三〇五
(借家又貸ニ付御詫一札)	一通	二三〇六
*江代米并借家扣 千秋庄六郎 安政四元治元	一冊	二九七
○家賃 家賃請取申一札之事 百々ちか 服部笹峰 安政五年一二月	一通	二六六〇
(家賃先借証文) 百々ちか 千秋庄六郎 万延元年七月	一通	二六六一
(家賃先借証文) ちか 千秋庄六郎 文久元年三月	一通	二六六三
*江代米并借家賃覚 慶応二年	一冊	二九六
家賃約定証券 藤八悖本郷良吉 千秋庄六郎 明治一三年一二月	一通	二六六七
家賃御取立分受取覚 柏淵拙藏 千秋庄六郎 未正月・七月	一通	二五八六

横長美

横長美

貸地

借用申屋敷畑証文之事(酒蔵建造ニ付) 了造
千秋庄六郎

一通 一四七

地所拾五ヶ年御貸渡ニ付為取替証文 島田村
杉江益次郎・千秋庄六郎 船付村谷八十助 明治
三年六月

一通 一七〇

宅地借受証券 森川まつ 千秋らく 明治三二
年八月

一通 二四〇

宅地借受証券 高田町之内 千秋庄六郎宛 明
治二四年一月

一三通 二四一

宅地借受証券 千秋庄六郎宛 明治二七年

五通 二四三

宅地借受証券 千秋庄六郎宛

一綴 二四三

宅地借受証券 千秋元次郎宛

二通 二四四

宅地借受証券 千秋あい宛

六通 二四五

貢租

名寄

名寄帳

(御年貢米名寄写) 庄六 亥年(寛政三年)

横長美 一冊 三六七

御年貢米名寄帳 写 庄六 寛政六年

横長美 一冊 三六〇

御年貢米名寄帳 写 庄六 寛政七年

横長美 一冊 三六一

(御年貢米名寄写) 庄六 子年(文化元年)

横長美 一冊 三六九

(御年貢米名寄写) 庄六 丑年(文化二年)

横長美 一冊 三九〇

(御年貢米名寄写) 庄六 辰年(文化五年)

横長美 一冊 三九一

(御年貢米名寄写) 庄六 巳年(文化六年)

横長美 一冊 三九二

(御年貢米名寄写) 庄六 午年(文化七年)

横長美 一冊 三九三

亥年名寄写 庄六 亥年(文政一〇年)

横長美 一冊 三九六

子歳名寄写 庄六 子年(文政一一年)

横長美 一冊 三九五

巳年・寅年名寄帳他徴税帳差上覚 杉江益次
郎 服部筆峰 五月

一通 二二九

南沖地下田野取帳 土屋八十郎 元禄四年八月

横長美 一冊 四一

明治四辛未年地目録 明治四年

横長美 一冊 一〇三

年貢勘定

勘定帳 千秋庄六郎 明治一二年二月

横長半 一冊 四三六

勘定帳 千秋庄六郎 明治一二年二月

横長半 一冊 四三五

明治二一子年分掟米勘定帳 千秋重三郎 明治
二二年一月

横長半 一冊 二七九

明治二二丑年分田畑掟米勘定帳 写共 千秋十
三郎 明治二三年一月

横長半 一冊 二八〇

勘定帳 千秋庄六郎 明治二四年一月

横長半 一冊 四三七

勘定帳 千秋庄六郎 明治二六年一月

横長半 一冊 四三六

勘定帳 千秋庄六郎 明治二八年一月

横長半 一冊 四三九

勘定帳 千秋十三郎 明治三二年一月

横長半 一冊 四四〇

勘定帳 千秋十三郎 明治三九年一月

横長半 一冊 四四一

勘定帳 千秋十三郎 明治四〇年一月

横長半 一冊 四四二

勘定帳	千秋十三郎	明治四一年一月	横長半	一冊	四三	去末年未進銀書上	横長美	一冊	二六三
勘定帳	千秋十三郎	明治四二年一月	横長半	一冊	四四	午年未進書上		一通	二五一
勘定帳	千秋十三郎	明治四四年一月	横長半	一冊	四九	諸税金			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五〇	濱地年貢米代金割出金通知狀	島田戸長事務取扱所	七通	九七
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五一	村費内取立金納方通知狀	事務取扱所	一五通	一五〇
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五二	郎他子(明治九年)八月			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五三	村費内取立金納方通知狀	事務取扱所	一綴	一五二
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五四	六郎他丑(明治一〇年)二月			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五五	おしほ町税前納金預り受取証	千秋庄六郎	一通	二六五
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五六	竹嘉七明治二三年一〇月			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五七	第五等所得税金額通知狀	多芸・上石津郡長	一通	九四
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五八	庄六郎明治二四年八月			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	五九	廿三年町税旧村費皆済	庄六・十三郎・らく	一通	二六〇
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六〇	明治二四年			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六一	地租名寄帳	千秋らく子同順次	一冊	二九三
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六二	町會議員撰挙費割合	千秋十三郎	一綴	一五一
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六三	明治四〇年九月			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六四	貸借			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六五	貸付			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六六	借用手形			
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六七	預り申金子之事	大垣谷屋庄兵衛	一通	二四四
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六八	衛享保二〇年三月	庄六・源兵	一通	二四七
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	六九	金子借用手形	清七	一通	二五〇
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七〇	庄六	文化五年七月		
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七一				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七二				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七三				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七四				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七五				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七六				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七七				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七八				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	七九				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八〇				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八一				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八二				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八三				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八四				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八五				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八六				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八七				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八八				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	八九				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九〇				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九一				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九二				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九三				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九四				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九五				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九六				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九七				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九八				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	九九				
勘定帳	千秋十三郎	明治四五年一月	横長半	一冊	一〇〇				

借用申金子之事 清七 庄六 文化六年二月	一通 一九七	借用金証文 多七 服部庄六 文政一二年十一月	一通 一六二
借用申金子証文之事 藤左衛門 庄六 文化六年一月	一通 一三七	金子借用申証文之事 清七 庄六 天保二年五月	一通 一五九
借用申金子証文之事 藤左衛門 庄六 文化六年一月	一通 一三六	覚(借用金証文) 長次 庄六郎 天保二年十二月	一通 一三三
借用申金子之事 糸屋金十郎 服部庄六 文化七年二月	一通 一六五	借用金証文 たねや多七 庄六 辛卯(天保二年カ)	一通 一八〇
借用申金子之事 権九郎 庄六 文化七年十二月	一通 一九〇	茂太夫入用ニ付借用申金子証文之事 添書状 共 文次・市右衛門 庄六郎 天保三年四月	二通 一三六
預リ申金子証文之事 八十郎 春三郎(庄六) 文化一二年四月	一通 一三九	借用金証文 梅屋新七 服部笙峰 天保七年二月	一通 一八七
金子借用一札 佐五兵衛 庄六 文化一三年二月	一通 一九三	借用申金子之事 河地景次 服部笙峰 天保一〇年六月	一通 一九五
借用申金子証文之事 権太夫 庄六 文政五年十二月	一通 一九一	添一札(返濟年延御承引ニ付) 河地景次 服部笙峰 天保一〇年十一月	一通 一九六
借用申金子証文之事 唐助 庄六 文政一〇年十二月	一通 一九三	源左衛門取かへ覚(文政午年大吉万福帳ニ有之分) 天保一三年	一冊 八六
借用申証文 大墳村定七 服部庄六 文政一〇年極月	一通 一九七	借用申金子之事 土屋篤四郎 服部笙峰 安政三年二月	一通 一六五
借用申金子之事 藤太夫 庄六 文政一〇年二月	一通 一三一	借用申金子之事 写 西脇岩二郎 千秋庄六郎 明治二年六月	一通 一四五
借用申金子之事 藤太夫 庄六 文政一〇年二月	二通 一三三	借用申金子証文之事 新七 千秋庄六郎 明治三年七月	一通 八七
借用申金子之事 左六郎取次専念寺 庄六 文政一一年十二月	一通 一三〇	金子借用一札 新七 千秋庄六郎 明治三年九月	一通 八八
借用金証文之事 清七 庄六 文政一二年五月	一通 一五七	借用金一札 伊藤岩三郎 千秋庄六郎 明治四年八月	一通 一五三
借用申金子之事(二ヶ月切) 安久村正覚寺 庄六 文政一二年六月	一通 一四〇	借用金証券 千秋元次郎 千秋庄六郎 明治一〇年九月	一通 一四六

借用金証書 島田村上田象右衛門 千秋庄六郎 明治一二年二月	一通 一六九三	借用金証書 大垣郭町野田三左衛門 田中宗一 明治四一年七月	二通 一六六五
借用金証書 小川善七郎 千秋庄六郎 明治一二年四月	一通 二四〇九	借用証書 大垣野田三左衛門 田中宗一 一年八月	一通 一六六六
借用金証書 渋谷市次郎 千秋庄六郎 明治一三年二月	一通 二四三四		
居宅普請入用ニ付借用証書 中野兼吉 千秋庄六郎 明治一三年三月	一通 二五三二		
借用金一件証書 蒲生郡日野大窪町佐藤常次郎 千秋庄六郎 明治一五年一〇月	一通 一六九八	(市作入中町屋敷地分証文一札) 垂井宇吉 千秋庄六郎 文久三年正月	一通 一五五四
借用金証書 安八郡浅草中村河合十郎治 千秋庄六郎 明治一七年一二月	一通 一五五五	借用申金子証文之事 市作 千秋庄六郎 文久三年三月	一通 一五五六
借用金証書 押越村樋口信七 千秋庄六郎 明治一八年三月	一通 一六六一	讓渡申屋鋪烟証文之事 垂井宇吉 市作 文久三年三月	一通 一五五五
(借金受取証) 景陽寺松山恵勝 千秋庄六郎 (明治一九年カ)	一綴 一三三三	借用申証書 服部市作 千秋庄六郎 明治八年五月	一通 一五五七
借用金証書 飯木村近沢しやう 飯木村近沢柳助(千秋庄六郎支配人) 明治二四年二月	一通 二〇七三	借用申金子証書 服部市作 千秋庄六郎 明治八年五月	一通 一五五八
借用金証書 明徳村若山四郎右衛門 飯木村近沢柳助 明治二四年二月	一通 二〇七四	金子借用証文 足立庄左衛門 服部筆峰 申九月	一通 二四九五
借用金証書 明徳村若山清助 近沢柳助 明治二四年二月	一通 二〇七五	覚(借金証文) 平のや伊八 本立院 亥二月	一通 二五〇一
借用金証書 千秋元次郎 千秋康夫 明治三〇年八月	一通 一九五四	金子借用覚 吉兵衛 本立院 一一月	一通 二五五九
米借用証 若山和助 千秋十三郎 明治三三年一月	一通 一三六四	金子借用覚 高田町長八 本立院 一一月	一通 二五七一
借用証書 高田町近藤久右衛門 千秋十三郎 明治三八年一月	一通 一六六四	金子請取覚 季之助 庄六 未二月	一通 二六四〇
		金子借用一札 源兵衛 和助・七太夫 安永二年二月	一通 一八九九
		借用申金子証文之事 横折之覚共 押越村伊与八久作・藤太夫 文政一一年四月	二通 一六六〇

借用申金子証文之事 添状・写共 益次郎 養次郎 天保一四年七月	三通 二四六	五年切質物証文 田地預リ証文添 鷺巢村市右衛門 庄六 享保一一年三月	二通 二五九
元角助居宅家代金借用一札 喜三郎後家 千秋庄六郎 万延二年二月	一通 二四六	老年切質物書入田地証文 鷺巢村門右衛門 庄六 享保一三年二月	一通 二四二
田畑書入			

質物書入申烟地証文之事 庄六 文政五年五月	有坪城前 善左衛門	一通 三九〇
質物書入申証文之事 中組柳吉 庄六 文政八年三月	一通 一八六	
上烟書入借用申証文 即心寺 庄六 文政九年二月	一通 三六四	
質物書入申田地証文之事 掟米覚共 柳吉 庄六 文政一〇年二月	二通 一八九	
質地書入借用申金子之事 横折之覚共 杉江林右衛門 庄六 文政一〇年二月	二通 三九三	
質物 二書入借用申金子証文之事 衛門 高田庄六 文政一〇年二月	一通 二九七	
横折之覚 宇平 庄六 文政一〇年二月	一通 二八〇	
借用申金子証文之事 鷺巢村喜平治 高田町庄六 文政一二年二月	一通 一九七	
*掟米勘定并古借金返済延引一札 喜平治 服部庄六郎 嘉永五年二月	一通 一九六	
土屋文治取替金返済ニ付質地書入并横折返上覚 高須吉田長右衛門 笹峰 弘化三年二月	一通 二六四	
御取替金受取覚 吉田長右衛門 服部笹峰 弘化四年五月	一通 二六九	
質物書入屋敷烟証文之事 辰右衛門 庄六郎 天保三年二月	一通 二九四	
借用申金子年賦証文之事 横折之覚共 増蔵 七太夫取次 天保四年三月	二通 三三三	
質物書入借用申金子証文之事 屋敷烟質物 安田屋幸助 千秋庄六郎 万延元年二月	一通 一五二	

添証文之事(借用金年延願) 文久元年二月	幸助 千秋庄六郎	一通 一五三
(念切金請取質流一札) 治二年六月	幸助 千秋庄六郎 明治二年六月	一通 一五三
質物書入借用申金子証文之事 秋庄六郎 明治四年二月	喜右衛門 千秋庄六郎	一通 一九六
川津半兵衛借用金関係書類 明治二五、二八年	明治二五、二八年	一通 一六六
1 委任状(地所書入變更取消登記請求) 月 垣区裁判所高田出張所宛	明治二五年二月	一通 一六六
2 契約証(谷伝兵衛江壳却ニ付拔筆取消) 月 川瀬半兵衛 千秋庄六郎	明治二五年二月	一通 一六六
3 約定証書(抵当之義務解放ニ付) 兵衛 千秋庄六郎 明治二六年四月	川瀬半兵衛	一通 一六六
4 明約書(貸金之儀ニ付) 瀬半兵衛 明治二七年三月	千秋庄六郎 川瀬半兵衛	二通 一六六
借用金証券 千秋康夫宛書状共 門 傍島文吉 明治二七・二八年	傍島新之右衛門	三通 一六〇
借用申金子証文之事 二月 藤八 庄六 文政一二年	藤八 庄六	一通 二九二
鍋田道具質ニ而金子借用証文 村八郎兵衛 服部庄六 天保七年七月	添書共 高屋村八郎兵衛	四通 二七〇
鍋田清三郎借用証文 服部庄六 申(天保七年)九月	大垣伝馬町鍋田清三郎	一通 二七一
道具預り目録(鍋田分) 道具預り目録(鍋田分) 酉(天保八年)十一月	西(天保八年)十一月	三通 二七三

○又 質

子年 ⁶ 寅年迄三年限質物ニ書入申田地之事 久内 町市左衛門 宝曆六年八月	一通 一八三
田畑掟方之事 佐久内 町市左衛門 宝曆六年八月 横長美大	一冊 一八三
質物書入借用金証文 掟米之覚共 林七 権九郎 文化八年正月	二通 一八三
十ヶ年季屋敷畑書入証文之事 藤次郎 才藏・藤左衛門 文政四年三月	一通 一八三
質地書入借用申金子之事 横折之覚 杉江林右衛門 柳次 文政九年一二月	二通 三九三
借用申金子証文之事 横折之覚 石畑村山幡繁右衛門 高田町茂太夫取次 文政二年一二月	一通 一九四
質物書入証文之事 横折之覚共 藤三郎 常七 天保二年一二月	二通 二九四
質地書入借用申金子証之事 元次郎 藤三郎 天保四年四月	一通 一九六
田畑質物ニ書入借用申金子証文之事 横折之通覚并絵図共 九兵衛 吉兵衛 嘉永三年一二月	三通 二四七
質流ニ相渡申畑地証文之事 横折之覚 九兵衛 庄六郎 嘉永四年一二月	一通 二四七
質物書入借用申金子証文之事 道察 政七 嘉永四年一〇月	一通 一六六
地所書入借用金証文 三輪多助 安田半兵衛 明治一〇年一二月	一通 一六五
○横折之覚 掟覚 高田佐平次 庄六 戊(寛保二年カ)一二月	一通 二五九

大墳村莊福寺差出掟方覚 莊福寺 庄六 宝曆一年一二月 横長美	一冊 二〇九
横折之覚 下町孫七 庄六 丑(明和六年)三月	二通 一八〇
横折之覚 平十郎 庄六 安永六年一二月 横長美	一冊 二五七
質地横折帳 孫太郎 庄六 寛政四年一二月 横長美	一冊 二五七
添証文之事(御増金請取証文) 孫太郎 庄六 寛政四年一二月	一通 二五七
掟小前帳 上之郷村新七 庄六 丙子(文化二三年)三月	一通 二四九
横折之覚 隆平・欽次・彦右衛門・新七 庄六 文政元年一〇月 横長美	一冊 三〇〇
横折之覚 善左衛門 庄六 文政五年五月	一通 一六六
横折之覚 市良左衛門 忠五郎 天保二年三月	一通 二一七
横折之覚 清七 庄六 天保七年一二月	一通 二〇五
横折之覚 永丘寺 兵左衛門 嘉永七年一月	一通 二二一
横折之覚 平太夫 傍島新之右衛門 安政六年四月	一通 二〇〇
掟方覚 飯木村彦八 庄六 丙子極月	一通 二〇三
横折之覚 上ノ郷村彦八 庄六 亥八月	一通 一六〇
掟小前帳 上ノ郷村新七 庄六 子ノ三月	一通 二〇〇
横折之覚 庄六分カ 横長美	一冊 一六七
横折之覚 喜右衛門 千秋庄六郎 屋敷書入	一通 二六五
孫七家屋敷畑質物証文預り覚 下町市左衛門 庄六 明和四年一二月	一通 一八九

横折之覚 下町孫三郎 市左衛門 明和四年二月	一通	一八三	借用利金上納覚 しほ屋清三郎 服部 酉(天保八年)四月	一通	一七三
古家書入借用一札 飯木村忠六 服部庄六 文政八年二月	一通	三六六	貸付金之内返済請取証文 野口村内藤嘉一郎 島田村半兵衛 明治一六年四月	一通	三三三
借用申金子証文之事(新家書入) 長左衛門 庄六 文政九年七月	一通	三五二	借用金返上ニ付受取方願狀 柏淵才藏 服部庄六 五月	一通	二六六
古家質物書入証文 宮面庄七 甚介・和介 天保元年二月	一通	一八三	○延納願		
古家書入金子借用証文之事 長治 庄六郎 天保二年四月	一通	三五三	佐藤与三郎書狀(返金延納) 服部庄六宛 天保一年二月	一通	一七六
古家書入証文之事 平吉 庄六 天保三年四月	一通	三五〇	貸金方取調覚 佐藤与三郎 服部庄六 寅(天保三年)十一月	一通	一七四
古家書入申証文之事 善兵衛 庄六 天保五年七月	一通	二四三	佐藤与三郎書狀 服部庄六宛 天保一三年一月	一通	一七三
古家質物書入借用申金子証文之事 柳藏 庄六 弘化三年七月	一通	二四六	日比七兵衛書狀 服部笙峰宛 天保一四年五月	三通	二七〇
町並南側家鋪畑証文 林右衛門 庄六 文久三年二月	一通	一五三	(和宮様御下向ニ付臨時支出被仰付借用金返済差延願) 江月村吹原市兵衛 千秋庄六郎 文久元年一〇月	一通	一五八
(屋敷書入借用金増金請取覚) 杉江益次郎 庄六 慶応二年七月	一通	一五三	(御恩借金返済方延引ニ付詫状) 江月村日比茂十郎 千秋庄六郎 明治元年十二月	一通	一五三
(火急入用ニ付借用覚) 益次郎 千秋庄六郎 丙寅(慶応二年)十二月	一通	一五四	借用金返済方ニ付願狀 日比茂十郎 千秋庄六郎 十二月	一通	一五四
家修履金差詰ニ付古家書入借用証券 登佐長左衛門 千秋庄六郎 明治七年一〇月	一通	三三六	樋口信七内願狀 千秋庄六郎宛 明治一三年八月	一通	二七六
借地建物書入借用金証書 書入質地所図面共 藤井代治 千秋庄六郎 明治一二年六月	二通	二四一	樋口信七借用金返済延引願狀 千秋庄六郎 明治一三年八月	一通	二七六
借地建物書入借用金証書 書入質地所図面共 小野芦右衛門 千秋庄六郎 明治一五年二月	一通	二四三	(借金返済金御猶予願書狀) 河合十郎治 千秋庄六郎 二月	一通	一六三
返金			京屋吉兵衛借用金ニ付書狀 服部伊八宛 一月	一通	二七四

借入金返済延引願 日比茂十郎 千秋庄六郎
一二月 一通 二六九

○戻り証文

返り証文之事 御両人名印 十之右衛門 享保
一六年二月 一通 二九三

返り手形案紙 清六 市作 宝曆六年三月 一通 二六三

祖父川田畑替地戻り証文 添書状共 笹峰 押
越村源左衛門 弘化四年三月 二通 一八三

戻り証文之事 高田笹峰 北方村宇野彦太夫
嘉永元年二月 一通 二三五

横折帳 北方村宇野彦太夫 高田庄六郎 嘉永元
年一二月 一冊 一三六

譲戻申畑地証文之事 永丘寺 兵左衛門 嘉永
七年十一月 一通 二四六

譲戻申屋敷畑証文之事下書 飯田村 又五郎
安政六年三月 一通 二六九

金子返進ニ付質流証文御戻し願状 中島弥一
郎 服部笹峰 九月 一通 二五七

飯ノ木居宅受戻ニ付引合一札 京都中島弥三代
中島華陽 笹峰 一通 一三〇

鷺巣村直八返金済口証文 一通 一七〇

1 田畑相渡金子請取申証文之事(伊勢領)
鷺巣村直八 庄六 安永二年五月 一通 一三〇

2 伊勢領田畑返進ニ付借入金利足請取証
文 直八 庄六 安永二年五月 一通 一三〇

○貸金出入

借金出入ニ付為取替申一札之事 飯ノ木村六
兵衛伴四郎兵衛 飯木村権内・高田町万治郎(庄六
二質流) 享保一六年六月 一通 三七

石畑村清右衛門宛貸金出入ニ付約定一札 笹
峰 徳田村藤左衛門 天保一二年一二月 一通 二四七

吉兵衛ハ笹峰江相懸リ候貸金一件熟談内済証
文 高田吉兵衛・千秋笹峰・彦右衛門 今須村藤
右衛門他 万延元年九月 一通 三三三

吉兵衛貸金一件ニ付彦右衛門江相渡候御勘弁
金請取証文 立入今須村木田藤右衛門 千秋笹
峰 申(万延元年一〇月) 一通 三三三

庄六郎ハ吉兵衛取替金ニ付熟談内済証文 千
秋庄六郎・吉兵衛 今須村七郎兵衛 文久元年五
月 一通 三三四

栗原村地所手附金出金ニ付一部返済請取証
千秋庄六郎 樋口信七 明治一三年一月 一通 三三八

代人願(貸金請求訴訟) 押越村樋口信七 岐阜
始審裁判所長宛 明治一七年二月 一冊 七九

貸金弁償請求之訴状 大垣本町石田吉次郎 明
治一七年二月 一冊 八三

樋口子孝代人立川勇次郎ハ係ル一件出頭令状
写 千秋安太郎宛 明治一七年三月 一通 三三六

日延猶予願 千秋安太郎差出 明治一七年八月
立川勇次郎ヨリ相係ル一件出頭日延願 千秋
安太郎 明治一七年八月 一通 三三七

借入金一件代人願 千秋安太郎 明治一七年八
月 一冊 二九七

借入金返済差拒并証券取戻一件ニ付委任証
千秋庄六郎・同安太郎 明治一七年九月 一通 三三八

借入金済方畧方記 明治一七年十一月 二綴 一三五

借入金保証人呼出ニ付代人委任状 千秋庄六
郎 明治一七年一月 一通 三五三

召換狀請取証文 千秋安太郎 石田吉次郎 明治一七年三月
引合人之為召喚ニ付代言届 千秋安太郎 明治一七年三月

一通 二五三

五ヶ年預リ申金子之事 千秋庄六郎 大跡村けい
元治二年三月
五ヶ年預リ申金子之事 千秋庄六郎 大跡村けい
元治二年三月

一通 一三七
一通 一三六

○

*孔方小貸 服部庄六 文政一一、天保二年

横長半

一冊 四三

借用申金子証文之事 服部庄六郎 高須吉田長
右衛門 天保五年一〇月

一通 二四一

諸方金銀差引扣 服部庄六郎 (天保八年カ)

横半半

一冊 八六

取替金之記 明治一六年一月

横長半

一冊 二六

借用申金子之事 千秋庄六郎 袋屋油店取次景
陽寺 慶応二年一二月

二通 一三四

借入

○預金

急入用ニ付預ケ金渡方願一札 藤七母 庄六
寛延四年閏六月

一通 二七五

証券(借用金) 千秋庄六郎 佐藤丈太郎 明治九年七月

一通 一六四

預ケ金請取一札 藤七母 庄六 寛延四年閏六月

一通 二七六

証券 千秋庄六郎 千秋元次郎 明治九年一月

一通 一六三

(久蔵預金証文) 久蔵後家妙円 庄六 宝曆一一年四月

一通 一三三

証券(金子借用) 千秋庄六郎 早野七郎治 明治一〇年二月

一通 一六六

(久蔵死後預ケ金殘金受取証文) 橋爪村与三八 庄六 宝曆一二年四月

一通 一三四

借用金証券 千秋安太郎 押越村小野政之助 明治一二年一月

一通 二四〇

久蔵死期過金預リ証文 庄六 久蔵妻妙円尼 宝曆一二年四月

一通 一四四

借用金証券 千秋安太郎 大墳村西脇三郎次 明治一二年一月

一通 二四七

久蔵死期預ケ金請取証文 橋爪村与八 庄六 辛巳(文政四年カ)七月

一通 二五五

借用金証券 千秋庄六郎 大橋善九郎 明治一一年七月

一通 一六〇

須脇村森助十郎江遣候金子請取証文 渋谷安左衛門 土屋文治 安政四・五・六年

一通 二五二

借用金証券 千秋庄六郎 大橋善九郎 明治一一年八月

一通 一六一

文治六須脇村助十郎江被遣候金子御預リ証文 渋谷安左衛門 服部庄六郎 安政七年正月

一通 二六三

借用申金子之事 千秋庄六郎 栗原村淳三 明治一一年八月

一通 一六七

借用金証券 一年八月	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一	一通	一六六
借用証券 九月	千秋庄六郎	安田半兵衛	明治一	一通	一六三
借用申金子之事 衛 明治一二年二月	千秋庄六郎	栗原村栗田忠兵衛	明治一	一通	一六五
借用証券 一年二月	千秋庄六郎	高須村吉田耕平	明治一	一通	一六五
借用金証書 明治一二年二月	千秋庄六郎	押越村渋谷保之助	明治一	一通	一六七
金借用証券 明治一二年一月	千秋庄六郎	押越村渋谷保之助	明治一	一通	一六三
借用金証券 二年四月	千秋庄六郎	早野七郎治	明治一	一通	一六五
借用金証券 二年五月	千秋庄六郎	安田半兵衛	明治一	一通	一六三
借用金証券 二年五月	千秋庄六郎	安田半兵衛	明治一	一通	一六四
借用金証券 二年五月	千秋庄六郎	早野七郎治	明治一	一通	一六六
借用金証券 二年一〇月	千秋庄六郎	早野七郎治	明治一	一通	一六六
借用金証書 三年二月	千秋庄六郎	安田半兵衛	明治一	三通	二〇七
借用金証書 明治一三年七・八月	千秋庄六郎	島田村大橋善九郎	明治一	二通	二〇六
借用金証書 門 明治一三年七月	千秋庄六郎	口ヶ島村田中和右衛門	明治一	一通	二〇六

借用金証書 明治一三年七月	千秋庄六郎	大垣舟町奥田清八	明治一	一通	一六五
借用金証券 明治一三年二月	千秋庄六郎	高須村吉田耕平	明治一	一通	一六四
(千秋庄六郎借用金一件書類) 明治一三・一六年					
1 地所書入借用金証書 宛 明治一三年二月	野口村内藤源十郎	明治一	一通	一綴	二七
2 借用金添証書 年二月	内藤源十郎宛	明治一四	一通		
3 地価反別小每記 年二月	内藤源十郎	明治一三	一通		
4 借用金副証書 明治一五年二月		明治一	一通		
5 (借用金一部返済願) 明治一六年二月		明治一	一通		
6 借用金副証書 明治一六年二月		明治一	一通		
7 (取替金請取証券) 庄六郎 明治一六年二月	内藤源十郎	千秋	一通		
8 (利子請取証券) 衛 明治一六年分	内藤源十郎	安田半兵衛	一通		
9 副証(借用金返済延期約定書) 一月		明治一八年	一通		
借用金証書 助宛 明治一三・一四年	濟方請取口濱共	押越村渋谷保之	二通	二〇六	
借用金証書 治一四年一月	千秋庄六郎	傍島新之右衛門	明治一	一通	二〇〇
借用金証書 四年一月	千秋庄六郎	早野七郎治	明治一	一通	二〇一

借用金証書 四年二月	千秋庄六郎	佐藤丈太郎	明治一	一通	二三四
借用金証書 四年三月	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一	一通	一六五三
借用金証書 四年二月	千秋庄六郎	渋谷保之助	明治一	一通	二〇八二
借用金証書 四年五月	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一	一通	一六五二
借用金証書 四年八月	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一	一通	一六五三
借用金証書 四年五月	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一	一通	二〇八三
借用金証書 明治一四年六月	千秋庄六郎	今尾村近藤喜三郎	明治一	一通	二〇八四
借用金証書 五年二月	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一	一通	一六五五
借用金証書 五年二月	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一	一通	二〇八六
借用金証書 五年	千秋庄六郎	杉野直次郎	明治一	二通	二〇八五
借用金証書 五年三月	千秋庄六郎	西脇岩次郎	明治一	一通	一六五六
借用金証書 五年四月	千秋庄六郎	安田半兵衛	明治一	一通	二〇八七
借用金証書 五年七月	千秋庄六郎	渋谷保之助	明治一	一通	二〇八八
借用金証書 五年七月	千秋庄六郎	西脇岩次郎	明治一	一通	二〇八九
借用金証書 明治一五年八月	千秋庄六郎	今尾村近藤喜三郎	明治一	一通	二〇九〇
借用金証書 明治一五年九月	千秋庄六郎	笠毛村傍島新之右衛門	明治一	一通	二〇九一
借用金証書 明治一七年金子受取之証共	千秋庄六郎	松山鉄一	明治一五・一七年	二通	二〇九二
差入申証券 明治一五年一月	千秋庄六郎	傍島俊三講御連中	明治一五年一月	美	飯一冊 一六九七
借用金証書 明治一五年一月	中村逸二・千秋庄六郎	大垣貝沼	明治一五年一月	一通	二〇九三
借用金請取方委任狀 明治一五年一月	中村逸三・千秋庄六郎	貝沼覺藏	明治一五年一月	一通	二〇九四
借用金証書 明治一六年一月	千秋庄六郎	林貞斎	明治一六年一月	一通	二〇九六
借用金証書 明治一六年一月	千秋庄六郎	三宅乾一	明治一六年一月	一通	二〇九七
借用金証券 明治一六年二月	飯木村近沢武策宛		明治一六年二月	一通	一六九七
借用金証書 明治一六年二月	千秋庄六郎	早野七郎治	明治一六年二月	一通	二〇九七
借用金証書 明治一六年二月	千秋安太郎	早野七郎治	明治一六年二月	一通	二〇九六
*貸金之内返金受取証 明治一六年八月	添書狀共	早野七郎次	明治一六年八月	三通	二〇九七
借用金証書 明治一六年二月	千秋庄六郎	村瀬淺之丞	明治一六年二月	一通	二〇九六
借用金証書 明治一六年三月	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一六年三月	一通	一六九六

借用金証書	善九郎返済金請取証文添	千秋庄六郎	大橋善九郎	明治一六年六月	千秋庄	三通	二〇五
借用証(金子)	千秋庄六郎	野口村内藤嘉市郎	明治一六年二月	一通	二七五		
借用金証書	元利返金差引書共	千秋庄六郎	早野七郎治	明治一七年八月	一通	二〇三	
借用金証書	安田九右衛門	明治一七年八月	一通	一六〇			
借用金証書	安田半兵衛	明治一七年八月	一通	一七〇			
借用金証書	千秋元次郎	明治一七年八月	一通	一七〇			
借用金証書	返済改添	千秋庄六郎	杉野直次郎	明治一七年八月	一通	一七三	
借用金証書	渋谷保之助	明治一七年一〇月・同二〇年一二月	二通	二〇五			
借用金証書	往復書簡共	千秋庄六郎	松山鉄一	明治一八年一月	二通	一三二	
借用金証書	飯木村村瀬淺之丞	明治一八年二月	一通	一九五			
借用金証書	大橋善九郎	明治一八年六月・一二月	六通	二〇一			
借用金調書上	千秋分	明治一八・一九年	一冊	二四六			
借用金証書	千秋元次郎	明治一八年八月	一通	二〇六			
借用金証書	中島文兵衛	明治一八年二月	一通	二〇三			

借用金証書 千秋庄六郎 村瀬徐重 明治一八 年一二月	二通	二〇四
借用金証書 千秋庄六郎 内藤源吾 明治一九 年二月	一通	一七三
借用金証書 千秋庄六郎 佐竹嘉七 明治一九 年八月	一通	一六三
借用金証書 千秋庄六郎 大橋善九郎 明治一 九年七月	一通	一九九
借用金書上 千秋分 明治一九年	一冊	二四五
借用金証書 三十日限 千秋庄六郎 大橋善九 郎 明治二〇年一月	一通	一九三
借用金証書 千秋庄六郎 渋谷保之助 明治二 〇年一月	一通	一九五
借用金証書 千秋庄六郎妻らく 不破郡垂井村 金岩弥一右衛門 明治二〇年一二月	一冊	一六三
借用金証書 千秋らく 早野七郎治 明治二一 年一二月	一通	二〇三
借用金証 千秋元次郎 川瀬善十郎 明治三〇年 四月	一通	八七九
*貸金返済請取証 川瀬善十郎 千秋あい 明治 三一年八月	一通	八八〇
借用金証券 千秋庄六郎・同十三郎 柏淵東・ 同需 明治三〇年一二月	一通	一七四
金子用達ニ付裏印証文預リ覚并書添共 戸倉 金之丞 服部笙峰 嘉永元年一二月	二通	二六五
借用金証文(涉川村地券証印税ニ差詰リ) 安田 半兵衛・千秋安太郎 樋口信七 明治一六年一月	一通	一七七

(地券書換証印稅預リ証文) 千秋安太郎 樋口信七 明治一七年一月		一通	二七六
預リ申御日折米之事 宇田村・志津村		二通	九三
田畑書入			
質地書入借用申金子之事 横折之覚 元治郎 須脇村助十郎 天保三年九月		二通	一九三
借用申金子証文之事 質物横折之覚共 服部元次郎 藤三郎 天保四年四月		二通	一九七
横折之覚 庄六 下高田源六 天保七年五月		一通	二〇四
横折之覚 庄六 高田町惣四郎 天保八年七月		一通	二〇三
田畑質物ニ書入借用申金子証文之事 庄六郎 高須吉田長右衛門 弘化三年二月		一通	二三四
*押越村質物書入借用申金子証文之事 横折之覚共 元次郎 柳講惣代相淵藤太夫・同友次 慶応元年二月		一冊	一五九
(借用証文調印ニ付頼一札) 元次郎 押越村樋口信七 慶応元年二月		一通	一五〇
地所書入借用金証書 千秋庄六郎 上之郷村川岸宗衛 明治一三年七月		一通	二三六
地所書入借用証書 千秋庄六郎 大垣共營社 明治一四年一〇月		一通	二三六
地所書入借用金証書 千秋庄六郎 明治一五年九月		一冊	八三
地所書入借用金証書 書入地近江国蒲生郡日野村井町 千秋庄六郎 明治一六年二月		一冊	八三
地所借用金証書 押越分 千秋庄六郎 押越村 渋谷保之助 明治一六年八月		一通	一九九
地価反別一筆限帳 千秋庄六郎 渋谷保之助 明治一六年八月		一冊	一九九
地所書入借用証書 押越村之内 千秋庄六郎 渋谷保之助 明治一九年一月		一通	一九〇
多芸郡押越村地内地価反別小每帳 千秋庄六郎 渋谷保之助 明治一九年一月		一冊	一九一
地所書入借金証書 千秋庄六郎 笠毛村傍島新之右衛門 明治一七年六月		一冊	八二
地所書入借用証書 千秋庄六郎 柏淵東・同祐次郎・早野七郎治 明治一八年六月		一冊	九〇
地所書入借用金証書 千秋庄六郎・三宅乾造 不破郡垂井金岩弥一右衛門 明治一八年七月		一冊	九〇
地所書入借用金証書 千秋元次郎妻あい 今須村柴山秀造 明治一八年一〇月		一冊	八三
地所書入借用金証書 千秋あい 柴山秀造 明治一八年一月		一通	三九
地所書入借用金一件 千秋庄六郎 渋谷保之助 明治二一・二七年		一冊	八三
1 地所書入借用金証券 明治二一年一月		一冊	八三
2 地所反別小每帳 明治二一年一月		一冊	八三
3 延期証 明治二三年一月		一通	八三
4 返金受取書 千秋庄六郎宛 明治二七年二月		一通	八三
地所書入借用金証書 千秋あい 中島文兵衛 明治二二年二月		一通	一三九
地所書入借用金証書 千秋元次郎 佐竹嘉七 明治二七年七月		一通	一三〇
○ 地所書入借用金返済方一件ニ付公証御差止願 押越村樋口子孝 本村戸長役場 明治一七年七月		一通	一七七

増抵当差入延期証 押越村 千秋庄六郎 洪谷保之助 明治一八年一月	一冊	一七四
地価反別小前帳 借用主千秋らく 金岩弥二右衛門 明治二〇年二月	一冊	二〇三
返金		
年賦金并利金請取証文 与八 服部庄六 戊辰(文化五年)二月	三通	二五七
利足金請取証文 高須吉田長助 服部笙峰 天保六年一〇月	一通	一九九
金子請取証文 日比七兵衛 服部笙峰 天保二年一二月	一通	二七九
取替金返済請取証文 増右衛門 庄六郎 安政六年五月	一通	二五〇
(質金仮請取証文) 元次郎 庄六郎 明治三年七月	一通	一四九
御取替金之内受取証 洪谷保之助 千秋庄六郎 明治一二年三月	一通	八九七
利金請取証他 大墳村西脇三郎次 千秋安太郎 明治一二年二月	四通	二五六
金子返納并受取証文 安田半兵衛 千秋庄六郎 明治二二一四年	五通	二九六
一ヶ年分利子請取書 村瀬浅之丞 千秋庄六郎 明治一九年一月	一通	一九三
貸附金元利請取書 佐竹嘉七 千秋あい 明治三一年八月	一通	二三七
利足金請取証文 梅屋新七 服部庄六 とら一〇月	一通	二七六
金子請取証文 中村久次郎他 服部庄六 亥五月	八通	二六四

貸金利足共請取証文 江州土橋口山本増右衛門 服部庄六 辰四月	一通	二四六
預々金元利返済受取証文 嘉兵衛 庄六 八月	一通	二六四
借用返済金請取証文 差引勘定覚共 吉田長右衛門 服部笙峰 未年極月	一通	二七七
口演(洪谷家御取替金受取二付添書状共) 川瀬半兵衛 千秋庄六郎 二月	二通	一六三
副証(借用金返済御猶予願) 千秋庄六郎 西脇岩次郎 明治一六年二月	一通	二三八
○		
預金証書 千秋庄六郎 津田政太郎 明治一四年一月	一通	一六五
連借名儀二付取極一札 千秋庄六郎 三宅乾造 明治一八年七月	一通	一六一
百廿九国立銀行宛		
借用金証書 抵当地安八郡室村之内 千秋庄六郎 明治一六年九月	一通	一四七
反別地価小前帳 千秋庄六郎・同元次郎 明治一六年九月	一冊	八三
借用金証書 千秋庄六郎 明治一六年一二月	一通	二四六
地価反別小前帳 千秋庄六郎・日比野廉平・早野七郎治 明治一六年一二月	一冊	八三
借用金証書 千秋安太郎 明治一七年五月	一通	二四九
地価反別小每帳 島田村之内 千秋安太郎 明治一七年五月	一冊	二六二
借用金約定書 千秋庄六郎 明治一七年九月	一冊	二四五
借用金副証書 千秋庄六郎 明治一七年九月	一通	一四四

借用金副証書	千秋庄六郎	明治一七年九月	一通	一六六
借用金証書	千秋庄六郎	明治一七年一二月	一通	一四六
地価反別小每帳	島田村分	千秋庄六郎	明治一七年一二月	半 一冊 一五八
借用金証券	明細帳共	千秋庄六郎	明治一八年三月	美 一冊 一五二
多芸郡押越村地所明治十七年度掟米勘定帳 大垣百二十九国立銀行控	明治一八年一月	横長半	一冊	二〇五
借用金証券	押越村之内	千秋庄六郎	明治一八・二〇年	二通 一四六
借用金証券	抵当地飯ノ木村内	千秋庄六郎	明治一八年一〇月	一通 一五〇
借用金証券	飯木村之内	千秋庄六郎	明治一八・一九年	三通 一四七
地価反別小每帳	飯木村分	千秋庄六郎	明治一八・一九年	半 四冊 一五二
増抵当証券	千秋庄六郎	明治一九年一月	一冊	一七五
副証書	千秋庄六郎	明治一九年四月	一通	一七〇三
借用金証券	千秋庄六郎	明治一九年七月	美 一冊	一五三
借用金証券	島田村之内	千秋庄六郎	明治一八・二〇年	四通 一四六
借用金証券	千秋庄六郎	明治一九年七月	一通	一三六
借用金証券	千秋庄六郎	明治一九年一〇月	美 一冊	一五三
借用金証券并約定書	千秋庄六郎	明治一九年一二月	二通	一五四
○				
借用金延期約定	千秋庄六郎	明治一七年二月	一通	一六五
借用金延期約定	千秋庄六郎	明治一七年一〇月	一通	一四三
借用金延期約定証	千秋庄六郎	明治一八年五月	一通	一四〇
(貸金返金期日通知状)	千秋庄六郎	明治一八・一九年	一通	一四三
借用金延期約定証	千秋庄六郎	明治一八・一九年	七通	一五九
借用金延期約定証	千秋庄六郎	明治一九年六月	一通	一三六
御貸付金利息払ヒ期限ニ付約定証	千秋庄六郎	明治一九・二〇年	二通	一四四
御貸付金利息払ヒ期限ニ付約言証	千秋庄六郎	明治一九年一二月	一通	一三三
借用金延期約定証	千秋庄六郎	明治二一・二三年一月	二通	一三五
地目変換取直シノ為地券借用証	千秋庄六郎	明治二〇年一二月	一通	一六〇
明細帳(地価反別)	千秋庄六郎	明治一八・一九年	三冊	一八一
公証借用金抵当消印之上御返却請取証	千秋庄六郎	明治一九年八月	一通	一六三
借用金一部返金ニ付地所移筆地券受取証	千秋庄六郎	明治二一年四月	半 一冊	一三四
貸金利息請取証	千秋庄六郎宛	明治二三年三月	一通	一三五

押越村抵当地二筆返却願并釈放約諾証	千秋庄六郎	明治二〇年五月	二通	一四四	
(抵当地二筆釈放約諾証)	千秋庄六郎宛	明治二〇年七月	一通	一四六	
借用金返済ニ付地券証受取証文	千秋庄六郎	明治二〇年二月	仮三冊	九〇五	
(貸金利息請取証)	千秋庄六郎宛	明治一八、二二年	一綴	一四二	
(荒地年季明ニ付年季継借用願)	千秋康夫	明治二〇年八月	一通	一四五	
貯蔵預金通帳	預ケ人千秋庄六郎	明治一六年	一冊	三二〇	
七十六国立銀行宛					
地所書入借用金証書	地価反別小毎帳共	千秋庄六郎	明治一四年五月	一冊	二二七
副証(金子借用ニ付)	千秋庄六郎	明治一四年二月	一通	一六六	
借用金之証券	千秋庄六郎	明治一五年四月	一通	一六四	
地価段別小前帳	押越村分	樋口信七	明治一六年四月	一冊	二五八
川添昌三借用金返済方ニ付督促状	千秋庄六郎宛	明治一七年八月	一通	一六九	
濃陽会社宛					
借用金証券并副証	千秋庄六郎	明治一四年八月	二通	一六七	
借用金証券	千秋庄六郎	明治一四年一〇月	一通	二三三	
借用金証券	千秋庄六郎	明治一五年二月	一通	一六六	
借用金証券	千秋庄六郎	明治一五年四月	一通	三〇四	
借用金証券	中村逸二・千秋庄六郎	明治一五年四月	四通	九三	
借用金証券	千秋庄六郎	明治一五年七月	一通	一六五	
預リ金証券	濃陽会社三宅乾造	千秋庄六郎	二通	二五三	
貸附金元利差引明細書	千秋庄六郎宛	未(明治一六年)九月	一通	八九三	
借用金証書	千秋庄六郎	明治一八年三月	一通	一六七	
融通金之儀ニ付書状	千秋庄六郎宛	明治一八年四月	三通	二九二	
連借金返済方ニ付約定証	扣共	千秋庄六郎	仮二冊	九二	
旧濃陽会社貸金請求ニ付内済金集方願	山田清記	千秋庄六郎	明治二〇年四月	二通	二六三
○					
繁次方難渋附取替金子等及勘弁仕方覚	文化	一〇年	一冊	二九五	
諸負債并諸払・押越荒地書上	明治一九年	横長美	一冊	八五四	
勘定済金子書上	明治	横長美	一冊	八四九	
樋口信七所有地高須銀行へ抵当地之分小毎書	半		一冊	八四四	
御引合地所之儀ニ付調方覚	宇野彦太	八月	一通	二四六	
壹分銀引替願	むめや	服部	一通	二四九	
為換金受取証	添状共	栗原村臼井範司	三通	三五四	

講

頼母子講

頼母子講

講金八ヶ年賦借用証文 子連中 享保一三年三月	上高田村五百吉 頼母	一通	三三三
涅槃講帳 円融山本立院 寛延三年正月		一通	三三六
道察頼母子講落金ニ付為替實地書入証文 田村孫三郎 庄六 享和元年二月	沢	一通	三三五
相統講御通 講本七太夫 服部庄六 文化一一年一月		一通	一六九三
春秋講加入金請取証文 いへ 文政九年九月 才藏・藤左衛門 西尾		二通	三二九
借用并頂戴金おほへ 衆中 申(文政七年カ)一〇月 山口立篤 服部御支配人		二通	三三五
御取かへ金請取証文 七年二月 新七 本立院 甲(文政		一通	三三四
領左衛門頼母子講金御掛捨ニ付受納覚 人兵八・市左衛門 服部庄六 文政一二年四月 世話		一通	三三三
頼母子掛金受納覚 申(文政七年)七月 伊兵衛・次兵衛 服部笙峰		一通	三三三
拾四番講掛銀受取通 天保七年六月 講元林右衛門 服部庄六		三通	三三五
舌代(講会御加入礼状) 庄六 天保一三年七月 橋爪村惣五郎世話方中		一通	三七八

凌雲社五ヶ年収支書上(嘉永四、安政三年) 安 政三年九月 凌雲社 服部		一通	一七一
五番勘定帳 温故社 万延元年四月	横長美	一冊	三三九
金子取替証文 住吉講掛金ニ而返済 所 中島すゑ 慶応二年七月 永丘寺納		一通	三六六
卯年献金請取証文 洪谷安左衛門 卯(慶応三年)五月 千秋庄六郎		一通	一八九
*江月村江料代滞金皆済ニ付頼母子講金請取証 文 江月村兵衛 千秋庄六郎 明治二年六月		一通	一四四
地所売渡証書 字轟講口書入分 十六村坂井仲 右衛門 佐藤七郎次 明治一三年一月		一通	二四四
請取金証書 坂井仲右衛門貸金分 栗原村水野常 右衛門 佐藤七郎次 明治一三年一月		一通	二四五
字轟講書入地所売渡代金請取証 栗田忠兵衛 千秋庄六郎 明治一三年二月		一通	二四八
頼母子講落金積立別法帳 千秋庄六郎 明治一 六年八月 横長美		一冊	三三八
字茶園講売却ニ付約定証 柏淵静夫 千秋庄六 郎・柏淵東 明治二二年一月		一通	二四〇
第二号北辰社所有地差引記 會計掛 明治二六 年二月 半		一冊	三〇六
千人講登山ニ付入用記 明治三〇年旧七月		一通	一七〇
演劇場新築講金借用証 洪谷佐次郎 千秋十三 郎 明治三一年二月		一通	二五三
頼母子覚帳 庄や飯木村久蔵	横半半	一冊	三七七
頼母子講開講通知状 一四・一八・一九会目 小川重助講會計人 千秋庄六郎		四通	二六四
洛陽寄講中御門建立寄進請取状 洛陽寄講 高田きな 未四月八日		一通	三三三

掛金請取通 發起人柏淵泰三郎 千秋庄六郎 明治一五年八月	橫半半	一冊	三六
講金受取通 發起人吉田太六 千秋庄六郎 明治一五年九月	橫半半	一冊	三三
年ニ兩度六ヶ年済成崩金子借用申証文之事 半兵衛 市作講帳元 明治三年七月		一通	一六四
川添新四郎講并棚橋玄龍講掛込金皆済ニ付名義御改証券 押越村樋口信七 千秋庄六郎 明治二六年二月		一通	二六三
川添進四郎講落金殘額渡方証 杉野直次郎 千秋庄六郎 明治二五年一〇月		一通	二六四
渋谷市次郎發起米講落金半口分請取証文 千秋庄六郎 柏淵祐次郎 明治一六年二月		一通	二六六
渋谷市次郎發起米講落口利掛金半口済方ニ付請取返納証 柏淵祐次郎後任杉江万吉 千秋庄六郎 明治二四年一月		一通	二六九
棚橋玄龍講名義渋谷次郎・土屋礼四郎へ讓渡ニ付訂正願 千秋庄六郎 柏淵東 明治一七年九月		一通	二六三
講金借用証書 中島文兵衛 北島嘉吉 明治一八年二月	美	一冊	二四三
柏淵友次郎發起講落金ニ付抵当差入委任証并約定証 樋口善兵衛 千秋庄六郎 明治一八年二月		二通	二五三
地所書入講金借用証書 千秋元次郎 千秋庄六郎 明治一八年二月	美	一冊	一五七
讓渡証(服部伊兵衛發起講) 中島重吉 千秋庄六郎 明治二〇年九月		一通	三七
借用金月賦請取通 小野芦右衛門 千秋庄六郎 明治二二年	橫半半	一冊	四〇七

米講落口金相当金拝借御札書狀 杉江万吉 千秋庄六郎 明治三〇年十一月
 嘉吉番札之儀ニ付頼狀 笹屋直次郎 千秋庄六郎 正月
 一通 一六六

仲間地講

*讓渡申田地証文之事 仲間地惣代筆峰 凌雲社
 御連中 安政四年三月
 一通 二五四

横折之覺 仲間地惣代筆峰 凌雲社御連中 安政四年三月
 一通 二五五

取替金預金雜記 附録 明治一一一五年
 一冊 四四五

取替金之記 明治一六年三月
 一冊 四〇六

開運講

開運講社通 養老開運講 大垣竹島町山田庄兵衛 明治一六一八年
 一冊 二四三

為取換約定書 高野半四郎・千秋庄六郎 貝沼氏 明治一六年五月
 半 一冊 二五三

開運講月掛出金出納記 會計掛 明治二八年
 半 一冊 三七

開運講月掛出納帳 明治二八一四〇年
 橫長美 一冊 三六

開運月掛講皆納ニ付授与之御札 国枝宇左衛門宛 明治三五年
 一通 二六六

妙見山開運講加入人名 尾張國中島郡奥町講中
 橫長美 一冊 八五〇

開運講加入者記 尾張千人講先達大井正治 妙見山會計千秋庄六郎 明治三〇年一〇月
 一綴 一七〇

開運講加入者尾張乾組之内講金納書上 大井正治 妙見山會計千秋庄六郎 明治三一年二月
 一綴 一七〇

開運講月掛通帳 守島權四宛
 16x11 一冊 二四六

開運講社通	三宅乾造宛	三冊	二四三
開運講通帳	規約共 掛金受取所三宅乾造・發起人千秋庄六郎	刊一冊	三六八
*妙見講社会計宛万代金請取綴	明治一五・一六年	一綴	三六三
御録神社 寄附金名簿	養老公園御嶽講社 明治一五年二月	一冊	四三三
借用金証書	養老公園温泉講御掛捨殘金 伊藤松四郎 千秋庄六郎・元次郎 明治一八年一二月	一通	二四二
下高田江取かへ内預リ金請取覚	太々講帳方庄三郎 安政六年九月	一通	二五二
田德米并未進金取立分共請取覚	太々講連中千秋 文久二年二月	一通	二五三
五穀成就・講中各家内安全祈禱ニ付御神樂奉奏	太々講中 文久二年三月	一通	二六三
*村方自普請取替金請取覚	太々講連中 御金方千秋笙峰 文久二年九月	一通	二五三
太々講より押越村地面書入借用証書	元次郎・助次郎 千秋庄六郎 万延二年三月	一通	三三三
太々講出入帳ニ記替被下覚并助成金仕訳覚	元治元年二月	一通	三三八
助成御増金請取一札	元次郎 千秋庄六郎・梅元治元年一月	一通	三三七
押越村地所ニ付助成金請取一札	元次郎 千秋庄六郎 元治元年一月	一通	三六六
太々講遺金書上一札	太々講中 千秋庄六郎 卯(慶応三年)二・三月	一通	二九〇
五ヶ年賦借用申金子之事	安兵衛後家 柏淵友次取次 慶応二年九月	一通	二四六
十ヶ年賦借用申金子証文之事	仙五郎 講元柏淵藤太夫・同友治 慶応二年九月	一通	二四七
借用申金子証文之事	藤八 柏淵藤太夫・同友治 慶応三年三月	一通	二四八
横折之覚	甚七 太々講御連中 慶応四年三月	一冊	二四九
質物書入借用申金子証文之事	与七 祐次郎・庄六郎取次 明治三年九月	一通	二五〇
借用申金子証文之事	七太夫 太々講中御惣代 柏淵祐次郎・千秋庄六郎 明治三年九月	一通	二五二
寅卯施粥入用勘定帳	温故社・代々講 慶応三年八月	一冊	二二〇
○櫛社			
櫛社掟帳	千秋扣 明治二年九月	一冊	三〇四
櫛社掟帳	千秋扣 明治八年十一月	一冊	三〇五
明治六年分櫛社帳入記覚	柏淵拙藏 千秋庄六郎 明治七年九月	一通	二九六
商法元手金ニ差結び借用金証文	栗田加作 柏淵祐治郎・千秋庄六郎 明治七年六月	一通	二九五
櫛社講出金通知書	柏淵祐次郎 明治九年一月	四通	三三三
田畑壳渡証券	土屋礼四郎・同松五郎 千秋庄六郎・柏淵友次 早野七郎治 明治一〇年三月	一通	二九二
田畑壳渡証券	土屋礼四郎・同松五郎 千秋庄六郎・柏淵友治 早野七郎治 明治一一年五月	一冊	二九三
宅地壳渡証券	栗田嘉三郎 千秋庄六郎・柏淵友次 早野七郎次	一冊	二九三

宅地売渡証券	栗田嘉作	明治一二年六月	半	一冊	二五九
榊社連中元利金請取証	榊社連中	明治一六年		一通	二五八
榊社借用金記	明治一八・一九年		半	一冊	三三四
榊社・温古社献立記(無尽講料理)	明治二六年		横美半	一冊	四〇九
榊講社所有地元帳	千秋十三郎扣	明治三十一年	美	一冊	二六
○御旅講					
御請申御旅所地質之事写	愛宕御旅所建立ニ付			一通	三七六
御旅講中惣代次郎太夫他	庄六	宝曆一二年			
七月					
借請申御旅所地面之事	扣共	東町惣代次郎吉		二通	三七九
庄六郎	天保一一年五月				

家計

家計

金銭出入帳	安永四年一月	横半半	一冊	三三		
金子出納簿	服部庄六郎	文政四一〇年	美	一冊	八二	
量入為出記	服部	文化三	天保三年	横長美	一冊	四二
年々勘定	高田町庄六	文政五年正月	美大	一冊	七九	
大吉万福帳	天保二年	横長半	一冊	四二		
渋谷金子出入覚	天保二一五年	横長美	一冊	二六三		
調もの品数覚并金銀出納帳	天保五五年正月	美	一冊	八〇		
大吉万福帳	高田服部庄六	天保五五年正月	美	一冊	八〇	

御預リ米之覚	大黒屋平兵衛	服部元治郎	嘉永元年二月	一通	二四九三
金銀札錢取替帳	嘉永二年	横長半	一冊	四〇〇	
金子覚	千秋梅	嘉永七年八月	横半半	一冊	四〇九
万福録	三番	千秋庄六郎	明治三年六月	一冊	三〇〇
万福録	五番	千秋庄六郎	明治一四年一月	一冊	三三二
米金量入	明治七年八月	横美半	一冊	七七三	
會計簿	千秋元次郎	明治一二年一月	横美半	一冊	七七一
大福帳	千秋十三郎	明治一三年一月	横長美	一冊	四三三
金銭出入帳	千秋喜四郎分千秋榮引請	明治一六年二月	横長半	一冊	三三五
金銭出入帳	島田村千秋すゑ	明治一八年九月	横半半	一冊	三七五
万覚帳(出納日記)	千秋重三郎	明治二九年九月	横長半	一冊	三四五
万覚帳	千秋十三郎	明治三〇年三月	横長半	一冊	三四六
万覚帳	千秋十三郎	明治三一年一月	横長半	一冊	三五三
支払簿	千秋元次郎	明治三三、四三年	横半半	一冊	三六九
勘定帳	千秋十三郎	明治四三年一月	横長半	一冊	三五四
*金銭判取帳	千秋あゐ	明治四三、四四年	横半半	一冊	三七六
金銭勘定帳	千秋十三郎	明治四四、大正四年	横長美	一冊	三七七
諸支払帳	千秋かう	明治四四、大正一〇年	横長半	一冊	三四三
大福帳	附蔵米仕訳表	千秋十三郎	大正一二年一〇月	一冊	四三三
大福帳	千秋十三郎	大正一三年一〇月	半	一冊	四四四
大福帳	千秋十三郎	大正一四年一〇月	半	一冊	四四五

出入おぼえ	横半半	一冊	八三三	御通 高田町大黒屋(佐竹)重兵衛 千秋元治郎 明治四三・四四年	横半半	一冊	四〇三
周藏様分金子小前差引覚 平助 智男 申七月		一通	二四二	味喰・溜・塩・炭通 塩作商店 千秋愛 明治 四三年三月	横半半	一冊	四〇三
買物帳				買物帳 千秋あゐ 明治四三・四四年	横半半	一冊	四〇四
金子預ヶ証文 名古屋代内海屋与兵衛 高田 早野七太夫 文政七年六月		一通	二四三	(諸買物受取綴) 千秋あゐ宛 明治四四年	横半半	一綴	二六三
別過徳日家栄(下直物買入覚) 千秋堂服部庄六 郎 天保二・五年	横半半	一冊	三六六	(諸請取綴) 千秋かう宛 明治四四年	横半半	一綴	二六四
御染物御通 大黒屋五左衛門 服部元治郎 天保 四年正月	横半半	一冊	三六三	現金酒御通 酒家彦右衛門 本立院御内所 丑 年	横半半	一冊	三六七
預り金証文 京室町二条下ル京都播磨屋理助 服 部庄六郎 天保五年五月		一通	一九八	諸買物通覚 大垣中町かぢや七兵衛 服部笙峰 寅極月	横長美	一冊	八四七
買物代金受取覚 服部笙峰宛 天保九年閏四月		一綴	二五五	おまつ呉服・着物書上帳 明治二五年	横長美	一冊	八四八
播磨屋利助諸勘定書 利助 服部 嘉永七年五 月		二通	一九九	金子請取并差引勘定覚 丹波屋半兵衛 服部笙 峰 未六月・申一二月		六通	二六九
高田村御店屋様御下用帳 利屋佐右衛門 安政 二年七・一二月	横長半	一冊	二五四	ふき板四十束受取状 添状共 庄六 七郎兵衛 二月二三日		二通	二六七
御内心様入用金請求并請取証文 益次郎 庄三 郎 安政六年一二月		二通	二五〇	○茶 ↓茶道			
箱桃灯紋寸法書上 千秋棟参 文久元年四月		二通	二五五	御茶之通 美濃部店 養春堂 慶応二年	横美半	一冊	八四九
*買物帳 中組土屋篤四郎・千秋元次郎 明治五年 二月	横半半	一冊	三七四	御茶之通 美濃部店 千秋助次郎 慶応三年	横美半	一冊	八五〇
買物帳 巻号 千秋元次郎 明治三〇年九月	横半半	一冊	三七三	御茶之通 降福堂店 養春堂御店 慶応三年	横美半	一冊	八五〇
買物帳 式号 千秋元次郎 明治三〇年九月	横半半	一冊	三七二	御通 美の部 千秋助次郎 明治元年	横美半	一冊	八五〇
万御通 中野屋長治 千秋元治郎 戊(明治四三) 年	横半半	一冊	三七二	紙屋喜重郎方奉公人利八不奉公詫方一札 利 八 庄六・平兵衛 宝曆一三年正月		一通	一九〇

奉公人請狀之事 雛形共 明徳村しづ母 高田庄六 明和三年八月

四通 二四〇〇

おやく奉公暇出ニ付引請一札 名古屋与兵衛くま・八太夫 文政六年二月

一通 二六三

奉公人給金請通一札 大跡村源助 千穉 明治四年二月

一通 二八四

奉公人書上覚并人別調

一綴 一六六

○奉公人忠吉一件

居宅被下置候ニ付請取一札 忠吉 庄六 文政二年三月

一通 三二〇

難渋ニ付被下金受取証文 忠吉 庄六 文政六年七月

一通 三二二

年賦証文之事 忠吉 庄六 文政六年七月

一通 三二三

御門家御取立ニ付誓詞一札 下書共 忠吉 庄六 文政六年

二通 三二三

○雇人足

雇人記 千秋藍 明治四二年九月

横半半

一冊 九六

*耕作手間人足書上 千秋宛 七月

二通 二六五

小使人足賃錢書上覚 大垣中町鍛冶屋七兵衛服部笙峰 辰極月

横長半

一冊 九四

吉 凶

慶事

出産

竹輔誕生祝儀帳 安永六年正月

横長美

一冊 六三

政輔誕生祝儀帳 安永一〇年正月

横長美

一冊 六三

亮一出産祝儀帳 寛政一〇年九月

横長美

一冊 六四

賢次郎誕生祝儀覚帳 寛政一二年二月

横長美

一冊 六五

賢次郎誕生祝儀帳 寛政一二年二月

横長美

一冊 六六

直次郎誕生襖詣 服部元次郎 文化一二年一月

横長美

一冊 六三

直次郎誕生襖詣 文化一二年一月

横長美

一冊 六三

お秋出産祝義帳 文化一四年七月

横長半

一冊 六四

於愛出産諸色帳 天保一三年九月

横長半

一冊 六六

於愛庖瘡見廻覚 天保一四年正月

横長半

一冊 六五

十次郎出産諸事祝儀帳 千秋氏 安政六年四月

横長美

一冊 六三

おふみ出産諸事祝義帳	千秋氏	文久二年正月	横長半	一冊	六六	美之婚礼儀別帳	安永五年二月	横長美	一冊	六二		
喜四郎祝義諸事覚帳	元治元年八月	横長半	一冊	六七	○みち	よろつ覚(元治郎おみちへ呉服買物帳)(文化一年)	横長美	一冊	七元			
敬五郎祝義諸事覚帳	慶応四年三月	横長半	一冊	六八	祝儀并部屋見廻帳	服部元次郎	文化二年一月	横長半	一冊	六七		
おまつ出産諸事祝義覚	明治四年六月	横長美	一冊	七一	祝儀并部屋見廻扣帳	服部元次郎(文化二年一月)	横長半	一冊	六四			
千秋庄六郎棟載六男千秋良吉出産諸事祝義帳	明治八年五月	横長半	一冊	七三	婚礼呼衆帳	服部元次郎(文化二年一月)	横長半	一冊	六四			
お寿栄出産諸事祝義帳	明治一二年二月	横長半	一冊	七五	祝儀入来之人扣(服部元次郎)(文化二年一月)	横長半	一冊	六五				
千秋波満出産諸事祝義覚	明治三六年一月	横長半	一冊	七六	慶事雜費覚帳	服部元次郎	文化二年一月	横長美	一冊	六五		
千秋くに出産諸事祝儀記	明治四〇年三月	横長半	一冊	七七	祝盃之次第	十一月一四日	祝儀献立	十一月一四日	○うめ	一通	七三	
千秋かう出産諸事記	明治四二年八月	横長半	一冊	七八	慶事一式扣帳	服部元次郎	天保二年正月	横長半	一冊	六五		
千秋みち出産要記	大正元年八月	横長半	一冊	七九	慶事一式当座書	天保二年正月	おうめ慶事ニ付くばりもの覚	服部笙峰	天保二年正月	横長半	一冊	六六
○	婚礼				おうめ祝儀受納帳	服部笙峰	天保二年三月	(婚礼)御献立	天保二年三月	○	一通	六八
手鏡帳	享保一四年一月	横長美	一冊	三六	於秋着物入所覚	嘉永元年五月	婚礼祝儀帳	附雜記(庄六郎棟載)	安政二年一月	横長半	一冊	六二
祝言始終儀式覚	服部庄六棟並	宝曆四年二月	横長半	一冊	七三	○						
婚礼一式控	服部竹治	宝曆四年二月	横長半	二冊	六三							
婚礼呼衆覚	服部庄六	宝曆五年一月	横長半	一冊	三七							
結納饗忘料理献立	喜多尾性	丙申(安永五年)正月	横長美	一通	二六六							
喜多尾結納披露呼衆	安永五年三月	横長美	一冊	六九								
○												
美之婚礼呼衆帳	南側之部	安永五年四月	横長美	一冊	六九							
美之婚礼呼衆帳	北側之部	安永五年四月	横長美	一冊	六四							

○あい

(おあい賀養子一件諸色留) 安政七年二月 横長半 一冊 六三
慶事祝儀留帳 安政七年二月 横長半 一冊 六四
お藍婿慶事記 安政七年二月 横長半 一冊 六五

○ふみ

千秋庄六郎長女おふみしうき覚帳 明治一四年二月 横長半 一冊 六六
千秋庄六郎長女再縁おふみしうき覚帳 明治一六年二月 横長半 一冊 六一

○まつ

千秋庄六郎次女おまつ祝儀覚帳 明治二〇年一月 横長半 一冊 六四
おまつ縁談入用書記 明治二〇年一月 横長半 一冊 六三
名古屋買物諸記 千秋庄六郎扣 明治二〇年一月 横長半 一冊 六二
千秋庄六郎次女おまつ拵之覚 明治二〇年一月 横長半 一冊 六一

○すゑ

千秋庄六郎三女おすゑしうき覚帳 明治三四年二月 横長半 一冊 六六
おすゑ慶事雜記 (明治三四年二月) 横長半 一冊 六六
千秋すゑ子嫁入ニ付およろこび献歌 あゐ子 (明治三四年二月) 横長半 一通 六六
婿土産目録 (明治三四年二月) 横長半 一通 六六
出入方并家内下男・下女へ (婚禮土産目録) (明治三四年二月) 横長半 一通 六六

○十三郎

千秋十三郎結婚披露記 明治三五年九月 横長美 一冊 六七
御打会覚書 (明治三五年) 横長美 一冊 六九
婚禮雜記 (明治三五年)九月二四日 横長美 一通 六九
九月廿四日祝義献立 (明治三五年) 横長美 一通 六九
(祝儀呼衆并献立記) (明治三五年)九月 横長美 一冊 八五
慶事贈答記 千秋十三郎 明治四三年 (はま嫁入一件留) 大正一二年一〇月 横長半 一綴 七二
藤川へ新客二付御献立 天保一三年六月 横長美 一通 七九
慶事献立記 明治三九年六月 横長美 一冊 六六
結納目録 横長美 三通 六三
婚禮次第書并客人書上 横長美 一綴 六三
祝儀引出物帳 横長美 二冊 六五
祝盆献立覚 横長美 一通 六九
(祝儀) 献立 横長美 一通 六九
祝儀御献立 横長美 一通 六九
婚禮献立 横長美 一通 六九
祝儀到来物書上 横長美 一通 六九
諸買物覚 横長美 一通 六九
納幣饗膳献立 千秋らく 横長美 一通 六九

○養子

千秋庄六郎棟載次男十三郎棟重縁談一件諸記
明治四年二月

横長美

一冊

六六

十三郎棟重衣類其外拵覚 明治四年二月

横長美

一冊

六六

孝三郎養子新客諸事手留帳 嘉永四年二月

横長美

一冊

七五

重次郎養子縁組ニ付来状 美濃部太三郎 千秋九月

横長美

一通

一七三

名古屋服部氏御見舞家並覚帳

横長美

一冊

七四三

(御見舞家並覚帳) 名古屋客之節

横長美

一冊

七四三

(御見舞家並覚帳)

横長美

一冊

七四四

源三郎駕入祝儀呼衆書上 二月二八日

横長美

一冊

八五六

他家

柏淵氏浦女婚礼之節記録写 天保一四年二月

横長美

一冊

六〇〇

日比野平太夫嫡子貞太郎出産諸事祝義覚 慶応四年正月

横長美

一冊

六九

傍島新之右衛門嫡子磐太郎出産諸事祝義覚 明治二年二月

横長美

一冊

六七〇

河合頼成長女多禰出産諸事祝義覚 明治一八年六月

横長美

一冊

六七四

関戸藤右衛門長男経匡出産諸事祝義覚 明治二年二月

横長美

一冊

六五

西脇哲次迎妻結納目録扣

横長美

一通

一七九

日比郡右衛門重信婚礼御祝儀書状 服部政助 九月二十九日

横長美

一通

二七五

節句

五月初節句祝義帳 服部直次郎 文化一三〇文政四年

横長美

一冊

七三〇

五月初節句祝義帳 内見扣 服部直次郎 文化一三年

横長美

一冊

七三六

五月節句諸色帳 文化一三年

横長美

一冊

七三三

五月初節句祝義帳 内見扣 服部直次郎 文化一三〇文政一〇年

横長美

一冊

七三一

三月之初節句祝帳 服部お秋 文化一五年

横長美

一冊

七三三

三月節句諸雜記 文政一一年

横長美

一冊

七四四

雛かざり絵図 文政一一年

横長美

一枚

七三五

仏事

葬礼・年忌

○安樂院

安樂院百五十廻忌取越覚 文化二年二月

横長美

一冊

六二二

○道意

道意様百回忌覚 寛政二年正月

横長美

一冊

六〇一

○蓮乗院

葬礼役附覚 蓮乗院順日理 享保二年正月

横長美

一通

三二〇

信解院妙持靈尼御吊帳 元文五年七月

横長美

一冊

五六〇

○妙(妙)喜

御吊帳 寛保三年一月	横長半	一冊	五三	妙田五七日呼衆配りもの 寛延四年六月	横長半	一冊	七三
妙喜様葬礼役付 寛保三年一月	横長半	一通	二八三	妙田一周忌取越 宝曆二年二月	横長半	一冊	七三
妙喜尼公靈前追悼 杉基飯厚 癸亥冬(寛保三年一月)	横長半	一通	二七〇三	妙田三回忌取越 宝曆三年二月	横長半	一冊	七四
くま追善文 松野花三 寛保三年一月	横長半	一通	二七〇四	妙田七回忌法事取越 宝曆七年二月	横長半	一冊	七五
よひ衆乃おほへ 忌中見廻付 寛保三年一月	横長半	一冊	五二	妙田十三回忌法事取越 宝曆一三年三月	横長半	一冊	七六
釈妙喜五七日呼衆配物帳 寛保三年二月	横長半	一冊	五三	妙田十七回忌法事諸事覚 明和四年二月	横長半	一冊	七七
忌中見廻帳 寛保三年二月	横長半	一冊	五四	妙田廿五回忌御非明并配物覚 (安永四年)	横長半	一冊	二六八
妙喜三回忌法事覚(配物帳) 延享二年一月	横長半	一冊	五五	妙田五十年回忌呼衆 寛政一二年閏四月	横長半	一冊	七八
妙喜七回忌法事取越呼衆覚 寛延二年一月	横長半	一冊	五六	○花月院			
妙喜十三回忌法事覚 宝曆五年一月	横長半	一冊	五三	花月院智観日詠死去御吊帳 明和五年七月	横長半	一冊	七九
妙喜十七回忌志覚 宝曆九年九月	横長半	一冊	五四	花月院葬礼役付 (明和五年七月)	横長半	一通	三三一
妙喜廿三回志引上ケ相勤申候覚 明和二年一月	横長半	一冊	五三	花月院死去御寺方并御取持衆下働人足請払方 明和五年七月	横長半	一冊	五九
妙喜三十七回忌法事覚帳 安永八年二月	横長半	一冊	五〇	葬後齊人数 明和五年七月	横長半	一冊	五九
妙喜五十回忌取越 寛政四年二月	横長半	一冊	五三	忌中御見舞 花月院智観日詠信女 明和五年七月	横長半	一冊	五〇
妙喜志配物 (寛政四年カ)	横長半	一冊	五三	花月院五七日呼衆配りもの覚 明和五年八月	横長半	一冊	五一
○妙 円				花月院百ヶ日法事覚 明和五年一〇月	横長半	一冊	五二
妙田死去覚帳 (寛延四年五月)	横長半	一冊	七〇	花月院一周忌法事 明和六年七月	横長半	一冊	五三
妙田様葬礼役付 服部庄六 寛延四年五月	横長半	一通	三三七	花月院三回忌法事 明和七年七月	横長半	一冊	五七
(妙円) 五月十日齊人数 寛延四年五月	横長半	一冊	七二	花月院七回忌取越 安永三年二月	横長半	一冊	五七
妙田御吊牒 寛延四年五月	横長半	一冊	七九	花月院十七回忌供養帳 天明四年二月	横長半	一冊	五五
中陰見舞覚 寛延四年五月	横長半	一冊	五七	花月院廿七回忌取越 寛政六年二月	横長半	一冊	五六
				花月院三十七回忌取越覚 文化元年四月	横長半	一冊	五七

花月院五十回忌法事	文化一四年四月	横長半	一冊	五八	智靜死去御吊帳	天明元年二月	横長半	一冊	五五
○					智靜死去忌中見舞帳	天明元年二月	横長半	一冊	五六
利山院良貞日正御暇香奠忌中御見舞覺	明和二年五月	横長美	一冊	五九	智靜五七日法事呼衆帳	天明二年正月	横長半	一冊	五九
利山院良貞五十廻忌諸事	文化一一年四月	横長美	一冊	六三	智靜五七日配物帳	天明二年正月	横長半	一冊	五八
○本立院					智靜一周忌報謝	(天明二年二月)		一通	二四六
本立院日秀聖人遷化呼衆帳	明和五年八月	横長美	一冊	五六	智靜十三回忌報謝飾配并取越覺寬	丑(寛政五年)四月	横長半	一冊	七一
本立院日秀聖人遷化役付	明和五年八月	横長美	一通	五二	○惠觀				
葬式役附	本立院 文政一二年二月	横長美	一冊	六三	御吊帳	天明二年一〇月	横長半	一冊	五〇
○材光院					忌中見舞帳	天明二年一〇月	横長半	一冊	五一
材光院染勝禪棟居士香奠帳	俗名西尾三左衛門 安永七年四月	横長半	一冊	五三	十月十八日齊人数	天明二年一〇月	横長半	一冊	五二
材光院葬後呼衆帳	安永七年	横長半	一冊	五四	惠觀死去諸松下書	天明二年一〇月	横長半	一冊	五三
○妙觀					(天明二年一〇月)	買物之払は買物帳に記有	横長半	一冊	五五
(法成院)妙觀五七日配物			一通	七二八	惠觀一周忌供養諸色帳	天明三年一〇月	横長半	一冊	五三
(妙觀)五七日志他所配物			一通	七二九	惠觀三回忌供養帳	天明四年二月	横長半	一冊	五四
○					○宗英				
吊辭(服部周藏死去二付)	柏淵貳憲		一通	二六三	五月廿五日葬後齊人数	勇善宗英童子 天明四年五月	横長半	一冊	五六
○					御吊并忌中御見舞覺	俗名竹助 天明四年五月	横長半	一冊	五五
月次仏事供養式	服部庄六益之	横長半	一冊	七四九	勇善宗英童子死去諸事覺帳	天明四年六月	横長半	一冊	五七
○智靜					宗英六月廿六日配物	五七日配物 天明四年六月	横長半	一冊	五八
智靜死去執行覺帳	益之娘すよ	横長美	一冊	五七	宗英童子一周忌	天明五年五月	横長半	一冊	五九
					宗英童子七回忌	法事執行 寛政二年三月	横長半	一冊	六〇

宗英廿七回忌取越	文化七年正月	横長美	一冊	六〇〇	葬後呼衆并諸事覚帳	如幻童子共	文化四年四月	横長美	一冊	六二五
○					○自性院					
信順一周忌志小作中并借家配物帳	寛政四年四月	横長半	一冊	六〇三	自性院香奠并忌中御見廻留帳	土屋八十郎	文化五年一〇月	横長美	一冊	六〇六
○					自性院不幸之節店并横町中其外手傳之遺遺物記	文化五年一〇月	横長半	一冊	六〇九	
葬礼記	妙法順宗慧孩子 俗名亮一 寛政一〇年一〇月	横長半	一冊	六〇三	自性院葬礼後呼衆留帳	文化五年一〇月	横長美	一冊	六〇七	
○					自性院不幸之節報謝餅配帳	文化五年一〇月	横長半	一冊	六〇八	
宗惠十三回忌	文化七年一〇月	横長美	一冊	六〇三	○					
○					葆光院葬後呼衆留帳	俗名民藏	文化一四年八月	横長半	一冊	六〇三
香奠忌中見舞帳	本光院觀月禪桂居士 俗名西尾藤次郎 寛政一一年正月	横長半	一冊	六〇四	妙欣尼吊衆香奠忌中見舞留帳	文政四年七月	横長半	一冊	六〇四	
○					釈尼妙欣葬後呼衆留帳	俗名逸	文政四年七月	横長半	一冊	六〇五
禪桂居士葬後呼衆帳	初七日・尽七日呼衆共 寛政一二年正月	横長半	一冊	六〇五	信恭吊衆香奠忌中見廻留帳	文政六年六月	横長美	一冊	六〇六	
○					天然妙相大姉香奠忌中見舞留帳	文政六年九月	横長半	一冊	六〇七	
宗夢嬰兒葬礼記録	俗名賢治郎 寛政一二年正月	横長半	一冊	六〇六	天然妙相大姉俗名榮葬後呼衆留帳	文政六年九月	横長美	一冊	六〇八	
○					桂林智月童子	俗名秀太郎 葬後呼衆留帳	文政九年五月	横長美	一冊	六〇九
樹月宗林児香奠忌中見舞帳	俗称寿作 享和三年一〇月	横長半	一冊	六〇八	妙法鑑光宗璣童子俗名服部十太郎葬前呼衆帳	弘化四年四月	横長美	一冊	六〇三	
○					○本明院					
葬礼一式	樹月宗林童子 享和三年一〇月	横長半	一冊	六〇九	葬後呼衆帳	本明院觀室妙桂大姉 俗称以恵 嘉永二年一二月	横長半	一冊	六〇三	
○										
寿作五十廻忌諸事扣	天保三年九月	横長美	一冊	六〇三						
○										
智円童子俗名円治香奠忌中見舞并諸事覚帳	文化四年五月	横長美	一冊	六〇三						
○										
如幻童子俗名波麻香奠并忌中見舞留帳	文化四年四月	横長美	一冊	六〇四						

祖父十七回忌招状 ○月八日	渋谷隆治	千秋元次郎	一通	二六六
順教一周忌寸志招状 九月二十六日	中村さち	千秋元次郎	一通	二六五
林兵左衛門死去通知状 二月朔日	藤川兵太夫	服部元次	一通	二六三
林兵左衛門回葬札状 二月五日	林兵太夫	服部元次郎	一通	二六四
忌中御見舞札状 ・八・一二月	山幡勇之進	千秋元次郎	五通	二六九
信 仰				
妙見堂				
諸入用				
妙見堂要用金ニ付借用金証書 山幡政吾 明治一五年二月	千秋元次郎	一通	二六四	
*万代金請取綴 妙見講社会計宛 六年	明治一五・一	一綴	二六三	
万御通 層簷亭 妙見講社会計 明治一六年二月	明治一六年二月	一通	二六三	
(妙見堂要用ニ付借用金証書) 山幡七郎平 明治一六年二月	千秋庄六郎	一通	三四五	
借用金証書(妙見堂入用金) 兵衛 明治一六年二月	千秋元次郎 安田半	一通	二〇〇	
妙見堂新築負債一件取替記 明治一七・一九年	横長半	一冊	二四七	

買物帳 養老公園妙見山世話方千秋庄六郎 一九年七月	明治	一冊	三七〇
妙見様厨子直シ代金受取 養老公園吉川伊兵衛 千秋庄六郎 明治二四年三月	明治	一通	二四〇
妙見堂買物代金受取寛 俵屋七郎治 妙見堂御 掛千秋 明治二九年二月	明治	四通	二四五
入之部(妙見堂) 明治二八・二九年	明治	一冊	一七〇
諸請取書 養老公園妙見堂宛 明治二八・三四年	明治	一綴	二六二
普請入用			
人足賃之通 鷺巢村大倉金蔵 妙見講社掛り 明治一五年九月	明治	一冊	六五
船附行屋形船老艘運賃請取証 桑名便通運會 社 明治一五年一〇月	明治	一通	二〇七
材木代金請取証 中島宗六 妙見堂會計係り 明治一五年一〇月	明治	一通	二六〇
人足賃請取証 鷺巢村人足総代野村弥兵衛 妙 見講社会計 明治一五年一〇月	明治	一通	二二一
妙見大土人足帳 鷺ノ巢村 (明治一五年カ)	明治	一冊	六六
鷺ノ巢村人足帳 大倉重三・安福五藤二 妙見 講社会計 明治一五年九・一二月	明治	一冊	六六
互駄賃証 鷺ノ巢村野村甚平 妙見講社会計 明治一六年二月	明治	一冊	二〇九
妙見堂建築費支払金御立替濟方願 妙見堂発 起人千秋元次郎他 千秋庄六郎 明治一八年一二 月	明治	一冊	九三
妙見堂建築費支払金償却方約定書 千秋庄六 郎・千秋元次郎・村上雄三・山幡七郎平 明治一 八年二月	明治	一冊	九四

妙見堂見積書 工匠吉村治一 千秋 大正一〇
年二月

半

一冊 七七

見積書(妙見堂)

孔版

一冊 一四七

泉水工事諸費記 妙見池

一通 九六

妙見池築造寄附人足

一通 九五

瑞雲洞

妙見堂茶所人足帳 明治一五年九月

横半

一冊 九六

妙見堂茶寮一件ニ付礼状并収支予算書 千秋
十三郎 杉本義親上人

美

飯一冊 一四九

瑞雲洞使用規定并工事費概算報告

美

一冊 一四七

妙見堂茶寮瑞雲洞落成ニ付祝詩 浪報

一通 三六三

瑞雲洞茶寮使用維持法扣

一通 九〇

瑞雲洞茶寮工事報告并謝辞

四通 二五九

○

妙見山初穂料并宿料 尾張千人講先達 妙見山
會計 明治三一年八月

二通 一七六

月掛講皆納証文 養老公園妙見堂 矢橋敬吉
明治三二年八月

一通 一九七

(妙見堂初穂料領收証) 妙見堂 明治三七年八
月

横半

一冊 七五

岐阜県大野郡保坂村本覺寺檀中養老妙見山月
掛々講社員連名記

一通 一七三

妙見堂寄附金書上

一通 二四一

菩提寺

本願寺

類焼ニ付涅槃像拝借証文 本願寺 服部庄六
文化一〇年二月

一通 一九六

本堂再建寄附金御請一札 本願寺納所 服部庄
六郎 嘉永六年二月

一通 九三

借用金証(庫裡再建ニ付) 本願寺住職千秋惠靜
千秋庄六郎 明治二四年二月

一通 一三五

白米渡覚帳(本願寺年回当米) 千秋かう 明治
四四、大正一四年

横半

一冊 八六

奉祈禱修法 本願寺

三枚 二六三

本立院

本立院普請引合覚帳 服部店 服部庄六 文化
一三年閏八月

横半

一冊 五三

金子借用覚(今須木田辰右衛門ニ請取) 本立院
柏淵彦右衛門 文久三年二月

一通 二五〇

本立院寺内絵図 御役所江差上候絵図下 明治
四年六月

縦横

一枚 二〇〇

大中教院課出金并十五年度事務所費請取証
本山家事務所 本立院 明治一六年七月

二通 二五七

納骨御回向料受納証文 身延行学院 高田町本
立院 卯四月

一通 二六〇

即心寺

即心寺跡住職ニ付内約定証文 高田町庄屋柏
淵祐次郎・千秋庄六郎 不破郡富代村見性寺 明
治四年八月

一通 二八五

柏淵友治・千秋庄六郎所有地御定願書 即心寺住職子安梁端 岐阜県令 明治九年十一月 半

景陽寺

(景陽寺住職略系図) 明治三十三年

供養料受取証 景陽寺住職松山惠林 千秋庄六郎 明治一六年一〇月

景陽寺金子請取覚并書状 服部庄六 子一二月

志納金

御印下附状(於大谷御坊永々経御執行冥加差上三付) 下間治部卿・伊坂主馬 庄六 午(寛延三年)四月

御印下附状 飼田大膳・上田肥後 庄六母 一月二五日

御印被下状(御書御礼) 坪坂主馬・飼田大膳 高田上町庄六 七月廿一日

御印下附状 坪坂主馬・飼田大膳 重太 九月朔日

御印下附状 坪坂主馬・上田肥後 十太郎 一月二七日

御遠忌相勤候志ニ付御印下附状 飼田大膳・粟津大学 景陽寺門徒宗円 二月二一日

○

百日経御施入金元利共受取証文 常栄寺役者 西尾藤次郎 天明五年正月

智祐七回忌志納金受取証 鈴木修理・大場斉院 庄六 辰六月

志納金披露状 集会所 高田西町妙喜 未霜月

一冊 三三五

一通 一七三〇

一通 二五四

一綴 二九四

一通 二六九

一通 二六三

一通 二六八

一通 二六四

一通 二六六

一通 二六七

一通 二六六

一通 二六六

一通 二六六

一通 二六六

一通 二六六

志納金披露状 集会所 庄六 巳一一月

志納金披露状 集会所 高田上町きな 巳一一月

月次志納ニ付御印下附状 坪坂主馬・上田肥後 十太 十一月二六日

折紙(祠堂金受納礼状) 坪坂主馬他 庄六母 二月二五日

○その他

妙法蓮経法師写経 宝永八年四月

御首題覚帳 服部重太夫 宝曆一四年一月

御首題執行帳 服部重太輔 癸未八月

庄六方之過去牒之写(首題)

於御宝蔵法用之差次定 文化四年四月

奉心経一卷并妙法蓮華経八卷 正直堂信英 文化四年九月

(清正公御守護渡礼銀覚) 嘉永四年八月

勤行之次第

釈迦如来御触書写

相刃鎌倉小町長慶山大巧寺御影

京都妙満寺(大黒天)御影

相模国片瀬龍口寂光山龍口寺御影

多賀神社擁護神符

諷誦文 願主 服部庄六

一通 二六三

一通 二六三

一通 二六五

一通 二六四

一綴 二七六

一冊 四五一

一冊 四六四

一冊 二〇三

一通 二四四

一冊 八〇三

一通 三七七

一通 二四四

一冊 二六五

一通 二六六

一通 二六六

一通 二六六

三通 二六六

一通 二六六

横美半半

半

美

半

大黒天御影 駿府感応寺

写経 服部重治郎 正月二日
妙法蓮華経陀羅尼品第二十六写経

諸 芸

茶 道 ↓買物帳

茶道手前

天目手順覚(京師町田正波老) 嘉永二年正月

小倉氏茶道聞書覚

小倉氏茶道万事聞書 仕込茶碗手前

小倉氏茶湯聞書 炉路人・客座付

亭主・客方

裏小習拾六ヶ条并表十三ヶ条

茶席・茶会

茶席次第書 嘉永六年正月

長板四ツ飾リ之図他茶席配置図

○

茶室普請ニ付差図并速水宗汲返答書状 千秋
十三郎 一〇月二八日 一綴 二五七

高林茶寮図 千秋十三郎描之 一綴(七通) 二六〇

新築茶寮材料明細簿 発起人千秋十三郎 大正
五年 一冊 四六三

○千秋家

於三十六峰庵茶事次第 客安田彦八郎・今井柳
貞・土屋篤四郎 嘉永二年正月一四日 一通 二七五

於三十六峰庵茶事 客井上藤太夫・足立泰三郎
・吉田周治郎 嘉永二年正月一八日 一通 二七五

於三十六峰庵茶事 京町田正波・京若林庄左衛
門 嘉永二年三月 一通 二七五

茶之湯会席次第 客寿量院・山口裕三・桜仙樓
嘉永二年閏四月 二通 二七五

於三十六峰庵うめ茶事会席 客実相寺・寿量院
・富春亭・笙峰 嘉永二年七月 一通 二七五

於三十六峰茶事 客井上藤太夫・安田彦八郎
・土屋篤四郎・安田鉄三郎 嘉永六年二月 一通 二七五

於三十六峰庵茶事 客安田彦八郎・土屋篤四郎
・清水岱助・安田鉄三郎 嘉永六年六月 一通 二七五

於三十六峰茶事 客安田彦八郎・桑原林庵・
土屋篤四郎・安田鉄三郎 嘉永七年二月 一通 二七五

三十六峰庵茶事 客井上藤太夫・安田彦八郎・
同哲三郎・土屋篤四郎 甲寅九月・安政二年二月 二通 二七五

笙峰五十年忌追福修繕 三十六峰閣供茶聊表寸
志 孫笙巖誌 大正一二年十一月 一通 二六八

○安田家

土屋篤四郎於横曾根安田家茶事 客井上藤太
夫・同代八郎・安田彦八郎・同鉄三郎・服部笙峰
嘉永六年三月 一通 二七五

安田氏茶事 客井上藤太夫・土屋篤四郎・服部
笙峰・万屋猪三郎・癸丑(嘉永六年)九月 一通 二七五

安田氏茶事 客井上藤太夫・土屋篤四郎・服部 笙峰・梅川屋仙太郎 嘉永七年一月	一通 一七五
安田時喫茶事 客井上藤太夫・同大八郎・土屋 篤四郎・景陽寺・服部笙峰 甲寅(安政元年)一〇 月	一通 一七四
安田家茶事 客柏淵藤太夫・同俊七郎・土屋篤 四郎・服部笙峰 安政三年六月	一通 一七二
安田時喫臨時茶事 客井上藤太夫・土屋篤四郎 ・服部笙峰 安政二年正月	一通 一七〇
安田老哩齊茶事次第 客町田宗匠・甚左衛門・ 野性 三月八日	一通 一六九
安田家茶事次第書 季冬(一二月)七日	一通 一七四三
安田臨時茶事献立	一通 一六九
安田簿茶会席	一通 一七四
安田氏他茶之湯会席關係書類	一綴 一七六
町田会席 嘉永元年	一通 一七三
町田茶湯覺 客高階安雲寺・波多医子院・山科 莊藏・木田亥右衛門 嘉永二年閏四月	一通 一六八
町田茶事 嘉永三年正月	一通 一六七
於本立院町田宗匠茶事 客祐順・笙峰・梅一 一月五日	一通 一七四
町田宗匠茶事 一一月九日	一通 一七一
○井上家	
於井上氏茶事 客安田彦八郎・今井三亭・足立 泰三郎・服部笙峰 嘉永二年六月	一通 一七六
井上藤太夫氏茶事 客安田彦八郎・吉田詠甫・ 土屋篤四郎・安田哲三郎・服部笙峰 嘉永五年九 月	一通 一七六
井上氏茶事 客安田彦八郎・土屋篤四郎・服部 笙峰 嘉永七年閏七月	一通 一七七
井上氏茶事 客安田彦八郎・同哲治郎・土屋篤 四郎・服部笙峰 安政二年一月	一通 一七六
井上氏茶事(卷一四) 客安田・柏淵・足立新家 ・土屋 未一一月一二日	一通 一七七
○土屋家	
土屋氏薄茶事次第書 客景陽寺・專念寺・西福 寺・幸平 嘉永五年五月	一通 一七五
土篤(土屋篤四郎)薄茶事次第書 客井上藤太夫 ・安田彦八郎 壬子(嘉永五年)八月	一通 一七五
土篤薄茶事次第書 客久保田八郎兵衛・柏淵藤 太夫・同俊七郎 壬子(嘉永五年)八月	一通 一七四
土屋氏茶事次第書 客井上大八郎・安田彦八郎 ・同鉄三郎・服部笙峰 癸丑(嘉永六年)七月	一通 一七五
土屋氏茶事 甲寅(嘉永七年)一月	一通 一七六
○	
小堀梅之助氏茶事御会席次第書 客辻宗範・ 高橋丹下 文化七年五月	一通 一七五
潜庵茶事 嘉永二年一月	一通 一七六
於本立院雪香茶事会席 客景陽寺・寿量院・西 福寺・笙峰・孝三郎 嘉永五年正月	一通 一七五
今尾井上氏茶事 客安田彦八郎・土屋篤四郎・ 安田鉄三郎・服部笙峰 嘉永六年四月	一通 一七四
聰松庵茶之湯会席次第書 丙辰(安政三年)二月	一冊 一七四

西山爽氣樓小集 横塘・着山・笙峰 安政三年九月

原氏総松庵追福時喫庵茶事 霜月一四日

山田狩客茶事 主時喫 九月二日

潜庵茶事 午一〇月二四日

佐藤氏茶事会席次第書 未九月一日

鎌翁茶事 四月一七日

長生庵茶事

臨時正眼大和尚茶事 客甚左衛門・収助・五郎四郎・左内 正月八日

茶之湯初会并茶事 樂・只軒 九月二五日

岩堀祐益拜借茶道具ニ而相催候茶事次第書

鳥飼宗正不老算ニおゐて茶事次第書 客長生算宗近・小野左膳・高尾宗朝 一〇月二九日

朝茶

○

浪花社中燕庵茶之湯会席次第書 山田八郎兵衛・杉山長右衛門・井上平兵衛・植村新兵衛 神無月二一日

妙心寺社中燕庵茶之湯会席次第書 天龍院和尚・雑花長老・養源長老・水長老 一〇月二七日

○追善茶事

利休居士式百五十年忌追善不審庵茶事 客武藤武兵衛・熊谷治太郎・岩越源右衛門 天保一〇年一〇月

長治郎百五十回忌於松之下田中茶事 一〇月八日

時喫庵諦宗和尚追福茶事 客服部笙峰・即心寺・下里六右衛門・柏淵俊七郎・上屋篤四郎 四月二一日

香道

薰香

子日香之記 出香寿久 早春若菜日

卯花香之記 出香豊久 四月二日

宇治山香之記 出香近久 如月中五日(二月一五日)

三景香之記 出香宗楨 弥生(三月)廿日

花道

免許状

日本生花司松日堂古流一国会頭許可証状 植松殿内小川外勝 千秋元治郎 明治一四年四月

歌道

歌合

万歌覚帳 享保一五年一二月

花月社歌合 一行路花 明治三一年五月

詠草あわせ 江上月 明治三二年九月

詠草あわせ 三の巻 水声近枕 明治三三年七月

詠草あわせ 明治三五年一二月

一通 二七六

一通 二七五

一通 二七三

一通 二七二

一通 二七一

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

一通 二七〇

競点

点取 聞笛 談如会 明治二八年九月

横半半 一冊 二〇〇

匿名競点 十月読書 談如会 (明治二八年一〇月)

横半半 一冊 二〇〇九

競点 二月題春雪・谷鶯・酒酌 談如会 明治二九年二月

横長美半 一冊 二〇〇八

匿名競点 夕雲雀 談如会 (明治二九年)

横半半 一冊 二〇二一

詩吟

逐鹿稿 四如吟社 千秋重三郎笙巖 明治二八年二月

半 一冊 七六七

逐鹿稿 四如吟社 千秋重三郎笙巖 明治二八年一月

半 一冊 七六六

彦根雜詩 千秋笙巖 大正

半 一冊 七六四

箏曲

免許狀

崎岡檢校許狀 深夜の月・新青柳・今小町 服部樂 嘉永七年四月

一通 二六二〇

崎岡檢校許狀 松竹梅 服部樂 安政二年三月

一通 二六二一

生田流箏曲免許狀 佐藤大史導正和 千秋はま 大正七年一〇月

一通 二五九八

生田流箏曲許狀 國風音楽講習所 千秋はま 大正八年六月

一通 二六〇六

生田流箏曲許狀 國風音楽講習所 千秋かう 大正一二二年五月

一通 二六〇七

礼法

小笠原流

礼道教諭目録 客儀式條目 小笠原御流須藤勝成 服部孝三郎 嘉永二年五月

横長半 一冊 二〇〇七

雜記 節季節付他 昭和三年

横半半 一冊 四〇五

伊勢流

伊勢流百ヶ条目録

一通 二六二一

その他

直伝飯木村花火之法 千秋堂服部和幸考 宝曆八年八月

12 x 11.5 一冊 四四七

諸国拔参管物語 全(安永八年写) 明和八年八月

半 一冊 二〇二三

難波村ニをいて清書会撰番付写 安政五年三月

横長美 一冊 二五九六

盛栄社内書上 愛知長者町かんらん(芸者衆)

半 一冊 二五九三

觀世小謡 田中先生 千秋治一

横半半 一冊 七九三

盤桂禪師白挽歌 服部広業

横半半 一冊 四五四

盤桂和尚白挽歌

横半半 一冊 二五九二

先意流薙刀表目録

一通 二三四

尿血容鉢書 一・二・三 申七月

横長美 一冊 二五九

尿血容鉢覺 四・五

横美半 一冊 二五〇

尿血容鉢覺 下書 一〇月二四日

二通 二六四一

○

服子忠字説 杉簡子敬書 安永四年四月

軍事物語 全 慶応元年五月

都鄙問答 拔書 石田氏名勘平子述書写

故事之拔書

一言法要集 全 服部重治郎

一休はなし 卷二

赤穂四十六士論 松宮俊仍草

鈔書

書籍目録

讀日本紀抄

春秋左氏伝講義例宮三則

一休和尚一口談義

金声(釈迦如来羅漢ゆへ御遺言之事)

日蓮聖人御一生記上 目録

○

宇田邑西徳寺伝授(達磨味噌・打物製法他) 宝

暦一一年七月

飴製法

木田氏調印御調書 丁卯(慶応三年カ)二月

刀剣目録 千秋高致 昭和一年六月

続小計便蒙 小斗便蒙之増補

島田村(高田町)

村

村政

○支配

羽柴筑前守感状写(軍役ノ為多芸・石津村々兵糧等手当二付) 桑原兵庫・樋口源之進・星野七郎宛 天正四年五月三日

(大垣藩御暇藩士書上) 延享四年七月

御公儀様御触書之写 天保三年九月

古金銀吹替并引替ニ付御触状 大垣御預役所差出 天保八年二月

五分間之図御所馬場改絵図 儀助・善助 天保一〇年九月

戸田采女正家臣渡辺伝蔵不調法ノ為浪人仕ニ付御手当金頂戴証文 渡辺伝蔵 庄六 文化八年閏二月

覚書(浪人伝蔵一件二付) 七郎次・本立院・与兵衛 文化八年閏二月二日

浪人渡辺伝蔵引払方注進状下書 庄六 大垣御預役所(文化九年)

村政

日比七兵衛先祖高田町孫七郎久作難題申掛ニ付言上書写 孫七郎 北井茂兵衛・木村清太夫 寛永八年八月

二通 二五二

○証文印鑑帳

混雜非常証文印鑑帳并願書留 西組庄屋彦之丞 大垣御預御役所 寛政五年八月

半 一冊 六

質物書入諸証文印鑑帳(服部庄三郎庄屋代判役) 安政二・六年

半 一冊 三

兼帶庄屋今須村木田藤右衛門役印之分質物書入証文印鑑帳 千秋庄六郎 文久元・明治三年

半 一冊 三

○

日記(村方公用留) 乙丑(元治二年)

横長美 一冊 二六二

飯木村庄屋七兵衛退役一件濟口証文之写 飯木村村役人 笠松御役所 元治二年四月

半 一冊 七

(村役場引継帳簿書上) 明治八・一六年

横長半 一冊 三五六

村役場引継(諸帳簿目錄) 明治一七年

横長半 一冊 八二四

御役所差出金請取証文 土屋祐平・古沢武左衛門 千秋庄六郎 文久元年十一月

一通 一六三

永調達金御預り証文 中島村江藤篤平 酉(文久元年)一二月

一通 一六三

御下ヶ分旧大垣藩調達金之儀御尋向ニ付御答書 河原村田中休兵衛 大蔵省負債係り御出張所 明治六年一月

一通 四二

字絵図騰書 明治三八年五月

半 五枚 二九二

押越字町南・高田字北浦高田・字北浦高田・大字乗越分

土地整理ニ関シ褒賞金下賜状 岐阜県 武儀郡奥洞戸村外一ヶ村戸長 明治二二年二月

一通 三五四

白米焚出通知状 島田村外一ヶ村戸長役場 千秋庄六郎 明治二一年七月

三通 二六四

寄附米請取通 大ノ木文助 明治三二年一月

横長半 一冊 四〇一

義捐金寄附人名簿 武儀郡洞戸・飛瀬村分

半 一冊 三八九

戸口

(東組人別調) (明治)

横長半 一冊 二七九

第一ノ第九小区并江月・烏江村旧高戸数取調書上

一通 三五五

寺送証文之事(慧愍本立院留主居ニ罷越候ニ付)本願寺日文 高田町御庄屋・御年寄衆 明治二年五月

一通 二五九

縁付送り一札之事(平八郎家来文六姉たつ)不破郡室原村庄屋弥六 高田町御役前衆中 明治三年二月

一通 一六七〇

古郷送り証文之事(伊右衛門娘きみ) 押越村庄屋安左衛門 高田町御役人中 明治三年四月

一通 一六九

古郷送り一札之事 笠毛村庄屋傍島助太夫宛 明治三年五月

一通 一六三

送り手形之事 法飲(米治)除籍届 高田中之町山崎新七 下京五番組白壁町年寄 明治四年八月

一通 一六七

送り籍之事(米治引越証文) 京都白壁戸長 島田村戸長 明治五年九月

一通 一六七

送籍之事(とめ縁付証文) 牧田村戸長 嶋田村戸長 明治六年一月

一通 一七三

笠松県ニ不相成以前之古郷送り証文雛形并人別調共

二綴 一七四

(樋口鎌吉郎帰宅届書) 樋口鎌吉 押越村戸長役場 明治一七年三月	一通 一五七	屯所用掛奉命中精勤ニ付慰勞状 岐阜県 千秋庄六郎 明治九年一月	一通 三三七
関戸まつ男児出産届并祝書状共 明治二三年二月	二通 一五五	出勤録 中組 明治八年一〇月	一冊 一五五
ふみ離婚復婦届 書状共 庄六郎 嶋田村外一ヶ村戸長 明治二二年六月	一通 一四三	分署新築掛リ之儀ニ付断状 千秋庄六 立木 七月	一通 二六六
日比野廉平戸籍謄本 明治三四年三月	一綴 一五二	○屯所入用	
大黒屋徳兵衛娘引越一札 東町差配方 寺西御差配衆中 元治二年三月	一通 一九三	屯所諸記 明治七年二月	半 一冊 三
藤兵衛引越覚 宮町差配方 寺西御差配衆中 慶応二年五月	一通 一九元	屯所経費認方雛形 明治八年二月	半 一冊 三
武芸郡岩佐村甚助一家寺手形証文 吉正寺 景陽寺 明治四年四月	一通 一九七	取締局諸費割賦帳 屯所御用係日比貞三郎・千秋庄六郎 明治七年一月	横長半 一冊 二九
五日市村吉田たつ引越御請合一札之事 たつ親類安田伊右衛門 御当役衆中 明治七年五月	一通 九六	金錢請払帳 島田局屯所用係 明治七年一月	横長半 一冊 一三〇
往来手形 足立庄左衛門身延山參詣ニ付 今尾常栄寺 諸国御関所役人衆 文化一二年三月	一通 一七〇	金子渡判帳 島田局屯所用 明治七年一月	横長半 一冊 一三
往来一札之事 庄屋益次郎 宿々御問屋衆中 天保一〇年九月	一通 一九二	物品物替帳 島田局屯所用係 明治七年一月	横長半 一冊 一三
祖母介抱引請方一札 政治郎 清七 弘化五年	一通 五九	取締局諸費割附帳 先用係川瀬彦兵衛扣 明治七年七月	横長半 一冊 一三
屯所		諸色請払帳 明治七・八年	横長美 一冊 三四
○役職		屯所経費之目(局費一ヶ月積書)	一通 九二
島田屯所用係申付状 岐阜県 千秋庄六郎 明治七年二月	一通 三七一	(屯所入用金明細書) 川瀬彦兵衛 島田屯所用係 明治八年四月	一通 一六四
第二区五分区屯所用係解任状 岐阜県 千秋庄六郎 明治九年一月	一通 三三七	羅卒日程并諸入用書上表 明治八年一〇月	一通 九七五
		屯所邏卒入用金割賦申渡書 屯所用係 大矢権左衛門他各小区 明治八年五月	半 一冊 一五九
		金錢判取帳 島田屯所用係 明治八年二月	横長半 一冊 四六〇
		御預リ金約定書 早野七郎治 第八番区屯所警員 明治八年四月	半 一冊 三四七

屯所入費上納証文 七小区国枝庄平 御用係千秋庄六郎 (明治八年) 七月	四通 二七元	屯所費滯金受取証 屯所用係千秋庄六郎 大矢權兵衛 明治八年一〇月	一通 二七三
八月分屯所費上納証文 山幡清右衛門 御用係千秋庄六郎 明治八年八月	一通 二七元	屯所費割方并上納延引ニ付訖書狀 山幡清右衛門 千秋庄六郎 明治八年一二月	三通 二七元
十二月分屯所費上納証文 九小区副戸長心得大矢權左衛門 千秋庄六郎 明治九年一月	二通 二七三	八月・九月分屯所費并滯金之内金子受取証文 屯所用係千秋庄六郎 陸田吉太郎 明治一〇年一〇月	一通 二七三
屯所入費差引勘定帳 明治八年	一綴 二七七	屯所入費臨時割之分払方通知狀	一通 二七三
第二区屯所積金御預リ金取調書 預リ主早野七郎次・三宅乾三 明治九年五月	半 仮一冊 一六五	第二区五分区屯所宛時計献納願 高田町大橋善九郎郎 岐阜県知事 明治八年六月	一通 二七三
一小区屯所殘金調 日比貞三郎 千秋庄六郎 明治九年五月	一通 二七六	本県警察掛より屯所課賦金御尋問ニ付返答書狀并屯所關係書狀 日比貞三郎 千秋庄六郎 明治八年	一通 二七三
第二区五分区屯所積金請取証 屯所用係日比貞三郎・千秋庄六郎 早野七郎治 明治九年一〇月	一通 二五三	通元寺巡査交番所新築費寄附出願依頼狀 関警察上有知屯長 戸長千秋元次郎	半 仮一冊 一五三
分署新築之節借金元利差引書 明治九年五月	一通 八三	義捐金寄附人名簿 上有知分署	半 一冊 一六
島田分署新築積金皆済証書 第四大区四・五小区副戸長心得山幡清右衛門 第二区五分区屯所用係日比貞三郎・千秋庄六郎 明治一〇年一二月	半 仮一冊 三三六	新道工事	
屯所費用ニ付打合せ書狀 立木喜又 千秋庄六郎 明治八年一月	一通 二七四	新坂開設ニ付扣地丈量図 土屋八十郎・川島忠助・千秋安太郎立合 明治一四年五月	一通 二五六
局掛差引過分金他預金証文 千秋庄六郎 日比貞三郎 明治八年三月	一通 二七三	(村道路敷地ニ地所借受約定書) 島田村外一ヶ村戸長 千秋庄六郎 明治二一年一〇月	二通 三九
屯所費延引ニ付訖書狀 大矢權左衛門 千秋 明治八年五月	一通 二七六	潰シ地々種組換願 千秋庄六郎・柏淵静夫 岐阜県知事 明治二一年	半 仮一冊 三〇〇
屯所費集方大延引ニ付改狀并上納方書狀 六小区扱所陸田吉太郎 屯所用係千秋庄六郎 明治八年九・一〇月	三通 二七六	丈量違訂正願 絵図共 千秋らく 岐阜県知事 明治二二年二月	三通 三〇一
		畦畔新設願 地主物代柏淵静夫・千秋庄六郎 明治二二年	一綴 三〇三
		潰シ地願 千秋庄六郎・柏淵静夫・早野七郎治 岐阜県知事 明治二二年九月	一綴 三〇三

武儀郡飛瀬村字名張新道仕様目論見帳(明治)	半	飯二冊	一〇二五
武儀郡飛瀬村新道仕様目論見帳	半	飯二冊	一〇二六
潰シ地及諸色代明細書 追加工事共	半	飯一冊	一〇二七
潰シ地及諸色代明細書	半	飯一冊	一〇二八

藍田学校

学務

諸記録・日誌 明治六・七年	横美半	一冊	三三七
---------------	-----	----	-----

藍田学校一件 明治八・一二年		一通	一八〇三
----------------	--	----	------

1 三級卒業験査ニ付上願 校長日比野廉平 師範学校 明治九年九月		一通	
-------------------------------------	--	----	--

2 龍門学校生徒検査之儀變更ニ付急回状 柏淵拙藏 上方積流第二学校 明治九年二月		一通	
---	--	----	--

3 入校中欠席ニ付上納金差上受取証文 師範学校 明治八年四月		一通	
-----------------------------------	--	----	--

4 天球儀借用歟願書 高須西川清 藍田学 校千秋元次郎 七月一四日		一通	
--------------------------------------	--	----	--

5 藍田学校諸會計綴 明治九年		一綴	
-----------------	--	----	--

6 書籍代受取綴 成美堂 千秋元次郎		一綴	
--------------------	--	----	--

7 学校寄附金関係綴 明治八・九年		一綴	
-------------------	--	----	--

8 学務関係書類		一通	三六四
----------	--	----	-----

藍田学校設立以来盡力ニ付褒賞金差遺状 岐阜 千秋元次郎 明治九年一月		一通	三六四
---------------------------------------	--	----	-----

校費

小学校入用ニ付金子借用証券之事 西脇喜右 衛門・千秋庄六郎 柏淵友次 明治六年四月		一通	一六九二
金子借用証券之事(小学校入用ニ付) 西脇喜右 衛門・千秋庄六郎 千秋笙峰 明治六年五月		一通	一三九
小学校入用ニ付金子借用証券之事 西脇喜右 衛門・千秋庄六郎 柏淵静夫・同拙藏 明治六年五月		一通	一六三

藍田学校宛諸費用受取綴 藍田舍用千秋元治郎 戊午(明治七年)		一綴	二六五
-----------------------------------	--	----	-----

書籍之御通 文会堂 藍田舍監務千秋元二郎 明 治七年八月	横美半	一冊	三九
---------------------------------	-----	----	----

藍田義校寄附金利子半年分渡方証文 樋口信 七 御取締千秋元治郎 明治八年一二月		一通	八六
--	--	----	----

藍田へ不用ティフル譲リ方願 西脇三郎次 千 秋元次郎 二月		二通	三七九
----------------------------------	--	----	-----

藍田学校御求之日本国尽并世界国尽拝借願状 柏淵兼三 藍田義校監務千秋元次郎 六月		一通	二七九
---	--	----	-----

日本略史他図書代金請求覚 大垣高林岡安俊介 高田学校監事柏淵 一二月		一通	二八〇
---------------------------------------	--	----	-----

伊藤岩太郎書状 藍田学校監務千秋元次郎 一 月		一通	二八四
----------------------------	--	----	-----

書籍購入ニ付木田氏方引受書類 明治二八年	横美	一冊	九四
----------------------	----	----	----

算法録	横美半	一冊	七六
-----	-----	----	----

算術書	半	一冊	七三
-----	---	----	----

寺子往来鈔 寺子教訓書	半	一冊	七三
-------------	---	----	----

大学聞書 藍田学校
大学聞書

半 一冊 二六〇
半 一冊 二六〇

貢 租

名 寄

(御年貢米名寄帳写) 東組差引 寛政一三年
横長美 一冊 三六三
(御年貢米名寄写) 酉年(享和元年カ)
横長美 一冊 三六六
(御年貢米名寄帳写) 文政八年
横長美 一冊 三六三
(御年貢米名寄帳写) 文政九年
横長美 一冊 三六四
田畑銘毛名寄帳 中屋敷組 慶応二年一二月
横長美 一冊 八二
未年御年貢米名寄帳 中屋敷組 庄屋中村源十郎・立会人土屋篤四郎・渋谷市次郎・千秋元次郎
横長美 一冊 八三
明治四年一二月
申年御年貢米名寄帳 中屋敷組 明治五年一二月
横長美 一冊 八三
未歲御年貢米名寄帳 中 明治四年一二月
横長美 一冊 八四
申歲御年貢米名寄帳 中 明治五年一二月
横長美 一冊 八五
酉歲御年貢米名寄帳 中 明治六年一二月
横長美 一冊 八六
戌歲御年貢米名寄帳 中 明治七年一二月
横長美 一冊 八七
戌歲御年貢米名寄帳 東 明治一〇年一二月
横長美 一冊 八八
天保七申年名寄帳高ノ銘々帳 天保七年
半 一冊 八〇

検 見

検見帳

検見帳 高田町字高田 明治八年一月
横美半 一冊 二六〇
検見帳 明治三一〜三四年
横美半 一冊 二六一
検見帳 明治三五〜三八年
横美半 一冊 二六二

御検見役人廻村ニ付御泊リ宿振廻取極申合書
於平助宅 天明二年九月

一通 八六

割 付

免定 島田村下高田南組 根岸伝内・鈴木新八
貞享三年一〇月
一通 二〇三
免定 井口組 鈴木新八・根岸伝内 貞享三年一〇月・貞享四年一〇月
二通 二〇四
免定 中屋敷組 鈴木新八・根岸伝内 貞享四年一〇月
一通 二〇三
免定 下高田南組 根岸伝内・鈴木新八 元禄二年一〇月
一通 二〇三
御年貢割付証文 桑原善右衛門・吉川彦五郎・大沢治兵衛・河島八右衛門 安政五年一二月
一通 二〇五
御下ケ札之内御引方米并臨時入用被下米代銀請取覚 巳(安政四年カ)二月
一通 二二六

年貢納入

○御城米

御城米納所蔵入帳	東	天保一一年一月	横長半	一冊	三
御城米納所蔵入帳	東組	万延元年一月	横長半	一冊	四
壬辰年卯年東組御城米差引	壬辰年(天保三年)		横長美	一冊	五
壬申秋東蔵城米残覚	壬申(明治五年)秋		横長半	一冊	六
城米夫錢差引勘定簿	明治八年四月		横長半	一冊	六
御廻米納所帳	中組	明治四年二月	横長半	一冊	九
御城米太賃取証文	市三郎 庄六 申(文化九年)二月			一通	八四
御城米請取覚	烏江問屋吹原勘兵衛	東組御庄屋中 卯二月		一通	二四六
御城米勘定覚	村瀬浅右衛門	千秋庄六郎 申七月		一通	二五三
御城米納方差引覚	伊藤市郎右衛門	千秋庄六郎 六月		一通	二五四
○					
江戸御刎糶撰改覚	宝曆九年三月		横長美大	一冊	二五三
御年貢米取替請取証文	市三郎 才蔵	申(文化九年)二月		一通	八四
高畑村用蔵渡梓代請取証文	当番 庄六 申(文化九年)二月			一通	八四
梓取高畑用蔵へ内渡金請取証文	与蔵 庄六			一通	八四

御年貢金内金受取 庄六分 名主惣五郎 亥(嘉永四年)二月

賦課法下調帳 明治一一年二月

横長美

一通 二六三

寅年貢税金計簿 近沢武策 千秋庄六郎 明治一二年三月

横長美

一通 二九

年貢勘定帳 明治三九年一〇月

横長美

一通 四六

諸役

国役

朝鮮人国役金之内東当り分請取覚(文化九年)九月

横長美

一通 一〇九

朝鮮人国役金三組割当通知状(文化九年)九月

横長美

一通 一〇〇

夫役

亥年兩度夫役今須割 名主惣五郎 嘉永四年七月

横長美

一通 二六四

嘉永七年五ヶ年年貢諸役納小前帳(安政五年カ)

横長美

一通 八六

中組高四ヶ年分取調帳 明治九年九月

横長美

一通 一三七

丑兩年夫錢割 丑一二月

横長美

一通 二六四

(夫役高書上)

横長美

一通 一〇三

組内無高取集之儀依頼書状 柏淵藤太夫 服部笹峰(文化九年)二月

横長美

一通 二三三

○助郷人馬

人足賃之内東当り分請取覚(文化九年)七月

横長美

一通 一〇四

人馬賃金之内東当り分請取覚(文化九年)九月

横長美

一通 一〇七

人足賃渡帳 藤太夫 御金方衆 嘉永四年七月 横長半

一冊 一〇二

人馬賃之内東組当り分請取覚

一通 一〇五

未年助郷割毛附高元帳 中組 明治四年二月 横長半

一冊 九

未年助郷割撰出帳 中組 明治四年二月 横長美

一冊 一〇〇

○村人足

人足撰出帳 文久元年二月 横長美

一冊 三三

申年人足撰出帳 中組 明治八年二月 横長半

一冊 四

水引・落以番等(村下用人足書上) 七、十一月 横長半

一冊 九五

明治一七年度畝堀牛子入費調べ書 明治一七 横長半

一冊 六一

○

亥年村役米之事

役高書上 文久二年

一通 三五九
一通 二五七四

所得金高書上

多芸郡高田町千秋庄六郎外四拾式人所得金高下調帳 明治二四年分 美

一冊 四

上石津郡時村三輪亦助外十三人所得金高下調帳 明治二四年分 美

一冊 三

多芸郡養老村山幡清之助外拾人所得金見込高下調書 明治二四年分 美

一冊 三

多芸郡高田町千秋庄六郎外三拾式人所得金高下調書 明治二五年分 美

一冊 三

多芸郡飯ノ木村西脇周治外拾人無届人所得金高見込下調書 明治二五年分 美

一冊 三

廿五年分所得金未届人前年決定額対比表 美

活版一冊 三

所得高決議書 タキ・上石津郡役所所得税調査委員会 明治二五年八月 美

一冊 四

明治廿五年度所得税決定額表 岐阜県 刊一通 二五九

村・民費

民費取調明細簿等役場書類書上 明治八、一三年 横長半

一冊 二六

取締区入費課金并出納假方法書 明治 半

一冊 三

地租改正取調費仮割差引書 子(明治九年)一〇月 横長半

一冊 二八四

村入用

村入用

村入用割

諸入用割合帳 文化元年六月 横長半

一冊 六

卯年村入用覚 文政二年 横長半

一冊 六

(文政三辰年分村入用覚) 文政三年 横長半

一冊 三

辰年分村入用覚 文政三年 横長半

一冊 三

巳年村入用 文政四年 横長半

一冊 四

午とし分村入用之分 東組 庄六 文政五年 横長半

一冊 三

午年村入用 東 午年(文政五年) 横長半

一冊 三

未年村入用 東 文政六年 横長半

一冊 三

未年村入用	文政六年	横長半	一冊	六	未年納入用撰出帳	中	明治五年二月	横長美	一冊	五
申年村入用	文政七年	横長半	一冊	七	申歲納入用算用撰出帳	中	明治六年二月	横長美	一冊	六
申年村入用	東 文政七年	横長半	一冊	五	去戌歲納入用撰出帳	中	明治八年二月	横長美	一冊	七
酉年村入用	東 文政八年	横長半	一冊	六	未年納入用・御親代・諸金納算用撰出帳	東	万延元年二月	横長美	一冊	七
乙酉年村入用	文政八年	横長半	一冊	六	卯年納入用・御親代・諸金納算用撰出帳	東	明治元年二月	横長美	一冊	九
辰年組割帳	東 明治元年二月	横長美	一冊	九	納入用并紀州様人馬賃金請取覚	市三郎 春三郎	西二月	横長美	一通	二六六
辰年立会割帳	東・西 明治元年二月	横長美	一冊	七	戸籍納入用					
年々組割帳	中 帳元土屋篤四郎・渋谷市次郎・千秋元次郎・明治四年二月	横長美	一冊	七	申歲戸籍納入用取立帳	中	明治五年二月	横長美	一冊	五
組割	明治七年	横長半	一冊	七	戸籍納入用撰出帳	中	明治五年二月	横長美	一冊	六
辰年村入用大割撰出帳	東 明治元年二月	横長半	一冊	五	明治七年分戸籍入費取立帳	中組	明治八年一月	横長半	一冊	七
未年村入用大割撰出帳	中 明治四年二月	横長美	一冊	三	明治七年分戸籍入費取集帳	中組	明治八年	横長半	一冊	六
申歲大割撰出帳	中 明治五年二月	横長美	一冊	三	宗門入用取集方之儀ニ付口添頼書状	杉江益次郎 柏淵藤太夫			一通	三三
酉歲村入用大割撰出帳	中 明治六年二月	横長美	一冊	四	高懸リ諸入用諸指引受取証文	申(文化九年)			一通	八六
戌年村入用大割撰出帳	中 明治七年二月	横長美	一冊	五	高懸リ諸入用諸指引受取証文	申(文化九年)			一通	八六
村入用割	亥・子年	横長半	一冊	三	辰歲高掛諸入用家並米仮取集帳	東	明治元年二月	横長美	一冊	一四
村入用拾ヶ年分書上			一通	二四七	未年高掛諸入用取立帳	中屋敷組 庄屋中村源十郎 帳元土屋篤四郎・渋谷市次郎・千秋元次郎	明治四年二月	横長美	一冊	一七
納入用割										
午年納入用・諸金納算用撰出元帳	中 明治四年二月	横長美	一冊	三						
午年納入用・諸金納算用撰出元帳	中 明治四年二月	横長美	一冊	四						

申歳高係諸入費取集帳	中	明治五年二月	横長半	一冊	一〇五	諸色代之内東当り分請取覚	当番	庄六 (文化九年)七月	一通	一〇三		
申年高掛諸入費取立帳	中	明治五年二月	横長半	一冊	一〇八	清勘定不足金請取覚	当番	庄六 (文化九年)九月	一通	一〇六		
酉年高掛諸入費取立帳	中	明治六年二月	横長半	一冊	一〇九	諸金納之内東当り分請取覚	(文化九年)九月		一通	一〇六		
酉歳高係諸入費取集帳	中	明治六年二月	横長半	一冊	一〇六	源左衛門大垣入用取かへ金并預金書上	天保八(一二年)		一冊	八五		
高宕石ニ付大割・組割・造用割書上	四郎兵衛組	嘉永六年	横長半	三通	二五三	中組諸色撰出し勘定帳	明治四年二月		一冊	六〇		
勘定						諸品撰出帳	中組	但し酉年共	明治五年二月	一冊	九	
覚(村入用勘定)	中町市三郎	文化八年	横長美	一冊	三〇四	中組取替調簿	帳元千秋元次郎	明治五年	横長半	一冊	二八	
村入用取替覚帳	文化九年二月	横長美	一冊	三六	中組諸記録(村入用取替分)	千秋元次郎	明治六年一月	横長半	一冊	二四		
東組村入用取替帳	服部庄六	文化一三年正月	横長美	一冊	五	戊歳人員割撰出帳	中組	明治七年二月	横長美	一冊	三	
覚(村入用勘定)	市三郎	春三郎	酉(文化一〇年)二月	横長美	三三	嶋田村御下用帳	京丸屋平吉	千秋庄六・伊藤岩三郎	明治九年七月	横長半	一冊	二七
覚(村入用勘定)	戊(文化一二年)二月	横長美	一冊	三六	村入用不足分御渡方願書状	伊藤岩三郎	千秋庄六郎	四月三〇日	一通	二五八		
覚(村入用勘定)	文化一二亥年二月	横長美	一冊	三九	御普請金 ^ル 飯田へ返金分請取証文	柏淵服部	申(安政七年)正月		一通	二五六		
村入用勘定 (文化)			横長美	一冊	三七	巳年二月小前方へ救金差遣分午三月割賦致候覚	午一二月		一通	二六七		
村入用出入勘定帳	東	天保二年二月	横長半	一冊	六	アツタ笠松御蔵修覆入用内金請取証文	当番	庄六 申(文化九年)二月	一通	八四〇		
東組高入用扣	天保三年	横長半	一冊	七	村借							
御入用書上帳	わらしや五郎治	天保一五年九月	横長半	一冊	四							
巳年村入用諸色差引覚	庄屋		一通	二五五								
村入用・去未納入用・御廻し ^ル 御免願諸入用并今須人足賃東組当り分請取覚	当番	庄六 (文化九年)七月	一通	一〇三								

自普請金并御普請弁金ニ差詰借用金証文 写共
島田村庄屋市右衛門 和泉屋孫左衛門取次 天保
六年十一月

二通 三九七

屋敷質物書入村借証文 利右衛門組豊吉 千秋
庄六郎 文久元年十二月

一通 一八六

別記(旧西組借用金一件) 千秋十三郎誌 明治四
〇年九月

一通 一七五

組方借金ニ付大垣石原嘉兵治書状 服部庄三
郎宛 七月三日

一通 二三三

○大名貸

預リ申金子之事(竹中遠江守勝手要用就) 竹中
遠江守内国井泉藏・神田五藏・伊藤金兵衛 高田
町土屋八十郎 文化元年九月

一通 三六五

藩制ヶ条之内(藩債償却ニ付) 大垣藩庁 一一
月

一通 二四三

祭 礼

氏 神

愛宕神社

愛宕祭礼議定之事 西町惣代七兵衛他 東町惣
代柴藏他 天保一五年六月

一通 一四一

愛宕祭礼獅子軸袴着用之儀ニ付差上一札 下
河原惣代 御役前・御立合衆中 安政三年六月

一通 一六六

愛宕神社祭典ニ付誓約証 両町惣代木村喜七郎
・奥田佐七 柏淵祐次郎・同東・千秋庄六郎他
明治一五年五月

一通 二五二

○ 警固呼出シ帳 奉行佐竹左兵衛・茂理重吉 天
明五年六月 横長半 一冊 五〇

別当役覚帳 奉行日比常八・百々新次 天明六
年六月 横長美 一冊 五三

○祭礼入用

祭礼入用勘定帳 西町講中 宝曆四年六月 横長半 一冊 五〇

愛宕祭礼奉加帳 西町講中 宝曆四年六月 横長美 一冊 五一

愛宕祭礼奉加帳 西町講中 宝曆一三年六月 横長美 一冊 五二

八月祭礼勘定帳 東西行事 文化一二年 横長半 一冊 五九

諸入用勘定帳 奉行田村庄七・栗田浅右衛門 明
和二年六月 横長美 一冊 五八

諸入用家割 奉行田村庄七・栗田浅右衛門 明
和二年六月 横長半 一冊 五九

愛宕祭礼諸入用家割 奉行百々伊介・中嶋亦五
郎 明和八年七月 横長半 一冊 五三

諸入用家割覚帳 奉行山崎嘉兵衛・木村松五郎
天明三年九月 横長半 一冊 五九

諸入用割合帳 奉行栗田加六・立河万吉 寛政
六年六月 横長半 一冊 五三

諸入用割取集帳 世話人栗田儀三郎・木村喜三
郎・津田又五郎・柏淵正作 寛政一二年八月 横長半 一冊 五八

諸入用割合覚帳 世話人柏淵嘉式・中村周平・
森助七・津田藤吉 享和二年六月 横長半 一冊 五三

諸入用割合覚帳 世話人栗田利弥・藤田平八・
服部清七・服部庄六 享和三年六月 横長半 一冊 五四

諸入用割寛帳 五年六月	奉行佐竹佐兵衛・森重吉	天明	横長半	一冊	五五	八月祭礼燈籠入用集帳 一・中村周平・渋谷忠三郎	西行事森助七・柏淵嘉 文化四年	横長半	一冊	五〇七	
山蔵入用帳 宝曆四年四月			横長半	一冊	五五七	已八月祭礼入用払帳 松三郎・同松次郎・津田政吉・木村藤介・藤田利吉	東西行事日比野政蔵・同 文化六年六月	横長半	一冊	五〇八	
山挽間口割寛帳 明和七年六月	奉行田村丹右衛門・三輪權治		横長半	一冊	五三六	八月祭礼蠟燭代取集帳 喜助 文化一二年	西奉行日比榮吉・木村	横長半	一冊	五二〇	
山挽間口割寛帳 天明元年六月	奉行木村・陸田 安永七年六月		横長半	一冊	五三三	八月祭礼蠟燭代取集帳 文化一三年	奉行服部庄六・栗田浅次	横長半	一冊	五二一	
山挽間口割寛帳 天明元年六月	奉行安田弥右衛門・三輪佐兵衛		横長半	一冊	五三九	蠟燭代取集帳 文化一四年七月	西奉行栗田浅次郎・服部庄六郎	横長美	一冊	五二二	
山挽間口割寛帳 天明六年林鐘(六月)	奉行日比ツネ八・百々シン次		横長半	一冊	五四三	買ものおほへ帳 ・久保田五兵衛・三輪田左兵衛	世話人津田又太郎・日比和蔵 寛政一一年六月	横長半	一冊	五四四	
ハナタイ徴 奉行預り 天明八年八月			横長半	一冊	五四六	買物帳 寛政一二年六月	西世話人正作・儀三郎・喜三郎・又五郎	横長半	一冊	五四五	
やまひき間口割 政五年六月	ぎやうじ甚太郎・清兵衛	寛	横長美	一冊	五四〇	買物帳 六月	奉行立川清兵衛・木村喜兵衛	横長半	一冊	五四三	
山挽間口割寛帳 政六年六月	奉行立河万吉・栗田嘉六	寛	横長半	一冊	五四一	太餅米買物代請取証文 年 当番 庄六宛	文化九年	横長半	一通	八四一	
蠟燭代集帳 年六月	奉行佐竹佐兵衛・森重吉	天明五	横長半	一冊	五四四	買物帳 月	奉行服部庄六・栗田浅次	文化一三年六	横長半	一冊	五四六
蠟燭代集帳 年六月	奉行立河万吉・栗田嘉六	寛政六	横長半	一冊	五二五	うりものの覚 かりものの帳	享和二年六月 享和三年六月	横長半 横長半	一冊 一冊	五二七 五二八	
八月祭礼蠟燭代 藤田平八・日比銀弥	世話人津田藤吉・服部清七・ 寛政九年		横長半	一冊	五〇五	借物帳 かりものの帳	西行事 文化五年六月 奉行立川清兵衛・木村喜兵衛	横長半 横長半	一冊 一冊	五二九 五三〇	
八月祭礼蠟燭代 郎・柏淵正作・津田又五郎	世話人栗田儀兵衛・木村喜三 寛政一二年		横長半	一冊	五〇六						
蠟燭代取集帳 享和三年六月			横長半	一冊	五二六						

借物預物帳 奉行田村繁三郎・立川新次郎 文政四年 横長半 一冊 五七

弘方并預ケ物覚 西行事 文化四年六月 横長美 一冊 五二

弘方并預ケ物覚帳 西行事中村万次・中嶋嘉吉 文化五年六月 横長半 一冊 五三

弘方并預ケ物覚帳 奉行木村嘉兵衛・立川清兵衛 文化九年六月 横長美 一冊 五三

弘方并預物覚帳 奉行木村喜介・日比榮吉 文化一二年六月 横長美 一冊 五四

愛宕堂修覆入用集帳 享和二年六月 横長半 一冊 五四

元愛宕社本地仏地藏尊即心寺江移転一件 横長半 一冊 五九

1 愛宕祭礼一件法記 明治三年七月 横長半 一冊
2 元愛宕社本地仏御供養覚書 明治三年七月 横長半 一冊

地藏堂

地藏祭礼諸入用帳 奉行小野宇助・渋谷兵之助 宝曆一二年九月 横長半 一冊 五二

地藏尊神事申合帳 西若連中佐竹清兵衛・山崎勘太郎 寛政五年六月 横長半 一冊 五三

神明宮

宮祭礼諸入用東西立合勘定帳 於寿量院 西世話人栗田儀三郎・相淵正作・木村喜三郎・津田又五郎 寛政一二年八月 横長美 一冊 五三

定日十六日神明宮御祭礼音打番附 一通 五七

治水

出水

砂入地改

(水入永引改帳) (文化五年カ)

乙亥石砂入引 庄六・元次郎分 (文化一二年カ) 横長美 一冊 一六

乙亥切入石砂入小砂入石砂入引当不引付立大元帳 当番高 文化一三年一二月 横長美 一通 一六五

亥年切入石砂入引帳 庄六郎・元次郎分 文化一三年一二月 横長美 一冊 一六

亥年入水ニ付石砂入荒所并ニ畑土取跡 (文化一三年一二月) 横長美 一冊 一七

亥年切入石砂入引撰出帳 東組 文化一三年一二月 横長美 一冊 一八

亥年切入小砂入当不引撰出帳 東組 文化一三年一二月 横長美 一冊 一八

寛政十戊午年より文政五壬午年迄堤敷并土取跡永引帳 東組 文政七年六月 横長美 一冊 二三

安政三辰年名寄帳調はづし置分 又五郎 嘉永元々安政三年 横長美 一冊 二六

安政六年末名寄帳起返候引残高覚 庄六分 安政六年 横長美 一冊 二九

砂入高ト永当高ト名寄帳ニ分ケ置候ニ付伺書状 松江益四郎 千秋庄六郎 文久二年一二月 一通 三三

<p>石砂入段免之分見取米書上 (明和二年カ)</p> <p>○</p> <p>旧八月洪水ニ付不納外畑掟米取立帳 千秋莊六郎扣地支配人川瀬十兵衛 明治一五年二月 横長美 一冊 八三</p> <p>旧四月洪水ニ付不納外畑掟麦取立帳 千秋莊六郎扣地支配人川瀬十兵衛 明治一五年八月 横長半 一冊 二九六</p> <p>起 返</p> <p>当酉起返反別帳 東組 天保八年一二月 横長美 一冊 一四六</p> <p>当戌中田起返反別帳 東組 天保九年一二月 横長美 一冊 一四七</p> <p>亥年下田下畑石砂入引起返帳 東組 天保一〇年一二月 横長美 一冊 一四八</p>	<p>飯引一件済口諸記 石砂入飯引熱談一札 島田村庄屋柏淵藤太夫他 大垣御預御役所 元治二年四月 美 一冊 一六三</p> <p>卯年田堀并芦生引地帳 東組撰出シ 慶応三年一月 横長美 一冊 一五三</p> <p>辰年水損引地撰出帳 東組 明治元年一二月 横長美 一冊 一四一</p> <p>未年水損引地撰出帳 中組 明治四年一二月 横長美 一冊 一四三</p> <p>申歳水損引地撰出帳 中組 明治五年一二月 横長美 一冊 一四三</p> <p>酉年水損引地撰出帳 中組 明治六年一二月 横長美 一冊 一四四</p> <p>戌年田畑水損引地撰出帳 中組 明治七年一月 横長美 一冊 一四五</p> <p>戊年水損引調査簿 中組 (明治七年) 横長半 一冊 一七六</p> <p>飯地目録 中組 明治七年 横長美 一冊 一七七</p> <p>(水入畑書上)</p> <p>○</p> <p>横長美 一冊 一七二</p>	<p>石砂入起返シ定書 立会中当番江集会 癸亥(文久三年)七月 一通 一六四</p> <p>洪水</p> <p>出水ニ付稲苗水腐近苗買入方并渡方諸事覚 万延元年五月 横長半 一冊 一五〇</p> <p>出水ニ付田苗水腐近苗買入方并渡方諸事覚 田 慶応四年六月 横長半 一冊 一五二</p> <p>○水見舞</p> <p>水見舞覚 万延元年五月 横長半 一冊 一七六</p> <p>高水ニ付村々水見舞帳 服部庄六郎 嘉永三年八月 横長半 一冊 一七七</p> <p>入水ニ付水見舞ニ遣ス人名記</p> <p>○</p> <p>明治一四年己九月十四日大洪水該村切入諸記 且牧田川通堤防字乗越ニテ破裂ス 明治一四年九月一三二年九月 横長半 一綴 一五三</p> <p>1 見舞御出并貰ひもの記 一通 一通</p> <p>2 該村切入ニ付家屋流失并死亡且入水之家江見舞遣ス覚 一通 一通</p> <p>3 村方焼出シ并取替記 一通 一通</p> <p>4 江月村入水ニ付見舞遣ス覚 一通 一通</p> <p>5 伊尾川筋大洪水ニ付大嶋堤之内曾根村ニテ切入大垣輪中入水ニ付見舞遣ス覚 明治一五年八月 一通 一通</p> <p>6 金草川通堤防切入之節見舞来ル分明 治一七年 一通 一通</p>
--	---	---

伊尾川筋大高(洪)水ニ付大嶋堤之内赤羽禰ニテ破裂して大垣輪中入水ニ付見舞遣ス分覺 明治二十一年七月	一通	三五二
8. 大地震之節潰レ家ノ向ニ見舞遣ス覺 明治二十四年一〇月	一通	
9. 大洪水見舞遣ス分 明治二十九年七月	一通	一五五
10. 烏江切ニ付再度入水見舞遣ス分覺 明治二十九年九月	一通	一六六
11. 金草川通堤防破壊ニ付見舞ニ御出并見舞品来ル分覺 明治三十二年九月	一通	一六六
大洪水ニ付隣村集方不行届ニ付御用赦書狀 大矢権左衛門 千秋庄六郎 明治八年八月	二通	二七三
明治十八年七月一日洪水事件諸記 千秋庄六郎 明治一八年月	一冊	一五三
水 防		
除 堤		
南北除堤上置清見帳 大垣黒鐵請負分 土屋武三郎 嘉永四年春	一冊	一五五
新除築立勘定帳 嘉永四年六月	一冊	一七三
構橋東北除堤上置清見帳 土屋武三郎 嘉永四年春	一冊	一五五
出水用心上ケ除川跡坪清見帳 土屋武三郎・日比野敬次郎 嘉永四年春	一冊	一五七
○		
洩水除刃鉄堤坪改帳 北新築連中 嘉永四年正月	一冊	一六三
除堤通改下絵図 大工田横ら初ル	一鋪	二六〇
普 請		
*村方自普請取替金請取覺 太々講連中 御金方千秋笹峰 文久二年九月	一通	二五二
普請割撰出帳 東組 明治元年一二月	一冊	一五五
普請割撰出帳 中組 明治四年一二月	一冊	一六六
普請割撰出帳 中組 明治四年一二月	一冊	一六七
普請割撰出帳 中組 明治五年一二月	一冊	一六六
西歳普請割撰出帳 中組 明治六年一二月	一冊	一六九
松之木普請田割合簿 千秋庄六郎扣 明治七年五月	一冊	一六四
普請割撰出帳 明治七年一二月	一冊	一五五
大工事関係地仕訳帳	一冊	一九
金草川堤防		
金草川堤防増築工事元帳 養老郡高田町 明治三年一月	一冊	一七
金草川堤増築丈量図并土木費補助申請書 高田町横山鉾呂久 岐阜県知事明治三三年	一冊	八〇三
金草川浚渫及堤防増築之図 明治三三年	一枚	八〇四
(金草川堤増築ニ付字川原毛地番取調絵図) 明治三三年	一枚	八〇五
(字武佐田地番取調絵図) 明治三三年	一枚	八〇六
(字松の木地番取調絵図) 明治三三年	一枚	八〇七
(字楽野地番取調絵図) 明治三三年	一枚	八〇八

築堤間測図

水番

水番根取調簿 根取雇人調帳 村井寅吉 明治一六年

横長半 一冊 八八

用水

川堀

城前川・大道川巾広勘定帳 (嘉永四年六月)

横長半 一冊 一七〇

城前川堀割勘定帳 嘉永四年六月

横長半 一冊 一七四

嶋田・村下河間水抜川堀勘定帳 嘉永四年六月

横長半 一冊 一七三

高・村・西河間水抜川堀勘定帳 嘉永四年六月

横長半 一冊 一七二

已改川堀諸入用字別控帳 午・末年(安政五・六年カ)

横長半・半 一冊 二四五三

*新江通引替ニ付起返シ畑弁米江月村渡方願書 安八郡久瀬川村勝沼儀兵衛 森田七右衛門御陣屋 巳(安政四年)九月

半 一冊 二五二

くいちがいわく入人足差出日数書上覚

横長半 一冊 二五五

樋口信七・千秋庄六分水替人足西屋敷仲藏作・宇三郎作之麦田并水田横長とも 小野甲悦樋口信七・千秋庄六

一冊 二五六

掛樋

(水行差障ニ付新井樋取払一件口上書) 善蔵・新次郎・三弥 文政三年一二月

一通 二四九

惡水吐樋除以堤増土上置除川跡坪清見帳 嘉永四年春

横長半 一冊 一五五

掛樋入用割合帳 安政五年一二月

横長半 一冊 一五九

築地宅番井・式番井大野七番井八番井・築地正蓮寺井田並撰出帳 服部庄六郎 安政五年一月

横長半 一冊 一六〇

南沖・北沖掛樋水懸田並帳 服部庄六郎 安政五年一二月

横長半 一冊 一五八

井戸

井戸入組済口取替セ証文之事 願主高田町・下高田障方小前中 押越村庄屋新七・上ノ郷村庄屋藤太夫 文化一〇年二月

一通 一四六

井戸入組済口取替セ証文 願主高田町・井口障り方 文化一〇年二月

一通 一四七

(高田町堀貫井戸儀ニ付筒竹寸法覚) 庄屋市右衛門 文化一〇年二月

一通 一四八

堀抜井戸一件不調法ニ付御詫一札 繁蔵 藤五郎 嘉永六年七月

一通 二四四

井戸再普請簿 植田利助・村井寅吉 明治一六年

横長半・半 一冊 二四四

井戸入用割差出方覚 吉兵衛 伊八

一通 二四〇

堀貫井戸譲リ渡し代金受取証文之事 忠左衛門 庄六 天保二年一二月

一通 二四七

拝借金受取証文(堀貫井戸株売却ニ付返済)忠左衛門 清七 申(天保七年一二月)

一通 二四六

堀貫井戸株譲渡申証文之事 安治 市左衛門 天保四年正月

一通 二四三

水道試通ニ付招候人名并買物覚 五月

一通 二六九

江料代

○

嶋田村江通之事 写 烏江村吹原勘兵衛 延宝四年二月

江月村江通り絵図

当村江料持主記 (明治)

多芸郡江月村地内千秋庄六郎殿共有地諸費差引記 上笠村国枝庄平 明治二十四年一月

庄六所持之江料米畑ニ而受取方御尋書状 江月村市兵衛 千秋庄六 (明治)二月朔日

納米・金

江月村江代差上証文 江月村庄屋吹原市兵衛 服部庄六郎 弘化四年正月

江月村江代差上証文 江月村庄屋 服部庄六郎 嘉永三年二月

戊年江料米代金差上証文 江月村庄屋 服部庄六郎 嘉永四年四月

江料米代金差上覚 船付村庄屋安田弥兵衛 服部庄六郎 安政四年二月

巳年江月江代米金差上証文 江月村庄屋吹原市兵衛 服部庄六郎 安政五年正月

江月村江代米差上証文 添書状共 江月村吹原市兵衛 服部庄六郎 安政六年正月

船付村江代米金差上覚 谷伝之右衛門 千秋庄六郎 万延元年四月

江代米代金差上覚 江月村日比茂十郎 千秋庄六郎 慶応二年六月

3x24

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

一通 一五三

(丑年分三ヶ村江代収方覚) 日比茂十郎 千秋庄六郎 慶応三年二月

江料米金収納通知状并御歳暮札状 江月村吹原勘兵衛 千秋庄六郎 明治五年正月

吹原勘兵衛書状 服部笙峰宛 四月

渡方

(悪水落江筋之内西岩道村敷地分江代米直渡願) 西岩道村庄屋 嶋田村御庄屋中 (嘉永五年) 一二月

申年分江月江代三ヶ村江代二口代金渡方覚 江月村庄屋 服部庄六郎 嘉永二年正月

岩道村江料代渡方一件ニ付尋状 吹原勘兵衛 服部庄六郎 嘉永五年七月・一二月

岩道村江料代一件書状 土屋篤四郎 千秋庄六郎 三月二二日

江代米代金渡方覚 船付村庄屋 千秋庄六郎 久二年七月

(三ヶ村江代残分渡方覚書) 江月兼帯佐藤稀造 千秋庄六郎 文久二年・一二月

(亥年分江料代残分渡方覚書) 佐藤与三郎 千秋 文久四年二月

江代米渡方取極メニ付御出張願状 江月村日比野定吉 千秋庄六郎 九月一二

請取

佐藤与三郎ニ請取分覚 笙峰庵宛 天保一四年 一〇月

横長美

江代米金請取覚 船付村安田弥兵衛 服部庄六郎 嘉永六年二月	一通 二四九	(未・申兩年江月村江料米勘定覚) 佐藤惣三郎 文久元年五月	一通 一五六
高田服部氏へ来候江月三ヶ村江代米金請取覚 金藏 吹原 巳七月	一通 二四九	三ヶ村并江月村分升数米差引勘定調 安田半兵衛 千秋 明治一一年二月	一通 九六
江月村江代米請取覚書	一通 二七七		
江月村地内今屋・飯積・直江三ヶ村惠水落江料米年々江月村江請取来候分 (嘉永四年)	一通 二四五	安政四年分江月村江料代殘金預リ覚書状 江月村庄屋 服部庄六郎 安政五年四月	一通 一五三
(江料米代金一部取立差上書状) 吹原市兵衛 千秋庄六郎 文久元年二月	一通 一五三	安政六未・同七年申兩年江料米之内殘米代元利共書上覚 安政六・慶応元年	一通 一九六
江料米受取方ニ付尋状 江月村市兵衛 千秋庄六 二月朔日	一通 二六六	(三ヶ村江代米殘分金納願書状) 江月吹原市兵衛 服部庄六郎 安政七年二月	一通 一五五
差引勘定		申年分并酉年分殘リ江料米代勘定覚 江月吹原市兵衛 千秋庄六郎 文久三年正月	一通 一五九
戌年江料米代金差引勘定覚 江月村庄屋吹原市兵衛 服部庄六郎 嘉永四年二月	一通 一五四	佐藤与三郎方為替金代米預リ覚 船附安田半兵衛 千秋庄六郎 文久三年二月	一通 一五三
江月村江料米代金差引勘定覚 江月村庄屋 服部庄六郎 嘉永五年二月	一通 一五五	江料米御尋ニ付返札 江月村市兵衛 千秋庄六 未五月一九日	一通 二六九
(亥年江代米差引覚) 江月村庄屋 服部庄六郎 嘉永五年二月	一通 一四六	○延引願	
江月村江料米代金差引勘定覚 江月村庄屋 服部庄六郎 嘉永六年二月	一通 一五六	(江月村江料代御差延願状) 江月村吹原市兵衛 服部庄六郎 安政五年八月	一通 一五四
(亥・子兩年江代米渡方差引算違覚) 江月村庄屋吹原市兵衛 服部庄六郎 嘉永六年二月	一通 一四九	(江料米代延引取極一札) 写共 江月村吹原市兵衛 千秋庄六郎 文久元年八月	二通 一四九
江代米差引勘定覚 船付村庄屋安田七郎兵衛 服部庄六郎 安政五年極月	一通 一五六	(江料代延引願) 江月村吹原勘兵衛 千秋庄六郎 酉(文久元年)一〇月	一通 一四三
(午年江月江代并三ヶ村江代米差引覚) 江月村庄屋 服部庄六郎 安政六年正月	一通 一五〇		
(江月村江代差引勘定覚) 江月村兼帯佐藤稀造 千秋庄六郎 文久元年五月	一通 一五三	(臨時入用繰替ニ付江料米御日延願状) 江月村吹原市兵衛 千秋庄六郎 文久元年一〇月	一通 一五七

<p>*（和宮様御下向ニ付臨時支出被仰付借用金返 濟差延願） 江月村吹原市兵衛 千秋庄六郎 文 久元年一〇月</p> <p>和宮様御下向ニ付人用金多分ノ為江料代米金 御差延願 吹原市兵衛 千秋庄六郎 文久元年一 〇月</p> <p>（江月村地内江料米渡方延引口上書） 直江村 庄屋 千秋庄六郎 文久元年一二月</p> <p>江代米御差引延引御免願 船附村庄屋 千秋庄 六子（元治元年）一月</p>	<p>一通 一五八</p> <p>一通 一五九</p> <p>一通 一五六</p> <p>一通 一五四</p>
<p>○過納</p> <p>（三ヶ村江代過納ニ付返金願） 江月村市兵衛 千秋庄六郎 巳（弘化二年）正月</p> <p>三ヶ村江代米過納ニ付返金願 江月村市兵衛 千秋庄六 巳（弘化二年カ）正月</p> <p>舟付村江代米過米渡方覚 庄屋安田七郎兵衛 服部庄六郎 安政三年正月</p> <p>○</p> <p>江料米返濟方ニ付約定証文 江月村市兵衛 千 秋庄六郎 文久三年八月</p> <p>江代米高当リ冥加金年賦一時払請取覚 船付 村庄屋谷伝之右衛門 千秋庄六郎 文久三年一二 月</p>	<p>一通 一四九</p> <p>一通 一五六</p> <p>一通 一五三</p> <p>一通 一四九</p> <p>一通 一四三</p> <p>一通 一五四</p>
<p>船付村江代算当覚 谷伝之右衛門 服部正六 安政五年七月</p> <p>*江月村江料代帶金皆濟ニ付頼母子講金請取証 文 江月村市兵衛 千秋庄六郎 明治二年六月</p>	<p>一通 一五九</p> <p>一通 一四四</p>
<p>金草川通惡水落ニ付江料御届書拝借願状 烏 江村戸長 高田村戸長 八月二日</p> <p>江料米并土取跡代米用水口代等ニ付伺書状 吹原市兵衛 千秋庄六郎 三月二日</p> <p>（江料米之内土場出し運ちん渡方頼状） 江月 村吹原市兵衛 服部庄六郎 安政七年正月</p> <p>江代米起返分無之儀ニ付御立合案内書状 江 月村組頭 千秋庄六郎 五月一日</p>	<p>一通 一五〇</p> <p>一通 一五七</p> <p>一通 一五三</p> <p>一通 一五三</p>
<p>出入</p> <p>訴状下（江料米引渡方一件） 千秋庄六郎 名古屋 御県鶴多須御出張所 明治四年八月</p> <p>明治一〇年訴訟三ヶ村及江月村江料米契約書 千秋十三郎 明治一〇年</p>	<p>半 一冊 八</p> <p>半 一綴 三五五</p>
<p>1 （築埋取極証文） 多芸郡飯積村庄屋磯右 衛門他 江月村役人 宝永二年正月</p> <p>2 新江漬地証文 多芸郡直江村・金屋村 ・飯積村役人 江月村役人</p> <p>3 （新規瀬替堀次取極証文） 金屋・直江 ・飯積村役人 江月村役人 寛政六年四 月</p> <p>4 江替新二江漬地証文之事 金屋・飯積 ・直江村役人 江月村役人 嘉永四年一二 月</p> <p>5 惡水落江代米手続書 第四大区八小区金 屋・飯積五小区直江村 第三大区十一小区 江月村戸長 明治八年</p> <p>6 御伺書 第三大区十一小区江月村 岐阜 県権令小崎利準 明治一〇年四月</p>	<p>一通 一五〇</p> <p>一通 一五七</p> <p>一通 一五三</p> <p>一通 一五三</p> <p>一通 一五三</p> <p>一通 一五三</p>

7	御伺書 第三大区十一小区江月村 岐阜 県権令小崎利準 明治一〇年七月	一通	一冊	一〇八三	江料米滞一件ニ付定吉・治郎九病氣ノ為滞米 渡方再延願 庄六郎・益次郎・江月村元庄屋市 平 岐阜県御役所 明治五年七月	一冊	一〇八三
8	手続書(悪水落江敷ニ貸渡置候掟米滞リ一 件) 第三大区十一小区江月村 岐阜区裁 判所長 明治一〇年八月	三通	一冊	一〇八三	江料米滞渡方濟候ニ付一件落着濟口届書 庄 六郎・市平他 岐阜県御役所 明治五年七月	一冊	一〇八三
9	悪水吐江敷地代米約定違変之訴状(江 月村戸長直江・金屋・飯積村戸長ニ相掛 ル訴状) 松本裁判所岐阜支庁判事補座光 寺紀宛 明治一〇年	一通	一冊	一五三	江月村一条濟口証文延引ニ付詔状 佐藤与三 郎 千秋庄六郎(文久三年カ)九月	一通	一五三
10	江敷代米淹滞訴答 第四大区五小区直江 村他二カ村 明治一〇年八月	一通	一冊	三三六	宝永二酉年・安永六酉代米拵主調 江月村仲 右衛門 三カ村御庄屋中 天明治三年三月	一通	三三六
11	手続書 江月村戸長 岐阜区裁判所長 明治一〇年八月	一通	一冊	三三五	江代米滞出入一件歎願書 橋爪村喜一郎 笠松 県御役所 明治四年四月	一通	三三五
12	地券之証 岐阜県令長谷部恕連 千秋庄 六郎	一通	一冊	二六六	江月村江料米起返并滞米一件諸費記 西二月 栗笠江代金一件ニ付御出張頼状 藤太夫 笙 峰 一二月二日	一通	二六六
13	裁判申渡書 松本裁判所岐阜支庁 明治 一〇年九月	一通	一冊	二五四	○	一通	二五四
14	(辨米償却証) 直江村他二カ村 江月村 戸長 明治一〇年十一月	一通	一冊	二四八三	質流ニ相渡シ申江料米証文之事 多芸郡烏江 村 平右衛門 庄六 天明三年一二月	一通	二四八三
15	差入申証券 江月村戸長 千秋庄六郎 明治一〇年二月	一通	一冊	二四八四	質流相渡申証文之事 江料米質物 町権九郎 柳次 文化一四年六月	一通	二四八四
	江料米滞一件ニ付御答日限御猶予願 庄六郎 岐阜県御役所 明治五年五月	一通	一冊	一九三	質流ニ相渡申江料米証文之事 鳥江吹原勘兵 衛宛戻証文之写 栗笠与三郎 庄六郎 天保一 年一二月	二通	一九三
	新江料渡方願書 庄六 岐阜県御役所 明治五 年四月	一通	一冊	二四八四	質物流相渡申江代米証文之事扣 佐藤与三郎 庄六 天保一五年一二月	一通	二四八四
	江料米滞一件落着ニ付滞米請渡方日限御猶予 願 庄六郎・益次郎他 岐阜県御役所 明治五年 六月	一通	一冊	三九〇	質物流相渡申江代米証文之事 佐藤与三郎 庄六 天保一五年一二月	一通	三九〇
		一通	一冊	二八四	質物流相渡申江代米証文 佐藤与三郎 庄六 天保一五年一二月	一通	二八四

質流相渡申江代米証文之事 佐藤与三郎 庄六
天保一五年一二月 一通 一〇六

質流相渡申江料米証文之事 栗等村佐藤与三郎
庄六郎 安政二年一二月 一通 一〇七

質物流相渡申江代米証文之事 笠毛村傍島新
右衛門後家 嘉永六年一〇月 一通 三九二

質流相渡申江料米証文之事 江月村名主・頭百
姓中 千秋庄六郎 万延元年三月 一通 一〇六

○
*江代米并借家扣 千秋庄六郎 安政四元治二
年 横長美 一冊 二九七

*江代米并借家賃覚 慶応二年 横長美 一冊 二九六

中島家

家

家記

(中島家法名調書) (承応万延) 二通 一四七

(中島家先祖累世法界万靈位) 一綴 一四七三

(中島家先祖累代法名記) 一通 一四四

葬式役附 一通 一四二

○
押越村中島彦左衛門相統財産一件書類 明治
三二年 一綴 一四七〇

中島家金銀出入勘定帳 第貳号 千秋元次郎
明治二年四月 横長半 一冊 三三

中島家金銭出納勘定帳 第三号 千秋元次郎
明治九年一〇月 横長半 一冊 三三三

土地

○
中島彦左衛門所有地取調記録 千秋元次郎
明治二四年二月 横長半 一冊 四〇八

質流地

質流ニ相渡申屋鋪畑之事 掟方之覚共 兵左衛
門 佐右衛門 寛政六年三月 二通 一四六

(質地先地質流証文添証文) 兵左衛門 佐右衛
門 寛政九年一二月 一通 一四六〇

(相合地質流地ニ付代金請取一札) 兵左衛門
佐右衛門 寛政一〇年九月 一通 一四六三

質流相渡申屋鋪畑証文之事 兵左衛門 永丘寺
御納所 享和元年一二月 一通 一四六三

質流相渡申畑地証文之事 横折之覚共 押越
村兵左衛門 高田町弥藏 天保一四年一二月 三通 一四六

質流相渡申地畑証文之事 横折之覚共 押
越村兵左衛門 高田町卯助 弘化二年一二月 二通 一四六九

○
差入組内洛証文之事(地境土居) 写共 右内・源
左衛門 取暖入庄屋彦左衛門 天保四年六月 三通 一四六

当巳年 来巳年迄拾三ヶ年賦ニ借用申金子証
文之事 横折之覚共 庄七 安左衛門 天保四年
一二月 二通 一四六九

(中村九右衛門略系図) 明治三三年 一通 一七六
(伊藤市右衛門略系図) 明治三三年 一通 一七六

○ (三宅乾三略系図) 明治二九年九月 一通 一七四一

(坂田郡林兵衛門略系図) 明治三二年三月 二通 一七四〇

(日比七兵衛略系図) 明治三二年 一通 一七七

樋口太兵衛跡(樋口鎌吉略系図) 明治三三年 一通 一七四

(早野七郎治略系図) 明治三三年 一通 一七三

(小野兵助略系図) 明治三三年 一通 一七三

(小野七左衛門略系図) 明治三三年 一通 一七六

(小野八左衛門略系図) 明治三三年 一通 一七五

(杉江林右衛門略系図) 一通 一七九

○ (西福寺住職略系図) 明治三三年 一通 一七〇

(専念寺住職略系図) 明治三三年 一通 一七二

(馬淵貞吉先祖書ノ件ニ付来状并略系図) 吉 二通 一七四
田屋 千秋庄六郎 一一月九日

美濃国多芸郡島田村千秋家文書目錄解題

文書の伝来

本文書は、岐阜県養老郡養老町高田千秋(服部)庄六家の原蔵にかかり、昭和二九年岐阜市の故紙回収業者より直接当館の所蔵に帰したものである。

島田村と高田町

千秋家が居住した美濃国多芸郡島田村高田(現在岐阜県養老郡養老町高田)は、西は南北に走る養老山系と、東の捐斐川にはさまれた山地と低地との中間にある所謂多芸輪中内の一村である。

十六世紀中頃の作といわれている「美濃諸旧記」の一節に

去程に其後程経て元正天皇の御宇養老二年(七一八)、志津の大佐美といふ者勅を受けて当国を治む。是は靈龜三年(七二七)に当国不破郡高田の奥山中に靈水涌き出で、老人之を汲みて服しけるに、忽ち其齡壯年となる故に其靈水を養老と号く。靈龜の年号又之に改元す。元正帝此所に御幸ありて養老の靈水を御覧ありて御還幸の砌、志津大佐美に勅ありて当国の目代に命ぜられしと云々

と記されているが、多度山の美泉を見て養老と名付けられ、しかも年号迄も改元されたといわれるこの高田の地は歴史的にも由緒あるところであることはいうまでもない。江戸時代に入ってからの高田町は、尾張藩士文園岡田啓の遺稿である「新撰美濃誌」(天保・安政)に

島田村は鳥江の西北にあり、高田町^{家並多く}なり。下高田ありて島田のうちなり。「御料二千六百九十六石六斗一升六合」「美濃中道」は関が原の駅中より牧田へかゝり、こゝを経て鳥江より舟路を伊勢・尾張へゆくを俗に牧田街道といふ。是むかしの「みのの中道」なるべし、関が原より高田町まで二里半あり

と説明しているごとく、濃州三湊（船付・栗笠・鳥江）を中心として河川交通の要衝地となり、在町の高田町を中心に発達したところである。とくに明治十一年（一八七八）には高田町に多芸・上石津郡役所がおかれ、養蠶業を始めとして地域の商工業の中心的存在となった。かくて高田町が二千六百余石という大村島田村の中心地であったことは衆目の一致するところであるが、高田町がさきの「美濃諸旧記」にも不破郡高田村として島田村とは別村に記して、不破郡五十二か村中へ養老村と共に入っている。また千秋家の本村（島田村）に所有している控地の掟帳の作製に際しても、高田町分は「町小作」とし、他の本村内の掟帳は「村小作」と別帳にしているなど、島田村内でも単なる一大字ではなく、独自の村落組織をもっていたと考えられる。それに加えて、明治二十二年（一八八九）六月には、島田村は高田町と改称し、さらに明治三十年（一八九七）四月一日発布の町村制第四条には

一多芸郡高田町及鳥江村ヲ合シ、其ノ区域ト養老村の一部（大字押越（白石地内飛地）押越山ヲ除ク）ノ区域トヲ以テ高田町ヲ置ク

とある事実からしても高田町の性格が判明できよう。そこで本文書の大部分が千秋家の旧居住地の高田町関係の史料であつたために、従来は「高田町千秋家文書」と名付けてきたが、江戸時代の正式の行政区画は島田村のうちということのために、本目録では「島田村千秋家文書」に改称した。

支配関係

島田村は、古くは豊臣秀吉の蔵入地であつたが、慶長五年（一六〇〇）に、徳永左馬助寿昌が関が原の戦功によつて高須城を与えられ、多芸・不破・石津・海西四郡で五万三千石を領したために、この地も寿昌が領するところとなつたが、子左馬介昌重のとき、大坂城改築普請の不始末によつて寛永五年（一六二八）二月二八日所領を没収せられ出羽国に預けられたため、昌重の旧領は美濃代官岡田将監善同・善政（善同は寛永八年迄）の管轄地となつた。その後寛永一七年（一六四〇）九月小笠原主膳貞信が高須城主となつたために再び高須領に復したが、しかし元禄四年（一六九一）には、小笠原主膳みずから領内の水害被害を理由に幕府に領地替えを願ひ出したために、越前大野勝山城に移され、旧領はまたまた幕府直轄地に歸し、代官石原清左衛門・南条金左衛門・岩手藤左衛門の支配となつたが、わずか二か年にして、すべて笠松陣屋支配にかわつた。さらに宝暦一三年（一七六三）八月には、笠松代官千種清左衛門直豊より、大垣藩主戸田采女正氏英の預所となつて幕末に至っている。

なお大垣藩御預所領内は、一番組〜四番組までに行政区画をし、それぞれの各組に割元をおいて管轄したが、天保七年（一八三六）諸用

留によると島田村は四番組に属しているが、千秋家文書中には具体的な事例は見当たらない。

明治四年（一八七二）七月島田村は大垣県の所轄となり、同年十一月岐阜県に統合し、さらに明治六年（一八七三）四月大小区制の実施とともに第四大区五小区に配属された。明治十二年（一八七九）三月、多芸・上石津郡役所設置とともに大小区制は廃止され島田村他二か村と称したが、明治二十二年（一八八九）七月より多芸郡高田町と改名したが、郡名も明治三〇年（一八九七）多芸郡より養老郡に移り、戦後昭和二年（一九五四）十一月岐阜県告示により現地名の養老町に統合された。

千秋家の出自と服部姓

千秋家の先祖については「先祖書」「系図」などが一切残されていないのと、直系の子孫が絶えているために詳細は判明しない。

したがって掲出の「千秋家略系図」も関係史料が皆無であつたために、出産・婚礼・仏事などの諸史料をもとに、墓石に残されている墓碑名などの調査によって作成したために、あるいは多少の誤謬があるかもしれない。

そもそも千秋家とは「安政五年（一八五八）四月京都星野氏おたみる来ル」と端裏書のある「由跡記録書」（史料番号八六一）によると

千秋惟範者鎌足公十七代孫三河守範宗次男也

一熱田大宮司者鎌足公拾八代千秋家範其子也、本紋丸ニ三ツ柏鶴付キ星野者此類族也

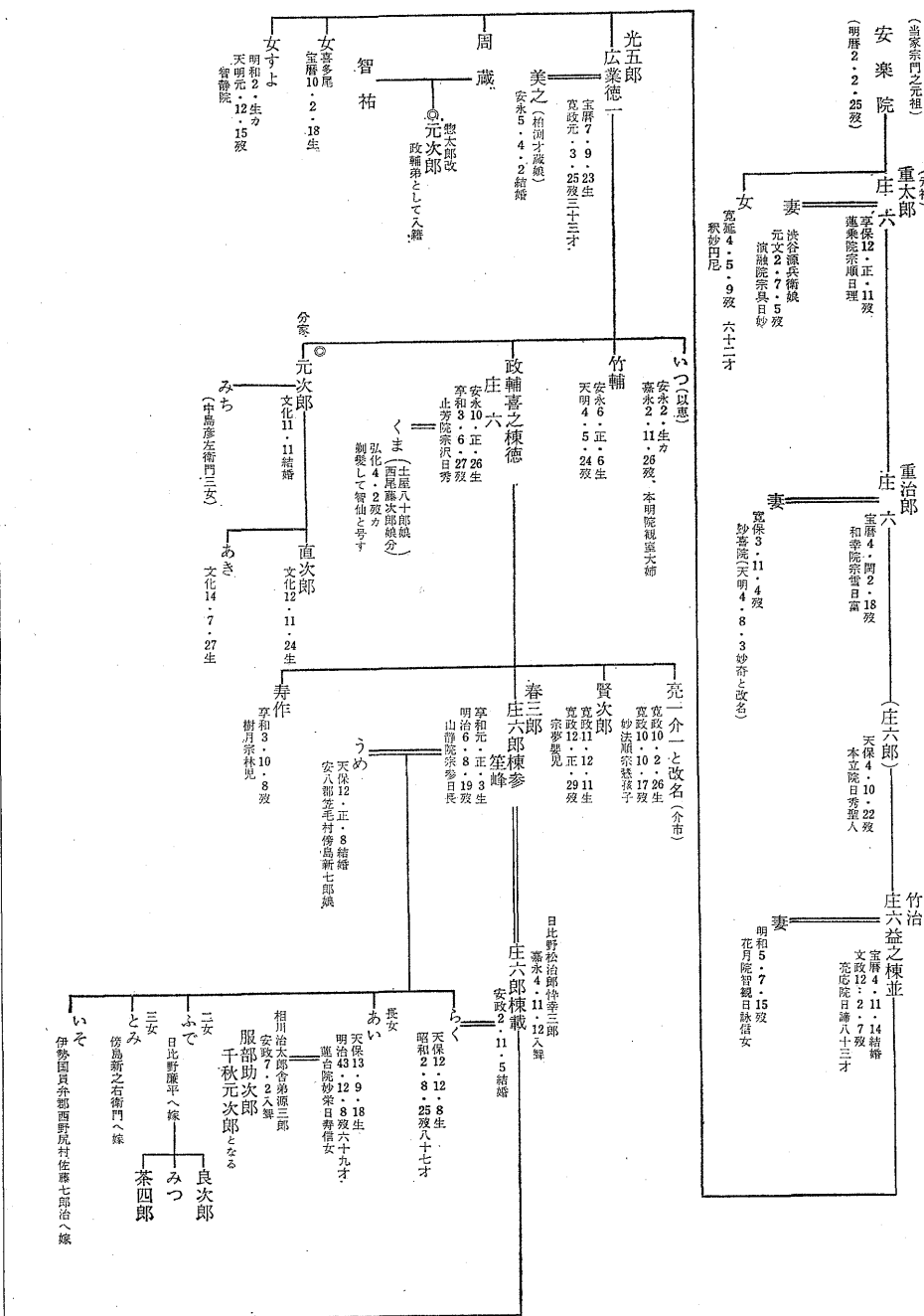
と記録されているが、はたしてこの千秋惟範が先祖であつたかは今のところ確証できない。本文書の中でも、江戸初期のころは「高田町重太郎」「高田庄六」とあるのみで、姓は冠していない。江戸中期頃になって服部姓を名乗っているのが散見できるが、その服部姓と千秋姓との関係が問題になってくる。千秋家又は服部家が、代々庄六（又は庄六郎）を襲名していたことは間違いないが、例えば宝暦四年（一七五四）閏二月十八日服部庄六死去に際し、嗣子服部竹治に与えた遺状には

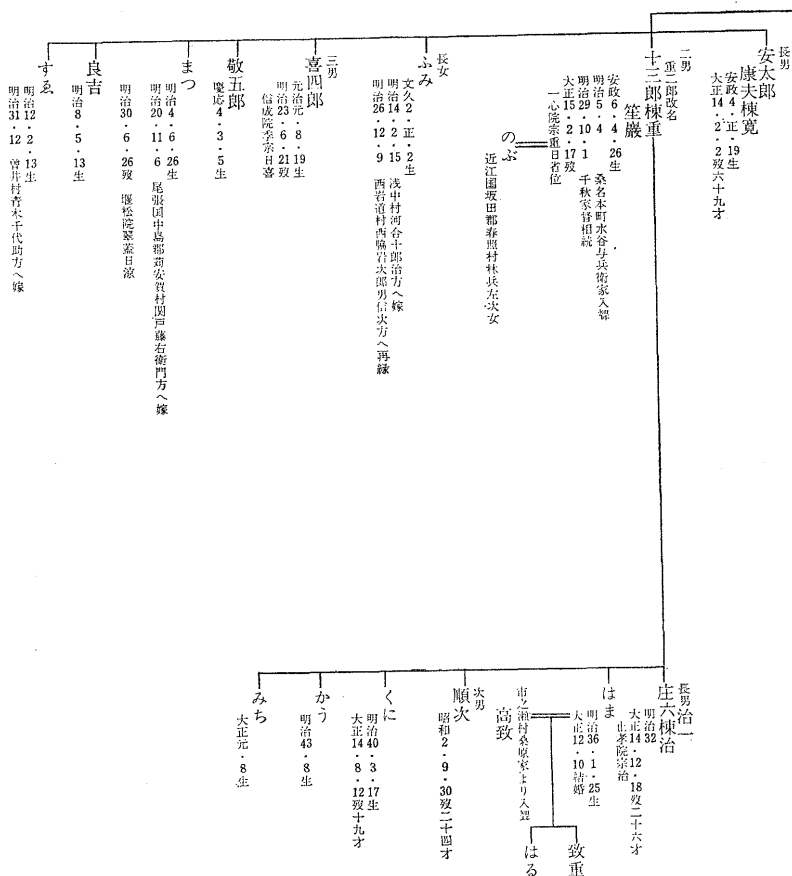
実名 服部重治郎

家名 服部庄六

代々右之通家名相続可致候

（当家宗門之元祖）





凡例
1 血縁、2 養子、3 当
主を指示。
2. 各人名左側年月日は生年と歿年を
示し、法名と享年は判明できたも
ののみを示した。

と伝えているごとく、少くとも江戸時代に入ってから庄六家は、最初服部氏を称したとも考えられるが、ときには千秋姓も同時に名乗っていたと思われる。文政六年（一八二三）八月新入別高田畑元帳（史料番号二八七）中に

文政六年八月アラタメ千秋庄六郎 服部庄六棟参

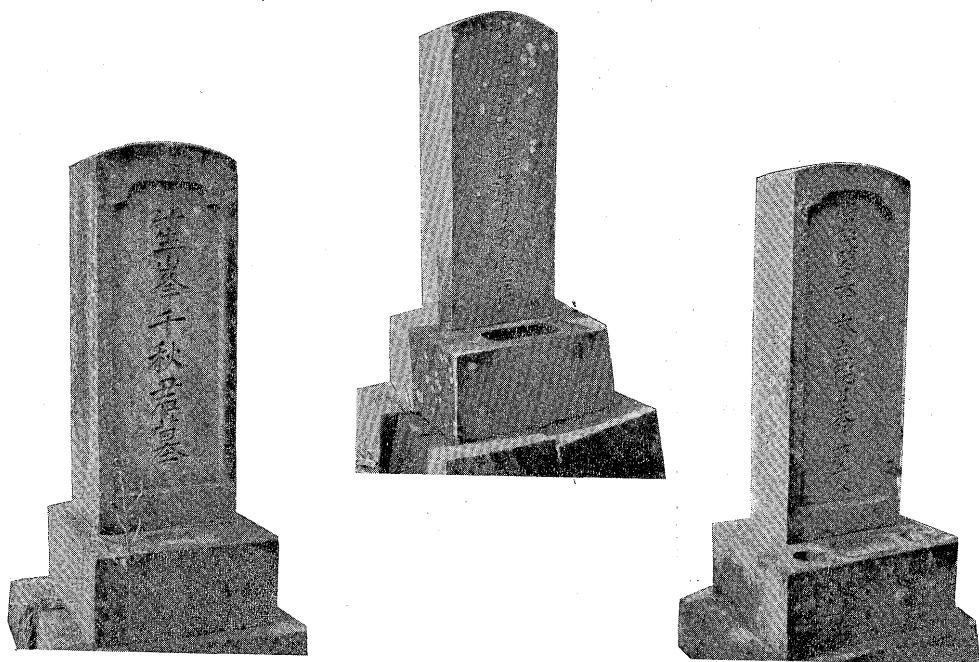
と書かれ、その裏表紙には

服部庄六復、更千秋庄六郎

と記されている。これらの記事によっても判明するように千秋↓服部↓千秋姓となり、さらにこの後も同人が服部姓を使用していた。この服部（千秋）庄六棟参笙峰は千秋家の当主の中でも在世期間が一番長く、しかも文人・茶人としても大いに活躍した人であるが、ちなみに笙峰の碑文をここに引用してみる。

千秋君原姓服部氏美濃高田人君諱棟参字生万幼称春三郎笙峰其父棟徳母土屋氏以享和元年正月三日生君々為其第三子幼而失怙民所鞠育既而成立及後嗣家襲父通称莊六郎後又削髮以号行君多技能読書作詩興梁川星岳及村瀬藤城諸子尤親善因名其社曰白鷗云々

このように服部姓と千秋姓を混交して使用している場合が多いが、しかし幕末の天保元年（一八三〇）十二月（口絵参照）「年始御札并御参府御帰城の節罷出御目見」を許されてのち、安政七庚申（一八六〇）三月十二日「公ヨリ名字ユルサル、氏ヲ復シ千秋トアラタ



ム、千秋笹峰棟参千秋庄六郎トナル」とか、質流証文の端裏書（史料番号二二三八）に「当申三月一二日御公儀様々名字御免ニ相成候後此証文始而請取」との記事からしても、公的に苗字を許されたのはこの時で、以後は千秋姓を一貫して名乗り、服部姓は消滅した形となっている。したがって一般にあるところの服部姓から千秋姓に単純に改名したケースとはやや異なる複雑な形態であるが、その間の事情は今のところ全く明らかでない。

大正十四年（一九二五）に刊行された「養老郡志」の第五章苗字の項にも「郡内重なる苗字を記すと左の如し」として掲載されている高田町の中には服部姓はあるが、千秋姓が見当たらないのは何故であろうか。その反面同書の「高田町の古文書」という項には、千秋家の当主千秋十三郎氏所蔵の古文書のみが収録されているし、現在では高田町の人々は服部姓なる家は知らないとの返答であるが、いずれにしても両姓の関係は不思議な点が多い。

なおさきの養老郡志収録の千秋十三郎氏所蔵古文書は、本文書中にはなく、現在は高田の日比野泰氏の所蔵に帰されている。

文書の特性と千秋家

千秋家の家業

千秋家（以後煩雑をさけるために千秋家で統一する）は、一六世紀末から十七世紀にかけて、急速なテンポで土地集積を行なった典型的な地主であるが、村における公的な地位は、江戸時代には百姓代をつとめた程度であり、明治に入っても一時期庄屋・戸長に就任したにすぎない。そのほかは、明治七年（一八七四）島田屯所の御用係及び藍田学校の御用係をつとめた。但し分家の元次郎家は明治期には、多芸・上石津郡の書記をはじめとして、生糸製造取締役など村の公的要人として活躍している。したがって文書の内容も、質流証文や売買証文など土地移動に関するものと、それによって取得した土地の経営に関する所謂私文書が大宗をなしている。一般にいう村の公的な史料は村入用・治水・祭礼などのほかは、千秋家が関係した明治期の屯所・藍田学校の文書類が残存しているにすぎない。

千秋家文書の主体をなす土地集積史料は、宝永二年（一七〇五）の売買証文を初見とするが、享保・化政期にかけてが土地移動の最盛期の

ようであつたために量的にはその時期の記録が一番多い。例えば天明三年（一七八三）五月の「讓渡田畑御帳証文」（史料番号九）を例にとつてみよう。高田町のうちで

屋敷畑壹畝壹歩

高壹斗貳升四合

上畑四反八畝拾三步

高五石三斗貳升七合

中畑五反六畝拾七歩

高五石九升壹合

外下畑六畝五歩

高四斗三升貳合

下畑七反四畝廿貳歩

高五石貳斗三升貳合

上田貳町壹畝貳歩

高貳拾八石壹斗五升壹合

中田壹町七反八畝拾七歩

高貳拾壹石四斗貳升八合

下田壹町八反五畝四歩

高拾八石五斗壹升四合

合田畑七町五反壹畝貳拾壹歩

高八拾四石貳斗九升九合

内

拾八石壹斗八升貳合

石砂入引有

内五石貳斗六升三合 段免有

四斗九升七合 輪持引并土取跡引有

貳斗壹升八合 除鋪土取跡講敷当不引有

又

此代金八百五拾兩也

という買得をしている。これは高田町の藤次郎が所持地を、町内の多右衛門・藤左衛門・久次郎・甚四郎・吉兵衛計五人に金子八百五拾兩で質流地として渡し、さらにこの五人連名でその質流地を庄六に譲渡した証文である。これによつても判明するが、当時の千秋家が一度に七町五反壹畝貳拾壹歩の田畑を八百五拾兩で買得しうる資力があつたということであるが、このように、大・小の田畑を着々と集積して、それを掟作に出して経営をしていたのである。千秋家の最盛期の正確な土地保有面積は未だ確認できないが、幕末の万延元年（一八六〇）には、本掘地高田町で二百貳拾八石七斗九升五合、慶応二年（一八六六）三月の「当寅宗門人別御改帳」（史料番号二）にも「高貳百壹石斗七升八合 千秋庄六郎」とあるによつても、すくなくとも高田町で貳百廿石余の土地を所持していたことは確実である。それに他の周辺の村約一〇か村、さらに幕末には江州（近江国蒲生郡日野）にも相当な田畑を保持し、それらを掟作に出して差配人において経営していた。

千秋家では右のように土地経営が家業の主軸であつたことは勿論であるが、このほかに油店と貸家も同時に行なつていた。これらの詳細な経営状態は判然としないが、千秋家の家業経営方針の一端をうかがいうる史料として、宝暦四年（一七五四）嗣子竹治に宛てた庄六の家訓遺状を紹介してみる。（史料番号八六二）

申 渡 覚

一 明六ツニ起申事

一 土藏開キ申事

藏開候節、見世之者へ申付、跡ヲ相改吟味可致事

一 朝夕佛前勤行并裏座敷御漫陀羅勤行

一 質物方出情致、無油断商売相勤、少々宛余慶ヲ取替、質物相減不申様ニ可致事

一 勘定之事

一 奢間敷事

一 無盡之金子遣間敷事

一 慈悲心第一之事

一 召抱之者非道ニ遣フ間敷事

一 諸事勘畧致、不入諸道具相求間敷事

一 無事七分・遊芸三分、尤品により四分・六分ニも可致敷

一 譬ハ金子万両有之候ハ、五千両迄ハ商売方江仕入、五千両相囲可申候、右之譬ニ随、千両アラハ五百両、五百両アラハ三百両、三百両アラハ百五十両ヲ、常ニ囲金用意可致置事ニ候

一 近親たり共大金之用達致間敷事

一 無事ニ程々云事忘間敷事ニ候

一 諸事ニたんなうと云事忘間敷事ニ候

一 無事ニ重欲致間敷事ニ候

一 博奕とたん致間敷事ニ候

右の文言中には「とたん致間敷」など、三井家の家訓にも見られるような、一大商家なみの経営上の注意事項が散見できるが、この家訓の内容から、当時の千秋家がどのような家であったかが充分にうかがいしることができよう。

貸家にしても、持家が相当数あつたことは確認できるが、惣家数は詳らかでない。しかし寛政六年（一七九四）十一月八日の夕九ツ半過ぎにおきた火災によって焼失した家の報告書には（史料番号二四五九）

家老軒 間口九間半・奥行七間半 庄六居宅

別家式軒 式間ニ式間半

式間ニ式間半

蔵七ヶ所 三間ニ三間

三間ニ五間半

式間ニ式間半

式間ニ式間半

式間ニ三間

式間ニ三間

九尺ニ式間

家老軒 間口六間・奥行六間半 庄六油店

家老軒 間口式間・ヲク四間半

家老軒 間口五間・ヲク四間半

蔵式ヶ所 式間ニ三間

三間ニ四間

(貸家)

家	間口三間・ヲク六間	留八
同	ヲク七間	源左
家	間口三間・ヲク五間半	嘉七
家	間口四間・ヲクハ間	山口や
同	間口三間・ヲク六間	藤八
同	間口三間・ヲク六間	甚兵衛
同	間口四間半・ヲク式間半	定次
同	間口四間・ヲク五間半	九右衛門
同	間口式間式尺・ヲク行七間	庄兵衛

と書上げて公儀に提出している。この軒数は類焼した部分のみであって、すくなくともこれ以上の貸家を所持していたことは、婚礼などの祝儀帳によっても判明できる。

なお明治一二年（一八七九）高田町に多芸・上石津郡役所が創設された際、本宅の一部を郡長の役宅に貸与した。その経過を十月二十六日千秋庄六郎棟載の記述（史料番号七二七）より抄録する。

父笙峰相統中町並南側本宅ヲ明ヶ北浦庵地本立院へ逼塞、其後安政元寅年町並居宅へ移住罷成候、然ル所父明治六酉年逝去、其後モ統テ右宅ニ住居罷在、南側本宅長々明家ニ相成居候、時于明治十二卯年三月当県御改正美濃・飛驒トモ県下一般所々郡役所ヲ被設候ニ付、多芸・上石津郡役所之義は当村ニ御設立被成候旨岐阜県ヨリ御沙汰ニ相成、則郡役所之儀は仮ニ専念寺へ被仰付候、右ニ付郡長高木貞正殿ヨリ郡吏日比俊三殿ヲ以、北側居宅ノ内西之家ヲ寓居ニ借受度由御談示ニ相成候ニ付、母お梅・妻お楽協議之上右西ノ家ヲ四月一日ヨリ

高木殿へ貸渡シ申候

以上の経緯からしてみても、当時の高田町における千秋家の地位がおのずから想像されるであらう。

しかし全盛をほこった千秋家ではあったが、明治の後期になると、文書中でもみられるが買得地より売得地が目立ってきて、除々に衰微の一路をたどり、ついに第二次大戦を境にして、千秋家は完全に衰退してしまつた様である。現在養老町高田には千秋家のご子孫である千秋はる氏が在住しておられるが、その住居ももとの千秋家の居宅ではない。今次大戦の農地解放による地主の斜陽は当然ながら、それ以前にすでに所持地を手放されている原因は何処にあったか。その一つとして

父棟載大人ノ樋口信七・安田半兵衛ト共同ニテ江州田地ヲ購求シ、養老公園ニ妙見堂ヲ建立セシ為メニ大損害ヲ招キ、大負債ノ為メニ非常ニ困難シ給ヒシ事ヲ想像スベシ

明治四十一年三月 子棟重誌之

と記されているごとく、遠隔地の江州の買得田と養老公園の妙見堂建立にあつた点も注意されたい。

藍田^{うんでん}学校

本文書中で公文書としては割合によくまとまっているものに藍田学校に関する史料がある。

明治六年（一八七三）三月十二日創立した藍田学校は、明治一九年（一八八六）四月発布の新小学校令によって、同十一月島田尋常小学校及び島田簡易科小学校と改称し、同二十一年（一九八八）島田高等小学校を設立、同二十四年（一九九一）五月高田尋常小学校となった。

そもそも藍田とは

称^レ菅父子曰藍田生玉諸葛恪少有名、孫権見其父瑾曰藍田生玉、真不虛^ニ
とある書言故事により命名したといわれる。

本文書中には、千秋庄六郎が創立期の藍田学校の御用係であつたために、創始前の経緯を知りうる好史料があり、利用価値の高いものである。

ちなみに明治一〇年（一八七七）学校一覽表（高田柏淵千里氏蔵「養老町誌」より）に収載されている記事を左に掲ぐ。

第三十卷 番 中 学 区

学区取締 柏淵拙藏受持

第 六 十 九 番 公 学									
藍 田 学 校		第百五十三番小学区ヨリ聯区 第百五十八番小学区迄		校 下		教 員		戸 数	
第四大区五小区 多藝郡島田村十一番地内ニ 健徳音受持家ヲ借り学 舎トス		島田村 押越村 直江村 五日市村 龍泉寺村		月給 老級訓導補 金十元 日比野廉平 五級訓導補 金七元 千秋安太郎 六級訓導補 金六元 柏淵東左 六級訓導補 金六元 日野泰運 本村平民 金三元 柏淵友次 同 金二元五十銭 井上丹吾 金二元五十銭 山田半彌 金二元五十銭 本村平民 金二元五十銭 日比松次郎 同 金二元五十銭 日比萬吉 同 金七十五銭 安村六三郎		人口 三千八百廿四人 就学 二百六十七人 内男 百五十二人 内女 百十五人 不学 貳百八人 内男 七十五人 内女 百三十三人 所 有 品 一書籍 二百四十五部 此概価 百五十五円 一器械 千三百八箇 此概価 三百三十七円		学校取締 多藝郡島田村 主者 千秋元次郎 監事 伊藤岩三郎 會計 樋口信七	
出 納		金三百七十二円五十銭 寄附金一ヶ年分 金五十六円六十八銭四厘 金四十七円 金百九円廿六銭七厘 金四十二円 文部省補助金 金廿八円八十三銭二厘 合 金六百五十六円 此 記 九十九銭一厘 金六百五十五円 明治十年仕払 差引 有余金廿九銭二厘		計五ヶ村 人員 十人 金四十三円七十五銭					

右表中にみえる五級訓導補千秋安太郎は千秋家の当時の嫡子（のち嫡子は次男十三郎にかわっている。史料番号二三四一参照）、学校取締の主者千秋元次郎は分家である。

輪中地帯と治水

輪中とは集落と耕地を大洪水から守るために周囲に堤防をめぐらしたすなわち「輪のうち」地域のことであるが、島田村のある多芸輪中は、七か村で共同防禦体制組織をもつ大輪中であるから、さらに輪中内に所々内除（堤）・小土手となつた。したがって輪中地帯における治水・防水は村民にとって一大難事といえよう。（さきに支配の項に記したように元禄四年、ときの領主小笠原主膳が、領内の洪水による被害が多いため、幕府に所領替えを願ひ出るなど、これらを如実に物語っている。）そのためか近隣村落の相互扶助の精神が厚く、文書中にも水害見舞に関する記録が多く残されている。この地域は金草川に面しているために金草川堤防工事関係の史料が多いが、さきに述べた様に大輪中のために内除堤工事が施行されているために、それらの史料は一応別項目として分類した。

輪中地帯のいま一つの障害は、用水・悪水落と井戸の問題である。輪中は囲堤をするので、その内部の上の部分に用水が不足し、下の地域は滞留した水の排除に苦むことになる。一つの輪中のなかで利害が上と下で相反し、したがって上では井戸を少しでも多く掘ろうとするが、下では井戸をできるだけ制限しようとし、ここに株井戸制度なるものが生まれてくる。当該文書中に散見する掘貫井戸株譲渡証文（口絵参照）がそれである。

また治水の項の江料代であるが、これは輪中地帯の特色で、新用水をつくればその敷地の分の税を江料代として役所へ上納しなければならなかった。

嶋田村江通之事

鳥江村

一長式百八拾間壹尺

一幅平均八間三尺九寸

此反畝八反廿式歩

江代米八石八斗八升

西岩道村

一長百拾八間貳尺

一幅平均八間七寸

此反別三反貳畝歩

江代米三石五斗貳升

延宝四丙辰年十二月

右のように用水が他村を通ってひかれるときは、当然その用地の税金（江料代）分を負担しなければならない。

千秋家の場合扣地が他村にある場合、その掟地村の江料代米の割り当てがすべて関係してくるために別項目を立てて配置した。

このほか本文書のなかには、家関係史料のうちに慶事・仏事に関する史料は、他家に類のないほど非常に詳細に記録してあるものが多い。たとえば天保十三年（一八四二）九月十八日出生した千秋笹峰棟参の長女あいの「出産諸色帳」の内容をみると

十九日

呼びニ来ル人之扣

九月十九日、廿日

祝儀并見廻（舞）之部

九月廿四日

枕下ゲ祝ひ（献立）

十一月六日

赤飯配り覚

十一月十二日

宮参り

十月廿日当り之廻
無廻延引、今日で
五十四日めニなる

天保十四年正月

庖瘡見廻帳

四月廿一日 天社日

赤飯配り覚

など産婆をはじめ産湯の使い方、産着に至るまでことこまかに記されている。さらにその「あい」が安政七年（一八六〇）三月廿八日に結婚するが、その時の帳簿には

二月五日
結納 献立も記載

二月廿八日夜
引取婚礼披露道具・飴付・献立

廿九日
呼衆 献立

廿九日夜
呼衆 献立

三月朔日
町内呼衆献立

三月朔日
女中衆悦献立

出入方并家内男・女江土産

披露中手伝人内より祝義遣ス

祝儀受納留

の諸項目に分けられて詳細に記入されているが、当時の諸儀礼を知るうえにも、また民俗学上の諸習慣などを研究する際にも非常に興味ある史料が多い。

なお巻末の中島家は分家元次郎の妻みち（千秋家略系図参照）が中島彦左衛門娘であった関係か、この千秋文書に混在していたために別項目を立てて別記した。

また諸家略系図は、文字通り下書的な魚系図である。明治三二・三年（一九〇〇）に何らかの目的で作製されたと考えられるが、諸家の中には、千秋家の遠類を含めた親類縁者のものと、千秋家の控地のあった村の掟作の差配人などが大部分である。

付記

本目録の作成は浅井潤子が担当した。関係史料の調査等に当つては多くの方々からご教示とご協力を賜わったが、とくに現地在住の千秋はる氏・中村準一氏・田中育次氏・早野博之氏の諸氏には大変お世話になった。末尾ながらここに芳名を記して深甚の謝意にかえたい。

千秋家文書關係略図



史料館所藏史料目録 第二十五集
昭和五十一年三月三十日印刷發行

東京都品川区豊町一丁目十六番十号
国文学研究資料館内

編集者 国立史料館
発行者

東京都千代田区神田佐久間町三ノ三七
印刷所 株式会社 文唱堂